

学修の手引き

第 3 学 年
(Segment 6)

令和 8 (2026) 年度



東京女子医科大学
医 学 部

目 次

東京女子医科大学設立の精神	1
東京女醫學校設立主意	2
序 言	3
東京女子医科大学の目的	4
東京女子医科大学医学部における4つのポリシー	5
MDプログラム2011改訂版について	9
学部教育を通じて達成する医師としての実践力	10
医の実践力_アウトカム・ロードマップ	12
慈しむ心の姿勢_アウトカム・ロードマップ	15
カリキュラムツリー	17
カリキュラムの構造	18
週間の授業予定	18
セグメント6	
I 学修内容	20
II 到達目標	
A. 包括的到達目標	21
B. 科目別シラバス	
・基幹科目	
「脳神経系1（構造・機能）」	24
「脳神経系2（病態・疾患・治療・症候）」	45
「精神系（病態・疾患・治療）」	65
「聴覚・耳鼻咽喉系（構造・機能・病態・症候・疾患）」	74
「眼・視覚系（構造・機能・病態・症候・疾患）」	89
「運動器系（構造・機能・病態・疾患・治療・症候）」	103
「皮膚粘膜系（構造・機能・病態・症候・疾患）」	113
・臨床系実習スケジュール	122
・縦断教育科目	
「「至誠と愛」の実践学修」	124
「研究プロジェクト」	135
「国際コミュニケーション」	156
「AI・データサイエンスと医療」	160
「健康管理」	164

基礎研究医養成プログラム	166
III 試験科目表・試験日程表	168
IV テュートリアル・TBL学修	
1 テュートリアル・TBL	171
2 テュートリアル・TBLについて	181
3 テュートリアル・TBL課題一覧表	186
V S6教育委員会・学生アドバイザー・学生委員	187
VI 選択科目	189
VII 講義・実習時間割表	192

東京女子医科大学設立の精神

I. 建学の精神

東京女子医科大学は、1900年（明治33年）に創立された東京女醫學校を母体として設立された。東京女子医科大学の創立者である吉岡彌生は、1952年（昭和27年）新制大学設立に際し、東京女醫學校創立の主意をもって建学の精神とした。その主旨は、高い知識・技能と病者を癒す心を持った医師の育成を通じて、精神的・経済的に自立し社会に貢献する女性を輩出することであった。新制大学設立時の学則には「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する。」と記されている。

建学の精神に基づく医療人育成の場として、1998年（平成10年）度より新たに看護学部が新設された。医療を行うものが学ぶ学府として、現在の東京女子医科大学の使命は、最良の医療を実践する知識・技能を修め高い人格を陶冶した医療人および医学・看護学研究者を育成する教育を行うことである。大学建学の精神に基づき、大学教育では社会に貢献する女性の医療人を育成する。

II. 大学の理念

東京女子医科大学の使命を達成するための教育・研究・診療の基盤となる理念は、「至誠と愛」である。至誠は、「常住不断私が患者に接するときの根本的な心構えを短い二つの文字のなかに言い現したもの（吉岡彌生傳）」という創立者吉岡彌生の座右の銘であり、「きわめて誠実であること」「慈しむ心（愛）」は教育・研究・診療の総ての場において求められる。大学およびそこに学び働くものは本学の理念である「至誠と愛」に従って活動しなくてはならない。

東京女醫學校

○設立主意

世界ノ文化ハ一日ト其歩ヲ進メ我日本モ泰西ノ制度文物輸入以來女子ノ教育ハ長足ノ進歩ヲ成シ今ヤ普通教育ニ至リテハ殆ンド間然スル所ナシ豈吾人女子ノ至幸之レニ比スルモノアラシヤ蓋シ一步ヲ進メテ益々其必要ヲ感ズルハ女子ノ専門學ニアリ由來女子ノ専門學ナルモノハ歐米ニ於テハ業ニ既ニ數十年前ヨリ實施サレ其職ヲ或ハ政治界ニ或ハ新聞記者ニ或ハ醫業ニ或ハ教育界ニ或ハ銀行會社ニ奉ジツ、其資格毫モ男子ト軒輊スル處ナシ我邦モ條約實施以來對等ノ地位ヲ以テ列國ト交際スルニ至リタレバ女子ノ品位モ彼我又對等ナラザルヲ得ズ此際ニ當リテ社會ノ人心皆茲ニ意ヲ注クト雖モ其意ヲ滿タスノ設備不完全ナルヲ如何セン思フニ女子ノ専門學校トシテハ女子師範學校、音樂學校、美術學校等ノ設ケアリテ各自其志望ヲ達セシムルト雖モ獨リ女醫學校ニ至リテハ未タ日本全國否日本ノ首府タル東京ニ於テ其設立アルヲ見ズ聞説ク將ニ設立セラレントスル女子大學ニ於テモ文學科家政科等アル而已ト余ノ考フル處ニ依レバ女子ノ本性ニ最モ適シ且ツ女子ノ品位ヲ高尚ナラシムル業務ハ醫學ヲ以テ唯一ノ専門學トス随テ斯學ニ志スノ女子又少シト云フ可ラス然ルニ是等ノ姉妹ニ其志ヲ遂ゲシムル學校ナキハ我邦學校設備ノ缺點ニシテ幾多ノ高尚ナル思想アル姉妹ヲシテ岐路ニ迷ハシム是千歳ノ恨事ニアラズヤ已レ女醫ノ業ニ従事スル茲ニ九年塾ラ々々女醫教育ノ不完全ト女子ノ醫學研究ノ困難トヲ見滿腔ノ同情ハ傍觀座視スルニ忍ビス淺學不才ヲ顧ミズ決然起テ女醫學校ヲ設立スル所以ナリ

明治三十三年十一月

東京女醫學校主 鷺山彌生 識

序 言

学 長

東京女子医科大学は、社会的に自立する女性医療者の育成を建学の精神として、「至誠と愛」を理念に創立され、100年以上に渡り医学生を育ててきた。良い医師を育てるために、質の高い教育を行い、優れた医療を提供し、医学に係わる高い水準の研究を推進してきた。本学は医学生が学ぶために最良の環境と教育プログラムを用意している。学生にはこの環境とプログラムを最も有効に活用して学んでもらいたい。

本学の最新の教育プログラムは2017年度に改訂されたMDプログラム2011(2011年度1年生より導入)であるが、その原形は1990年に日本で初めてのテュートリアル教育、インタビュー教育(その後、『ヒューマンリレーションズ』、『人間関係教育』、そして2018年度には『「至誠と愛」の実践学修』に発展)、そして関連領域全体を理解して学ぶ統合カリキュラムである。

MDプログラム2011では、学生が学ぶ目標、すなわち自分が卒業するときに達成すべき知識・技能・態度の専門的実践力をアウトカム、アウトカムに到る途中の目標をロードマップで示した教育プログラムが導入された。2017年度の改訂では、医師としての実践力の基本を学部卒業時に達成するための臨床教育の改善が行われた。2018年度には、医師の態度、振る舞い、倫理、コミュニケーション力、女性医師キャリアなどを、創立者が臨床で常に実践した信念である「至誠と愛」の理念のもと、現代の医療を実践するカリキュラムとして、従来の『人間関係教育カリキュラム』を改訂し『「至誠と愛」の実践学修』と改称した。本学の教育は、至誠と愛を実践する良い医師となるための教育であるが、学生は本学で学ぶその意義を認識し、本学の卒業生としてこの理念を継承する自覚を持って学修してもらいたい。

どのように学修するかが示されているのが、この「学修の手引き」である。学生、教員がともに学修の目標、方法、内容、評価を共通に理解することが、良い教育が行われる一つの条件である。この手引きが有効に活用されることを望む。

東京女子医科大学の目的

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、女子に医学の理論と実際を教授し、創造的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献する医人を育成するとともに、深く学術を研究し、広く文化の発展に寄与することを目的とする。『学則第1条』

医学部の教育目標

将来医師が活躍しうる様々な分野で必要な基本的知識、技能および態度を身に体し、生涯にわたって学修しうる基礎を固める。

すなわち、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する態度を開発する。さらに、医学・医療・健康に関する諸問題に取り組むにあたっては、自然科学にとどまらず、心理的、社会的、論理的問題等も含め、包括的にかつ創造的に論理を展開でき、様々な人々と対応できる全人的医人としての素養を涵養する。

東京女子医科大学医学部における 人材の養成に関する目的・その他の教育上の目的

(趣旨)

第1条 本内規は、東京女子医科大学学則第1条第2項及び東京女子医科大学院学則第1条に基づき、人材の養成に関する目的、その他の教育研究上の目的に関して必要な事項を定める。

(医学部の目的)

第2条 医学部における人材の養成に関する目的は次のとおりとする。

- (1) 「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者を育成すること。
 - (2) 社会を先導する医療人、そして多様なキャリア形成とライフサイクルの中で、自分を磨き続けることのできる女性医師あるいは女性研究者を育成すること。
- 2 医学部におけるその他教育研究上の目的は次のとおりとする。
- (1) 将来医師として自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得し、生涯にわたって学習を継続しうる基礎的能力を獲得すること。
 - (2) 患者一人ひとりに向き合い、それぞれの悩みを解決でき、かつ医療を実践する過程で、様々な人々と協働できる素地を獲得すること。

東京女子医科大学医学部における4つのポリシー

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

卒業時には定められた授業科目を修了し、学修成果（アウトカム）に示す「医の実践力」と「慈しむ心の姿勢」を修得して以下の能力を備えることが求められます。

1. 医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。
2. 自ら問題を発見し解決する能力を持つ。
3. 医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学のおよび臨床的思考力を持つ。
4. 安全な医療を行える能力を有する。
5. 生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。

要件を満たした者には卒業を認め、学士（医学）を授与します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

卒業時に達成すべき医師として必要な基本知識、技能および態度を「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」として示した学修成果（アウトカム）を達成し、建学の精神に沿って自立して社会に貢献する医療者となる基礎を体得し、大学の理念である「至誠と愛」を生涯に亘り実践するカリキュラムが構築されています。アウトカムを達成するための段階的な目標はロードマップとして示され、様々なカリキュラム、学修法によりロードマップとアウトカムを達成します。

「医の実践力」の学修は、1年次から6年次まで関連した専門領域が統合（水平的統合）されたセグメントとして10に区分されたカリキュラム、および縦断のカリキュラムとして「情報処理・統計」、「国際コミュニケーション」および「基本的・医学的表現技術」を6学年通して統合（垂直的統合）し学修します。「医の実践力」に含まれる、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する力を、テュートリアル、チーム基盤型学修、研究プロジェクト等の能動学修プログラムおよび各セグメントにおける実習を通じて学びます。

「慈しむ心の姿勢」の学修は、専門職としての使命感、倫理感、態度、女性医師としての特徴、キャリア、リーダーシップとパートナーシップ、コミュニケーション、医療安全、チーム医療等を体得する「『至誠と愛』の実践学修」が水平的ならびに垂直的に統合され6年間を通して学びます。一部は、セグメント科目やテュートリアルでも学びます。

医師となる訓練として、1年次から段階的に患者さんと接する実践の場やシミュレーション

等で学ぶ機会が設けられ、4年次修了までに「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」の学修を含め、医師としての基本的知識、技能、態度の修得が求められ、さらに5年次から6年次では指導者の下で診療に参加して学修する診療参加型臨床実習を行い、卒業までに医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動できるように学修します。

医師としての素養、国際的医療実践、組織・社会の先導力を涵養するために、選択科目、国外での臨床実習、リーダーシップ学修の機会が提供され、学生が自分の個性を伸ばすため、医療者の新しい役割を認識するために活用できます。

セグメント、縦断的カリキュラム、テュートリアル、チーム基盤型学修、「『至誠と愛』の実践学修」の学修成果は、それぞれの学修目標に照らして、筆記試験、レポート、技能試験、態度・姿勢の観察評価により総合的に評価され、学年毎に定められた科目・単位の修了により、次学年に進級します。また、各科目の評価をGPA (Grade Point Average)として評価し進級の要件とします。さらに、共用試験として行われる4年次のCBT (Computer Based Testing)、OSCE (Objective Structured Clinical Examination)、P-SAT (Problem-solving Ability Test)、ならびに6年次のPost-CC (Clinical Clerkship) OSCEは、進級の要件となります。進級の認定が得られなかった場合は、翌年に限り同一学年の全必修科目を再履修し、再度評価を受けます。

アウトカム・ロードマップの評価は、それぞれの科目試験、「『至誠と愛』の実践学修」評価、テュートリアル・チーム基盤型学修および実習の評価、臨床実習のポートフォリオ評価等から、関係する評価を統合して学修成果（アウトカム）に沿って評価を行います。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得して自立し、「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者となるために、学修者自身が問題意識をもち、自らの力で知識と技能を発展させていく教育を行います。

医師を生涯続ける意志を持ち、幅広い視野を身につけ、自ら能力を高め、問題を解決していかこうとする意欲に燃えた向学者で、以下のような人材を求めます。

医学部が求める入学者像

1. きわめて誠実で慈しむ心を持つ人
2. 礼節をわきまえ、情操豊かな人
3. 独立心に富み、自ら医師となる堅い決意を持つ人
4. 医師として活動するために適した能力を有する人

本学で学修しようとする者には、本学の建学の精神と大学の理念を理解して学ぶことを求めます。その上で、本学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に沿って学修して、学修成果（アウトカム）を達成し、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を満たし、生涯に亘り医師として、女性医療者として自立して多方面で活躍する人材を、多様な方法により選抜します。

一般選抜においては、高等学校等における学修成果の評価を筆記試験で、また医師となる適性、使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして「至誠と愛」の理念の下に本学で学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小論文、適性試験により評価します。

学校推薦型選抜（一般推薦）では、高等学校等における知識・技能・態度の学修成果や医師となる適性を高等学校の推薦書等に基づき評価し、さらに医師としての使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして問題を発見し、学修し、解決する自ら学ぶ力、「至誠と愛」の理念とカリキュラム・ポリシーを理解して学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小グループ討論、小論文、思考力試験により評価します。

学校推薦型選抜（「卒業生子女」推薦）では、本学の建学の精神、大学の理念を継承し、生涯医療者として社会に貢献する意志をもつ優秀な者を受け入れるため、3親等以内の親族に本学医学部の卒業生（前身の東京女子医学専門学校も含む）がおり、併せて高等学校等の推薦を受けた者を対象として、面接、小グループ討論、受験生の建学の精神についての理解を問う小論文、思考力試験により評価します。

入学までに期待する学修項目は、社会、医療を先導する女性医療者となる確固たる意思の醸成、専門職に求められる自らの学修を振り返りながら新たな課題を発見し問題解決する学び方、考え方の学修、ひと、特に病めるひとに相対する医療者が持つべき態度、心配り、倫理観を学ぶ基盤となる、人と交わる力の醸成です。

アセスメントポリシー

入学時にはアドミッション・ポリシーを満たす人材か、在学中はカリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているか、卒業時はディプロマ・ポリシーを満たす人材となったかを以下の基準で評価します。

	入学時	在学中	卒業時
大学 (機関レベル)	入学者選抜 入学時調査	休学率・退学率・学生調査・課外活動状況	学士授与(卒業)率・国家試験合格率・大学院進学率・就職率・学生調査・アンケート調査
医学部 (課程レベル)	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率 退学率・試験結果 GPA・ポートフォリオ・共用試験 CBT・共用試験 OSCE・Mini-CEX・実習評価・学生調査・課外活動状況	卒業試験・Post CC-OSCE・学士授与(卒業)率・国家試験合格率・ストレート卒業率・大学院進学率・就職率・アンケート調査
学部科目レベル	入学者選抜	単位認定・定期試験・レポート評価・実習評価・小テスト	

		出席率・至誠と愛の 体得度・ポートフォ リオ・授業評価アン ケート	
大学院医学研究科 (課程レベル)	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率・退 学率・単位認定・レ ポート評価・研究計 画書・研究指導状況 報告書・中間発表会 評価	学位授与率・修了 率・学位論文の IF・ 就職率・学生調査・ アンケート調査
大学院科目レベル	入学者選抜	単位認定・レポート 評価・研究計画書・ 研究指導状況報告 書・中間発表会評価	

学部学生では、科目等では合格基準として詳細は学修の手引きに示し、進級については、及落判定基準として学生便覧に示します。大学院生に関しては大学院便覧に示します。継続的に形成的評価を行い、学生への指導に使用します。また、その結果の学修成果（達成度）を評価するために、決まった時期と数の総括的評価を実施します。これらの評価は、統合教育学修センターでの解析等によって評価そのものの事後評価を行い、信頼性と妥当性を最大化します。

MD プログラム 2011 改訂版について

東京女子医科大学医学部で医学を学ぶことは、大学の理念を受け継ぎ、社会に貢献する力を持った医師を目指して学修することである。医学部は 110 年を超える歴史の中で女性医師を育てるための教育に力を入れてきたが、平成 29 年度新入生から新たなカリキュラムを導入した。新カリキュラムは、それまでのカリキュラム MD プログラム 2011 の良い点を踏襲しつつ、現代社会のニーズあるいは日本と世界で求められる、医師像を「至誠と愛」の理念のもとに達成することを目指す。

MD プログラム 2011 改訂版は 4 個の包括的目標を持つ。

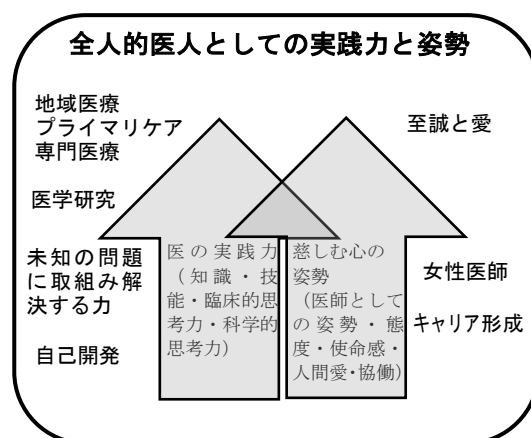
- 1) 卒業時に基本的知識を持ち、医師として考え行動し、振る舞うことができる実践力を持つこと。
- 2) 学生が自分の目標を知り、自ら実践力を高められる教育となること。
- 3) 科学的思考力と臨床的思考力を持つこと。
- 4) 女性医師としての特徴をもち、基本的診療能力を備え、地域や国際を含めた現代の医療および医療ニーズに即した実践力を獲得すること。

MD プログラム 2011 改訂版は、以下の特徴を持つ。

- 1) 知識だけでなく技能と態度を備えた実践力の最終目標をアウトカム、途中の目標をロードマップとして具体的に示し、学生が入学時から最終目標に向けてどのように自己開発をしたらよいかを明示し、またその達成度を評価する事により学生が長い学修期間の中で目標と動機を失わないようにする。
- 2) 臨床的能力を高めるため、高学年の臨床実習開始前に臨床的思考力、技能、態度の学修を充実させ、実践的臨床実習を行う。
- 3) 基礎と臨床、知識と技能を統合して学ぶ統合カリキュラムを前カリキュラムから引き継ぎ、自ら問題を見つけ、科学的・医学的に且つ人間性を持ち、問題解決のための思考力を講義・実習・チュートリアル・TBL 教育を通じて学ぶ。
- 4) 医師として人間性・倫理・使命感・態度を育成する「至誠と愛」の実践学修を行う。
- 5) 医の実践力の一部となる基本的・医学的表現技術、情報処理・統計、国際コミュニケーションを 4 ないし 6 年間継続して積み上げる縦断教育を行う。
- 6) 医療を支える科学に自ら触れる機会を通じて、研究の面白さを知るとともに医師が持つべき研究的視点を学ぶ。
- 7) 女性の特性を意識した医療者となるための学修を行う。

学部教育を通じて達成する医師としての実践力

医学部の学修を通じて修得する実践力は、**医の実践力と慈しむ心の姿勢**に分かれる。医の実践力は主として知識・技術とその応用に関する6個の中項目、慈しむ心の姿勢は医人としての態度・情報と意志を疎通する能力・使命感・倫理感・専門職意識などに関する5個の中項目に分かれ、それぞれに数個のアウトカムが定められている。アウトカムは卒業時まで達成すべき目標の包括的目標であるが、低学年（1/2年）、中学年（3/4年）、高学年（5/6年）で達成すべき具体的な目標をロードマップとして表している。



アウトカム・ロードマップは各教科の目標ではなく、学修の積み重ねにより修得すべき実際に自分でできる力、実践力、を示したものである。学生は、最終目標を見据えて学修段階に応じた目標を持ち、教員はそれぞれ担当する教育の中で、全体像のどの段階を学生が学ぶべきかを理解して教育にあたるために全体が示されている。学生の評価も、科目として受ける試験などによる評価と共に、様々な評価情報を組み合わせたロードマップ評価を行い、学生の到達度を認識できるようになる。

以下にアウトカムを示す。

I 医の実践力

1. 知識と技能を正しく使う力
 - A. 医学的知識を医療に活用できる。
 - B. 診断・治療・予防を実践できる。
 - C. 基本的技能を実践できる。
2. 問題を見つけ追求する力
 - A. 解決すべき問題を発見できる。
 - B. 問題を深く追求できる。
 - C. 未知の問題に取り組むことができる。
3. 問題解決に向け考え実行する力
 - A. 適切な情報を集め有効に活用できる。
 - B. 解決方法を選び実行できる。
 - C. 結果を評価できる。
4. 情報を伝える力
 - A. 患者に情報を伝えることができる。
 - B. 医療情報を記録できる。
 - C. 医療者と情報交換ができる。

5. 根拠に基づいた判断を行う力
 - A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。
 - B. 根拠に基づいて診療を行える。
6. 法と倫理に基づいて医療を行う力
 - A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。
 - B. 医療倫理を理解し実践できる。
 - C. 研究倫理を理解し実践できる。
 - D. 社会の制度に沿った診療を行える。

II 慈しむ心の姿勢

1. 患者を理解し支持する姿勢
 - A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。
 - B. 家族・患者周囲に配慮できる。
 - C. 社会の患者支援機構を活用できる。
2. 生涯を通じて研鑽する姿勢
 - A. 目標を設定し達成するために行動できる。
 - B. 社会のニーズに応じて研鑽できる。
 - C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。
 - D. 自分の特性を活かした医療を行うために研鑽する。
 - E. 専門職として目標を持つ
3. 社会に奉仕する姿勢
 - A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。
 - B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。
4. 先導と協働する姿勢
 - A. 自分の判断を説明できる。
 - B. グループを先導できる。
 - C. 医療チームのなかで協働できる。
5. ひとの人生へ貢献する姿勢
 - A. 患者に希望を与えられる。
 - B. 後輩を育てることができる。

次にそれぞれのアウトカムを達成するためのロードマップ（中間目標）を示す。

I 医の実践力—アウトカム/ロードマップ

		2. 問題を見つけて追求する力				
1. 知識と技能を正しく使う力		A. 解決すべき問題を発見できる。	B. 問題を深く追求できる。	C. 未知の問題に取り組むことができる。		
アウトカム						
1,2年 ロードマップ	<p>A. 医学的知識を医療に活用できる。</p> <p>① 人体の正常な構造と機能を説明できる。 I-1-A-(1-2)-①</p> <p>② 人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。 I-1-A-(1-2)-②</p> <p>③ 受精から出生の正常と異常を説明できる。 I-1-A-(1-2)-③</p> <p>④ 世界の保険・医療問題、国際保健に関わる組織・計画・リソースについて概説できる。 I-1-A-(1-2)-④</p>	<p>B. 診断・治療・予防を実践できる。</p> <p>① データを読み解き解釈できる。 I-1-B-(1-2)-①</p>	<p>C. 基本的技能を実践できる。</p> <p>① 実習に必要な技術を実践できる。 I-1-C-(1-2)-①</p> <p>② 安全に配慮して実習・研修を行える。 I-1-C-(1-2)-②</p>	<p>A. 現象・事例から学ぶべきことを発見できる。</p> <p>I-2-A-(1-2)-①</p>	<p>B. 問題を深く追求できる。</p> <p>① 仮説を導くことができる。 I-2-B-(1-2)-①</p> <p>② 事象、現象、観察などからその原因について考えられる。 I-2-B-(1-2)-②</p>	<p>C. 未知の問題に取り組むことができる。</p> <p>① 既知と未知の問題を明らかにできる。 I-2-C-(1-2)-①</p> <p>② 医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる。 I-2-C-(1-2)-②</p>
3,4年 ロードマップ	<p>① 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-①</p> <p>② 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>③ 受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-③</p> <p>④ 疾患、症候の病態を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p>	<p>① 診断の過程を説明し実践できる。 I-1-B-(3-4)-①</p> <p>② 適切な治療法とその根拠を説明できる。 I-1-B-(3-4)-②</p> <p>③ 疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。 I-1-B-(3-4)-③</p>	<p>① 基本的医療技能を示すことができる。 I-1-C-(3-4)-①</p> <p>② 医療安全に必要な配慮を示すことができる。 I-1-C-(3-4)-②</p>	<p>① 問題の優先度および重要度を判断できる。 I-2-A-(3-4)-①</p> <p>② 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I-2-A-(3-4)-②</p>	<p>① 問題の科学的重要性を評価できる。 I-2-B-(3-4)-①</p> <p>② 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 I-2-B-(3-4)-②</p>	<p>① 事例から自分の知らないことを発見できる。 I-2-C-(3-4)-①</p> <p>② 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。 I-2-C-(3-4)-②</p>
5,6年 ロードマップ	<p>① 患者の抱える異常とその病態を説明できる。 I-1-A-(5-6)-①</p>	<p>① 基本的医療技能を実践できる。 I-1-C-(5-6)-①</p> <p>② 安全に配慮して、医療を実践できる。 I-1-C-(5-6)-②</p>	<p>① 患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。 I-2-A-(5-6)-①</p> <p>② 患者の診療上の問題を明らかにできる。 I-2-A-(5-6)-②</p>	<p>① 患者の病態の原因を検索できる。 I-2-B-(5-6)-①</p> <p>② 患者の苦痛の原因を人体の構造と機能、および「ところ」から説明できる。 I-2-B-(5-6)-②</p>	<p>① 患者から新しいことを学べる。 I-2-C-(5-6)-①</p> <p>② 患者から自分の知らないことを発見できる。 I-2-C-(5-6)-②</p> <p>③ 自分の能力では解決できない問題を判断できる。 I-2-C-(5-6)-③</p>	

		4. 情報を伝える力			
3. 問題解決に向け考え実行する力		A. 患者に情報を伝えることができる。	B. 医療情報を記録できる。	C. 医療者と情報交換ができる。	
アウトカム	A. 適切な情報を集め有効に活用できる。	B. 解決方法を選び実行できる。	C. 結果を評価できる。		
1、2年 ロードマップ	① 問題解決のための情報収集ができる。 I-3-A-(1-2)-① ② 仮説を証明する手順を説明できる。 I-3-A-(1-2)-②	① 情報に即して適切な解決方法を導くことができる。 I-3-B-(1-2)-① ② 複数の問題解決法を考へることができる。 I-3-B-(1-2)-②	① 問題解決結果の妥当性を評価できる。 I-3-C-(1-2)-① ② 結果に予想される誤差を考へられる。 I-3-C-(1-2)-②	① 結論とその根拠が明確な文書を作成できる。 I-4-B-(1-2)-① ② 研究・実習の報告書が作成できる。 I-4-B-(1-2)-② ③ 文書の要約を作成できる。 I-4-B-(1-2)-③	
3、4年 ロードマップ	① 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(3-4)-① ② 適切な診療ガイドラインを選択できる。 I-3-A-(3-4)-②	① 病態を明らかにする方法を挙げることができる。 I-3-B-(3-4)-① ② 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 I-3-B-(3-4)-②	① 適切な問題解決を行ったか検証できる。 I-3-C-(3-4)-① ② 結果の客観的評価ができる。 I-3-C-(3-4)-② ③ 結果の解釈の限界を明らかにできる。 I-3-C-(3-4)-③	① 研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。 I-4-C-(3-4)-① ② 医療チームでの情報共有について説明できる。 I-4-C-(3-4)-②	
5、6年 ロードマップ	① 適切な診療ガイドラインを選択できる。 I-3-A-(5-6)-① ② 診療上の問題解決のために分析すべきことを明らかにできる。 I-3-A-(5-6)-② ③ 診療上の問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(5-6)-③ ④ 異なる問題解決の方法を提示し、比較できる。 I-3-A-(5-6)-④	① 診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 I-3-B-(5-6)-① ② 情報を活用し適切な解決方法を判断できる。 I-3-B-(5-6)-②	① 診療で得られた情報の信頼性を評価できる。 I-3-C-(5-6)-① ② 診療過程で予測される問題点を示せる。 I-3-C-(5-6)-② ③ 予想と異なる結果について原因を考察できる。 I-3-C-(5-6)-③	① 口頭で症例提示ができる。 I-4-C-(5-6)-① ② 患者の問題点を指導医に報告できる。 I-4-C-(5-6)-② ③ 必要な患者情報を要約して説明できる。 I-4-C-(5-6)-③ ④ 専門の異なる医療者に対して適切な情報交換を行える。 I-4-C-(5-6)-④	

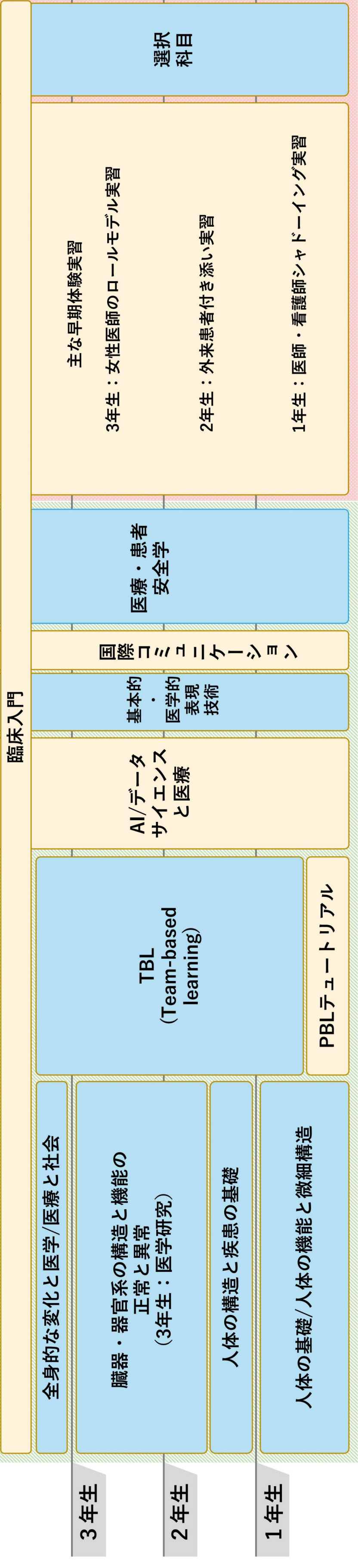
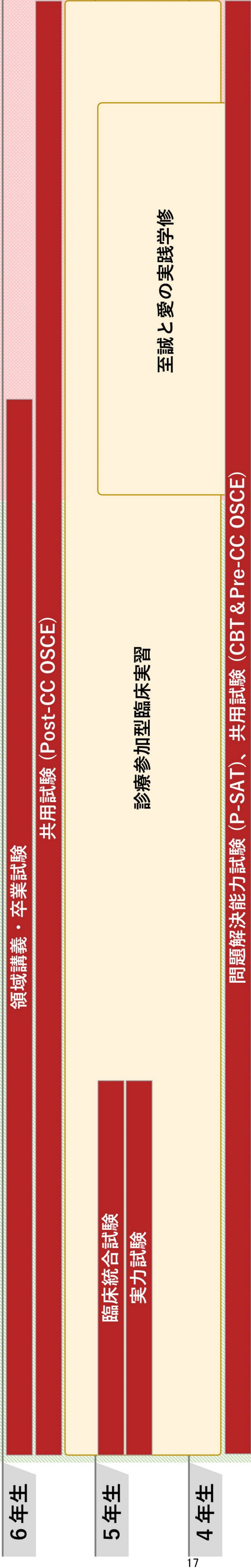
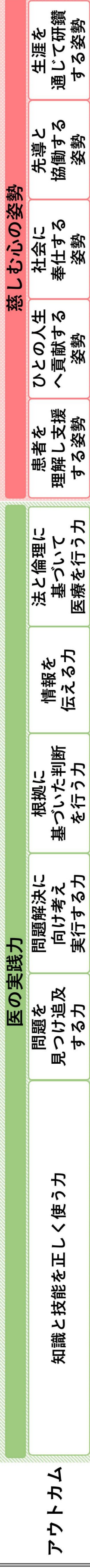
		6. 法と倫理に基づいて医療を行う力			
		5. 根拠に基づいた判断を行う力		C. 研究倫理を理解し実践できる。	
		A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。		D. 社会の制度に沿った診療を行える。	
		B. 根拠に基づいて診療を行える。			
		A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。			
アウトカム					
1,2年 ロードマップ	<p>A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。</p> <p>① 現象の原因・機序を検索できる。 I-5-A-(1-2)-①</p> <p>② 実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。 I-5-A-(1-2)-②</p> <p>③ 情報の信頼度を評価できる。 I-5-A-(1-2)-③</p>	<p>B. 根拠に基づいて診療を行える。</p> <p>① 根拠に基づいて解決法を判断できる。 I-5-B-(1-2)-①</p> <p>② 問題解決の適切性を評価できる。 I-5-B-(1-2)-②</p>	<p>B. 医療倫理を理解し実践できる。</p> <p>① 個人情報保護について説明できる。 I-6-B-(1-2)-①</p> <p>② 倫理の概念について説明することができる。 I-6-B-(1-2)-②</p>	<p>C. 研究倫理を理解し実践できる。</p> <p>① 研究倫理の概念について述べることができる。 I-6-C-(1-2)-①</p> <p>② 研究倫理に配慮して実験・実習の結果報告書を作成できる。 I-6-C-(1-2)-②</p>	
3,4年 ロードマップ	<p>① データ・結果の根拠を批判的に説明できる。 I-5-A-(3-4)-①</p> <p>② 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。 I-5-A-(3-4)-②</p> <p>③ 根拠となる文献を検索できる。 I-5-A-(3-4)-③</p>	<p>① 医学生の医行為水準を説明できる。 I-6-A-(3-4)-①</p> <p>② 医師法・医療法の概要を説明できる。 I-6-A-(3-4)-②</p>	<p>① 医学における倫理の概念を説明できる。 I-6-B-(3-4)-①</p> <p>② 倫理的問題を明らかにできる。 I-6-B-(3-4)-②</p> <p>③ 患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。 I-6-B-(3-4)-③</p>	<p>① 基礎研究における倫理指針を概説できる。 I-6-C-(3-4)-①</p> <p>② 利益相反(Conflict of interest)について説明できる。 I-6-C-(3-4)-②</p>	<p>① 社会保障を概説できる。 I-6-D-(3-4)-①</p> <p>② 医療に関する保証制度を概説できる。 I-6-D-(3-4)-②</p>
5,6年 ロードマップ	<p>① 基礎的・臨床的観察を通じて新たな発見ができる。 I-5-A-(5-6)-①</p> <p>② 問題点に関わる臨床医学文献を検索できる。 I-5-A-(5-6)-②</p> <p>③ 検索した医学的情報の確かさを評価できる。 I-5-A-(5-6)-③</p>	<p>① 病院の規則に従って診療に関われる。 I-6-A-(5-6)-①</p>	<p>① 患者情報の守秘を励行して医療を行える。 I-6-B-(5-6)-①</p> <p>② 臨床倫理を実践できる。 I-6-B-(5-6)-②</p> <p>③ 立場の違いによる倫理観の違いを理解しながら倫理判断ができる。 I-6-B-(5-6)-③</p>	<p>① 臨床研究の倫理指針を概説できる。 I-6-C-(5-6)-①</p>	<p>① 患者に合わせて医療保険、医療補助制度を説明できる。 I-6-D-(5-6)-①</p>

II 慈しむ心の姿勢—アウトカム/ロードマップ

		2. 生涯を通じて研鑽する姿勢				
1. 患者を理解し支持する姿勢		B. 社会のニーズに応えて研鑽できる。			C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。	
アウトカム	A. 患者の意思と尊厳に配慮できる。	B. 家族・患者周囲に配慮できる。	C. 社会の患者支援機構を活用できる。	D. 自分の特性を生かした医療を行うために研鑽する。	E. 専門職として目標を持つ。	
1、2年 ロードマップ	① 他者の意思を聞き出すことができる。 II-1-A-(1-2)-① ② 他者を尊重して対話ができる。 II-1-A-(1-2)-② ③ 他者の自己決定を理解できる。 II-1-A-(1-2)-③	① 様々な年齢の他者と意思を交わすことができる。 II-1-B-(1-2)-①	① 社会支援制度を説明できる。 II-1-C-(1-2)-①	① 自分が期待する医師像を説明できる。 II-2-B-(1-2)-① ② 学習の上の目標を設定することができる。 II-2-A-(1-2)-① ③ 目標達成の手段を明らかにできる。 II-2-A-(1-2)-② ④ 省察(振り返り)を実践できる。 II-2-A-(1-2)-③ ⑤ 卒業までに学ぶべきことの概要を理解できる。 II-2-A-(1-2)-④	① 社会で活躍する女性の特性を述べられる。 II-2-C-(1-2)-① ② 学習のための時間を適切に自己管理できる。 II-2-C-(1-2)-②	① 自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。 II-2-D-(1-2)-① ② 真摯に学びを励行できる。 II-2-D-(1-2)-②
3、4年 ロードマップ	① 傾聴できる。 II-1-A-(3-4)-① ② 患者の人権・尊厳を説明できる。 II-1-A-(3-4)-②	① 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 II-1-B-(3-4)-① ② 患者・家族の心理を説明できる。 II-1-B-(3-4)-②	① 社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。 II-1-C-(3-4)-①	① 卒業までの学習目標を立て、自分の達成度を評価できる。 II-2-A-(3-4)-① ② 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。 II-2-A-(3-4)-②	① 学習目標を達成するための自己学習を計画的に行える。 II-2-C-(3-4)-① ② 女性のライフサイクルを説明できる。 II-2-C-(3-4)-② ③ キャリア継続の意思を持つ。 II-2-C-(3-4)-③	① 自分の特性を活かして学習できる。 II-2-D-(3-4)-① ② 学習の中で興味を持ったことを自ら学べる。 II-2-D-(3-4)-②
5、6年 ロードマップ	① 患者の自己決定を支援し、必要な情報が提供できる。 II-1-A-(5-6)-① ② 患者の意思を聞き出すことができる。 II-1-A-(5-6)-② ③ 患者の尊厳に配慮した診察が行える。 II-1-A-(5-6)-③	① 患者・家族の解釈を理解し、対応できる。 II-1-B-(5-6)-① ② 患者・家族の信頼を得る振る舞いができる。 II-1-B-(5-6)-② ③ 患者・家族への説明の場に配慮できる。 II-1-B-(5-6)-③	① 患者支援制度を探索し利用法を説明できる。 II-1-C-(5-6)-①	① 診察能力・技能を振り返り、目標を設定し、修得のための方法を明らかにできる。 II-2-A-(5-6)-①	① 研修(実習)する地域社会での医療ニーズから、学ぶべきことを明らかにできる。 II-2-B-(5-6)-①	① 研修(実習)する地域社会での医療ニーズから、学ぶべきことを明らかにできる。 II-2-B-(5-6)-①
				① 自分の目指す医師像を達成するための計画を示せる。 II-2-D-(5-6)-①	① 自分の特性を活かしてどのような医師を目指すかを述べることができる。 II-2-E-(5-6)-①	

アウトカム	3. 社会に奉仕する姿勢			4. 先導と協働する姿勢			5. ひとの人生へ貢献する姿勢	
	A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。	B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。	A. 自分の判断を説明できる。	B. グループを先導できる。	C. 医療チームのなかで協働できる。	A. 患者に希望を与えられる。	B. 後輩を育てることができる。	
1,2年 ロードマップ	① 社会・地域に奉仕する姿勢を持つ。 II-3-A-(1-2)-①	① 医学研究の重要性について概説できる。 II-3-B-(1-2)-①	① 自分の考えの根拠を説明できる。 II-4-A-(1-2)-①	① 共通の目標を設定できる。 II-4-B-(1-2)-① ② 活動向上のための評価ができる。 II-4-B-(1-2)-② ③ 意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる。 II-4-B-(1-2)-③	① 他者の話を聴くことができる。 II-4-C-(1-2)-① ② 対話の中で相手の述べたことを要約できる。 II-4-C-(1-2)-② ③ 役割分担を確実に実践できる。 II-4-C-(1-2)-③	① 医学の進歩が人に希望を与えらる。 II-5-A-(1-2)-① ② 困難な状況にあっても、希望を見いだすことができる。 II-5-A-(1-2)-②	① 学生として適切な振る舞いで行動できる。 II-5-B-(1-2)-① ② 学んだことを他者に説明できる。 II-5-B-(1-2)-②	
3,4年 ロードマップ	① 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。 II-3-A-(3-4)-①	① 基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。 II-3-B-(3-4)-① ② 医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。 II-3-B-(3-4)-② ③ 臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。 II-3-B-(3-4)-③	① 自分の選択・判断の根拠を説明できる。 II-4-A-(3-4)-① ② 他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。 II-4-A-(3-4)-②	① 討論・話し合いを促せる。 II-4-B-(3-4)-① ② 自分の方針を説明し同意を得ることができ。 II-4-B-(3-4)-② ③ 活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 II-4-B-(3-4)-③	① グループ目標達成のために行動できる。 II-4-C-(3-4)-① ② 講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。 II-4-C-(3-4)-②	① 学習する事例について医学の貢献を説明できる。 II-5-A-(3-4)-① ② 問題を解決できたときの状況を考え説明できる。 II-5-A-(3-4)-②	① 自分が目標をどのように達成したかを他者に説明できる。 II-5-B-(3-4)-① ② 相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。 II-5-B-(3-4)-②	
5,6年 ロードマップ	① 臨床実習の中で医療に参加し社会・地域に貢献する。 II-3-A-(5-6)-①	① 診療のなかで医学研究の課題を見つけることができる。 II-3-B-(5-6)-①	① 講成員の特性に合わせて個人と全体の活動を統括できる。 II-4-B-(5-6)-①	① 自分が所属する医療チーム構成員の役割を説明できる。 II-4-C-(5-6)-① ② 与えられた医療の役割について責任を持ち確実に実施できる。 II-4-C-(5-6)-①	① 医療の限界のなかで可能なことを説明できる。 II-5-A-(5-6)-① ② 患者に医療が行うことのできる望ましい結果を説明できる。 II-5-A-(5-6)-②	① 適切な振る舞いで診療に参加できる。 II-5-B-(5-6)-① ② 他者の疑問を共に解決することができる。 II-5-B-(5-6)-② ③ 医療の中で他者に教えることを実践できる。 II-5-B-(5-6)-③		

卒業時	ディプロマ・ポリシー	DP5 生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。
		DP4 安全な医療を行える能力を有する。
		DP3 医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学的および臨床的思考力を持つ。
		DP2 自ら問題を発見し解決する能力を持つ
		DP1 医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。



□：形成的評価 □：総括的評価

カリキュラムの構造

カリキュラム（教育計画）は、学生が実践力を持つ医師になるために限られた時間のなかで最大の学修を得られるように構築されている。学生には、全てのカリキュラムに参加して最終目標を達成することが求められる。

医学部カリキュラムの全体構造は、初めに人体の基本構造と機能を2年前期までに学び、次に医療を行うために必要な臓器・器官系の正常と異常、臓器系をまたいでおこる全身的異常、人の発生・出産・出生・成長・発育・成熟・加齢の正常と異常を3年後期までに学ぶ。4年前期は、全身的な変化と、社会・法律・衛生・公衆衛生と医学の関わり、臨床推論の進め方などの臨床的思考力、麻酔・救急などの全身管理に係わる医学を学び、医療を取り巻く環境を理解する。そして4年後期は、臨床実習に備えた臨床入門を学ぶ。臨床入門は、基本的臨床技能を学ぶだけでなく、画像・検査などの臨床的理解を学び、4年後半から医療の中に入って臨床実習を行えるようになるための仕上げとなる。臨床実習への準備は、総合試験（共用試験 CBT および問題解決能力試験）、共用試験 OSCE などで評価される。4年後半から6年前半の臨床実習では、見学するのではなく参加する意識で実習を行って欲しい。臨床実習では、地域医療・プライマリケアなど現代の日本の医療に求められる領域、国外留学など国際的医療に係わる機会、基礎医学を学ぶ機会などが設けられ、且つ学生が自分のキャリアを考えて学修の場を選べるようになっている。6年後期は、6年間の学修の総括と卒業認定のための評価に充てられる。

学年毎に進むカリキュラムとは別に縦断的カリキュラムがある。これは、学生が4もしくは6年間で継続して自己開発する必要がある科目で、縦断教育科目と呼ぶ。

6年間のカリキュラム全体図

1年	前期 (4月～7月)	セグメント1	人体の基礎	人体の基本的構造と機能/ 人体の防御機構	テュートリアル・TBL	「至誠と愛」の実践学修	医療・患者安全学	基本的・医学的表現技術	国際コミュニケーション	AI・データサイエンスと医療教育	選択科目	研究プロジェクト
	後期 (9月～3月)	セグメント2	人体の機能と 微細構造									
2年	前期	セグメント3	人体の構造と 疾患の基礎	人体の発生と全体構造								
	後期	セグメント4	臓器・器官系の構造と 機能の正常と異常1									
3年	前期	セグメント5	臓器・器官系の構造と 機能の正常と異常2/ 人の一生	消化器系/内分泌系/栄養・代謝系 新生児・小児・思春期/加齢と老化、臨終								
	後期	セグメント6	臓器・器官系の構造と 機能の正常と異常3/ 医学研究									
4年	前期	セグメント7	全身的な変化と医学/ 医療と社会	全身的な変化/医学と社会								
	後期	セグメント8	臨床入門									
5年	前期	セグメント9	医療と医学の 実践	診療参加型臨床実習(研究実習)								
	後期											
6年	前期	セグメント10	全体統合・ 総合達成度評価	卒業試験								
	後期											

週間の授業予定

学生は全ての授業に出席し能動的に学ぶ事が求められる。

医学部の時間割の特徴は、テュートリアル・TBL を中心に十分な自己学修の時間が確保されていることである。自ら目標を定め能動的に学ぶことで医師となっても使い続けることのできる知識の活用を修得するように、授業・実習のない学修時間が確保されている。

セグメント 6

[脳神経・精神・運動器・聴覚・耳鼻咽喉・眼・視覚・皮膚粘膜]

2026年8月25日～2027年2月27日

I 学 修 内 容

セグメント 6 は、神経系を中心とするカリキュラムであり、中枢神経系、精神系、感覚器系、運動器系、皮膚粘膜系から構成されている。脳神経系 1・2 では、大脳、小脳、脳幹、脊髄から脳神経、脊髄神経、自律神経、感覚神経、運動神経などについて講義と実習および TBL 学修からなる統合的学修が行われる。精神系では、脳神経系の高次機能について生理、生化学、薬理などを理解し、その障害の症状、診断について学ぶ。感覚器系には嗅覚、視覚、味覚、聴覚、平衡覚などが含まれ、鼻腔、口腔、咽頭、喉頭など頭頸部、顔部の全てについて、このセグメントで学ぶことになる。頭部、頸部を始めとして全身の筋、骨格についても、画像診断の学修が行われるので、積極的に取り組んでほしい。

セグメント 6 のカリキュラムの中には学生のと時からリサーチマインドを涵養するため研究プロジェクトが組み込まれているので、基礎と臨床の各教室が提案している研究テーマのいずれかを選択し、主体的に取り組むことを期待している。

本セグメントは、多くの領域について、広汎かつ詳細な学修が行われることから、各自の自主的な勉学が特に求められる。

Ⅱ 到達目標

A. 包括的到達目標

- I 中枢および末梢神経系の形態を理解し、それぞれの基本的機能を述べることができる。神経系の主な症候と基本的検査について説明することができる。
 - 1 脳神経系の構造と機能
 - 2 症候と病態生理
 - 3 神経症候と検査

- II 機能異常を主とした神経系の疾患について説明することができる。
 - 1 発達機能障害
 - 2 けいれん性疾患
 - 3 自律神経疾患
 - 4 神経変性疾患
 - 5 感染性神経疾患
 - 6 末梢神経、筋疾患
 - 7 内科疾患に伴う神経筋傷害
 - 8 中枢神経作用薬

- III 血管系も含めた形態異常を主とした疾患の診断と治療につき述べることができる。
 - 1 脳脊髄外傷
 - 2 脳脊髄血管傷害
 - 3 脳腫瘍
 - 4 先天異常
 - 5 中枢神経系画像診断
 - 6 放射線治療学

- IV 精神と脳の高次機能につき理解し、疾患の症状、診断、治療につき論じることができる。
 - 1 高次神経機能
 - 2 精神疾患の操作的分類と診断法
 - 3 症状学
 - 4 精神治療学（薬物療法、非薬物療法）

- V 嗅覚、味覚、聴覚、平衡機能につき形態と機能を理解し、疾患において症状、検査、診断と治療を述べることができる。これらの感覚器を支持する鼻腔、口腔、咽頭、喉頭や発声機構について論じることができる。
 - 1 聴覚、平衡器の構造と機能
 - 2 耳鼻咽喉科的検査
 - 3 耳疾患
 - 4 鼻疾患
 - 5 口腔、咽頭、喉頭、頸部食道の異常
 - 6 治療

VI 視覚器とその周囲組織につき形態と機能を理解し、疾患における症状、検査、診断、治療につき説明できる。

- 1 視覚器の構造と機能
- 2 眼科的検査
- 3 結膜、角膜疾患
- 4 ぶどう膜疾患
- 5 網膜疾患
- 6 眼科治療学

VII 筋、骨格系の形態と機能を理解し、体幹、四肢の運動器系疾患の検査、診断、治療につき述べることができる。

- 1 筋、関節、骨格系の形態と機能
- 2 骨系統疾患
- 3 上下肢、体幹の異常
- 4 四肢循環障害
- 5 骨腫瘍
- 6 治療

VIII 皮膚および口腔粘膜の正常構造と機能について説明することができる。

- 1) 表皮
- 2) 真皮
- 3) 皮下組織
- 4) 付属器
- 5) 口腔粘膜

IX 主な皮膚および口腔粘膜疾患についてその主要症候、病態生理、病因、診断、検査および治療について述べることができる。

- 1) 原発疹、続発疹
- 2) 湿疹、皮膚炎群および炎症性皮膚疾患
- 3) 水疱、膿疱性疾患
- 4) 母斑、母斑症、色素異常症
- 5) 皮膚良性、悪性腫瘍
- 6) 皮膚感染症
- 7) デルマトローム

B. 科目別シラバス

(★＝「至誠と愛」の実践学修)

科目名	
脳神経系 1	
科目責任者(所属)	
藤堂 謙一	
到達目標	
脳と脊髄から成る中枢神経系の解剖と生理機能を多義的に学修し、臨床における神経学的症状を理解する上での礎となる学識を習熟する。前半においては、神経系の解剖と生理の基礎医学的内容を学修する。また、解剖学的知識に基づいた脳の正常画像も学ぶ。後半では、症候学と補助診断検査などの神経疾患診断学の基礎となる事項について学修する。また、神経系の発達症候学、睡眠と意識、脳死についても学修する。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
<p>人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 I -1-A-(3-4)-①</p> <p>疾患、症候の病態を説明できる。 I -1-A-(3-4)-④</p> <p>基本的医療技能を示すことができる。 I -1-C-(3-4)-①</p> <p>問題の優先度および重要度を判断できる。 I -2-A-(3-4)-①</p> <p>事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I -2-A-(3-4)-②</p> <p>問題の科学的重要性を評価できる。 I -2-B-(3-4)-①</p> <p>基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 I -2-B-(3-4)-②</p> <p>医学における倫理の概念を説明できる。 I -6-B-(3-4)-①</p> <p>倫理的問題を明らかにできる。 I -6-B-(3-4)-②</p> <p>患者の人権・尊厳を説明できる。 II -1-A-(3-4)-②</p> <p>基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。 II -3-B-(3-4)-①</p>	
学修（教育）方法	
講義・実習・テュートリアル・TBL	
評価方法 (1)総括的評価の対象	
定期試験（90%）と実習（10%）の総合成績を科目の評価とする。試験様式は多肢選択肢問題（MCQ：マークシート）に加えて記述試験を加える場合もある。ただし、定期試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である。	
評価方法 (2)評価項目	
<p>中枢神経系と末梢神経系・自律神経系の構造と支配様式およびその機能について説明することができる。 C-2-3),2),3)</p> <p>特殊感覚の伝導路、錐体路系、錐体外路系、および脳神経の基本的な投射回路と機能を説明することができる。 C-2-3),2),3)</p> <p>自律神経系の機能と投射路を説明することができる。 C-2-3),2),3)</p> <p>運動野・小脳・大脳基底核による、運動の制御機構・運動学習のメカニズムとその障害について述べる。 D-2-1),2),3),4)</p> <p>神経細胞とグリアの種類と機能を説明することができる。 D-2-1),4) C-4-2)</p> <p>意識と睡眠のメカニズムについて説明することができる。 D-2-3)</p> <p>意識障害について説明することができる。 D-2-3)</p> <p>死の概念とそれに関わる社会的問題や、脳死の判定について説明できる。 B-2-1),E-9-1)</p> <p>主な神経症候についてその用語の意味と症候の機序を説明することができる。 D-2-1),2),3),4)</p> <p>神経学的検査方法の種類とその適応について述べる。 D-2-1),2),3),4)</p> <p>乳幼児の精神運動発達について説明できる。 E-7-2)</p> <p>脳の正常画像の撮影法の原理を理解し、画像から脳解剖との対応を説明できる。 F-2-5),D-2-2)</p>	
評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	
科目成績は定期試験（筆記試験）の他に基礎医学系の実習の平均を科目成績の10%として反映させる。定期試験の成績（90%）と当該実習の成績（10%）を合わせて100点満点とする。ただし、臨床系実習の出席および課題提出が、定期試験の受験要件となる。S.極めて良く理解している（90%以上）A.良	

く理解している（80%以上90%未満） B.平均的に理解している（70%以上80%未満） C.最低限は理解している（60%以上70%未満） D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとし、C.以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

実習に関しては、出席、実習態度、レポートなどが評価の対象となる。実習の評価基準は各実習で定める。講義中に小テストを行う場合は、その提出をもって出席とする。小テストは各自の学修理解の確認のために利用してほしい。

実務経験

○ 大学病院の脳神経内科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『* 印は推薦教科書 <各教室名>』			
2.	『* カラー図解 人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版 <神経生理学>』	坂井 建雄, 河原 克雅 編	日本医事新報社 2017	9784784931804
3.	『* 神経科学—脳の探求 改訂版 <神経生理学>』	藤井聡（監訳）	西村書店 2021	9784867060186
4.	『臨床脳波学 第6版 <神経生理学>』	大熊輝雄/松岡洋夫/上埜高志/齋藤秀光著	医学書院 2016	9784260014496
5.	『* ガイトン生理学 第13版 <神経生理学>』	John E. Hall	エルゼビアジャパン 2018	9784860347741
6.	『ギャング生理学 第25版 <神経生理学>』	岡田泰伸（監修）佐久間康夫/岡村康司（監訳）	丸善出版 2017	9784621301883
7.	『* マーティンカラー神経解剖学：テキストとアトラス <解剖学>』	ジョン・H・マーティン著；野村嶸, 金子武嗣監訳	西村書店 2015	9784890134601
8.	『* 臨床神経解剖学 <解剖学・生化学>』	M J Turlough FitzGerald著；杉本哲夫, 車田正夫, 河田光博訳	医歯薬出版 2013	9784263731512
9.	『* 正常解剖（脳MRI；1） <画像診断・核医学>』	高橋昭喜編著	学研メディカル秀潤社 2005	9784879622907
10.	『* 神経内科ハンドブック—鑑別診断と治療—（第5版） <脳神経内科学>』	水野美邦著	医学書院 2016	9784260024174
11.	『神経症候学を学ぶひとのために <脳神経内科学>』	岩田誠著	医学書院 1994	9784260117869
12.	『* 写真で見る乳幼児検診の神経学的チェック法 改訂第8版 <小児科学>』	前川喜平 小枝達也編	南山堂 2012	9784525288587
13.	『脳神経内科 改訂5版』	神田隆著	中外医学社 2024	9784498428065
14.	『ムーア人体発生学 原著第8版』	Moore, KL	医歯薬出版 2011	9784263731345
15.	『神経伝導検査と筋電図を学ぶ人のために 第2版』	木村淳, 幸原伸夫著	医学書院 2010	9784260008952
16.	『神経診断学を学ぶ人のために 第2版』	柴崎浩著	医学書院 2013	9784260016322

関連リンク

1.	脳科学辞典	https://bsd.neuroinf.jp
2.	ライフサイエンス 領域融合レビュー	http://leading.lifesciencedb.jp

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/08/24(月)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	2 脳血管、髄膜、脳脊髄液			
	担当者(所属)	本多 祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,PS-01-02-26,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2026/08/24(月)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	3 脊髄、脊髄神経			
	担当者(所属)	本多 祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,PS-01-02-18,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2026/08/24(月)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	4 脳幹、脳神経			
	担当者(所属)	本多 祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系,[別表]眼・視覚系,PS-02-15-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2026/08/24(月)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	1 科目の概要			
	担当者(所属)	藤堂 謙一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2026/08/25(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	5 小脳			

	担当者（所属）	本多 祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2026/08/25(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	6 小脳の機能と運動制御			
	担当者（所属）	児玉 貴史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2026/08/25(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	7 大脳基底核の機能			
	担当者（所属）	宮田 麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2026/08/25(火)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	10 間脳、大脳基底核			
	担当者（所属）	本多 祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2026/08/25(火)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	8 大脳皮質運動野の機能・運動制御まとめ			
	担当者（所属）	児玉 貴史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2026/08/25(火)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	17 脳の正常画像（Ⅱ） CT・MRI			
	担当者（所属）	阿部 香代子			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-03,[別表]神経系,[別表]主要な臨床・画像検査,CS-02-03-07			
	講義資料番号/連番(L MS)				10
1 1.	2026/08/26(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	11 終脳			
	担当者(所属)	本多 祥子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				11
1 2.	2026/08/26(水)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	13 脳幹機能			
	担当者(所属)	久保田 有一			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-02-16, PS-02-03-01, [別表]神経系, PS-02-03-05 PS-01-04-05 PS-01-04-06 [別表]疾患			
	講義資料番号/連番(L MS)				12
1 3.	2026/08/26(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	12 間脳、大脳皮質の機能			
	担当者(所属)	加世堂 竜太郎			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-02-13,PS-01-02-16,PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				13
1 4.	2026/08/27(木)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	23 神経系の補助診断検査 (I)			
	担当者(所属)	清水 優子 飯嶋 睦			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-03,[別表]神経系,PS-02-03-01,PS-02-03-02,[別表]疾患,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				14
1 5.	2026/08/27(木)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40

	タイトル	14 伝導路 (I) 感覚器系 (上行性) 伝導路			
	担当者 (所属)	本多 祥子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				15
1 6.	2026/08/27(木)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	15 伝導路 (II) 運動系 (下行性) 伝導路			
	担当者 (所属)	本多 祥子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				16
1 7.	2026/08/28(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	16 脳の正常画像 (I) 核医学			
	担当者 (所属)	金子 恒一郎			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]主要な臨床・画像検査,CS-02-03-07			
	講義資料番号/連番(L MS)				17
1 8.	2026/08/28(金)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	24 神経の分化と回路形成の分子機構			
	担当者 (所属)	中村 史雄			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-02-05,PS-01-02-26			
	講義資料番号/連番(L MS)				18
1 9.	2026/08/28(金)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	18 神経症候学			
	担当者 (所属)	藤堂 謙一			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				19
2 0.	2026/08/31(月)	1 時限	実習	解剖実習室	09:00-10:10
	タイトル	1, 2, 3 解剖 1 中枢 (解剖) 脳全景・髄膜・血管系			

	担当者（所属）	本多 祥子 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔣池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				26
2 1.	2026/08/31(月)	2 時限	実習	解剖実習室	10:25-11:35
	タイトル	1, 2, 3 解剖 1 中枢（解剖）脳全景・髄膜・血管系			
	担当者（所属）	本多 祥子 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔣池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				27
2 2.	2026/08/31(月)	3 時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	1, 2, 3 解剖 1 中枢（解剖）脳全景・髄膜・血管系			
	担当者（所属）	本多 祥子 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔣池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				28
2 3.	2026/08/31(月)	4 時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	4, 5, 6 解剖 2 中枢（解剖）小脳・脳幹			
	担当者（所属）	本多 祥子 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔣池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				29
2 4.	2026/08/31(月)	5 時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	4, 5, 6 解剖 2 中枢（解剖）小脳・脳幹			
	担当者（所属）	本多 祥子 藤枝 弘樹			

		齋藤 文典 蔣池 かおり		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系		
	講義資料番号/連番(L MS)			30
2 5.	2026/08/31(月)	6時限	実習	解剖実習室 16:35-17:45
	タイトル	4, 5, 6 解剖 2 中枢(解剖) 小脳・脳幹		
	担当者(所属)	本多 祥子 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔣池 かおり		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系		
	講義資料番号/連番(L MS)			31
2 6.	2026/09/01(火)	2時限	講義	講義室 201 10:25-11:35
	タイトル	22 神経系の補助診断検査(Ⅱ)		
	担当者(所属)	飯嶋 睦		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-03,[別表]神経系		
	講義資料番号/連番(L MS)			20
2 7.	2026/09/02(水)	3時限	講義	講義室 201 12:30-13:40
	タイトル	26 意識障害と脳死		
	担当者(所属)	江口 盛一郎		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-01,[別表]神経系,[別表]疾患,PS-02-03-05, PS-01-04-05,PS-01-04-06,		
	講義資料番号/連番(L MS)			21
2 8.	2026/09/03(木)	1時限	実習	解剖実習室 09:00-10:10
	タイトル	7, 8 解剖 3 中枢(解剖) 間脳・終脳		
	担当者(所属)	本多 祥子 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔣池 かおり		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系		
	講義資料番号/連番(L MS)			32

2 9.	2026/09/03(木)	2 時限	実習	解剖実習室	10:25-11:35
	タイトル	7, 8 解剖 3 中枢 (解剖) 間脳・終脳			
	担当者 (所属)	本多 祥子 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔣池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				33
3 0.	2026/09/03(木)	3 時限	実習	解剖実習室	12:30-13:40
	タイトル	9, 10, 11 解剖 4 中枢 (解剖) 大脳の内景・脊髄			
	担当者 (所属)	本多 祥子 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔣池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				34
3 1.	2026/09/03(木)	4 時限	実習	解剖実習室	13:55-15:05
	タイトル	9, 10, 11 解剖 4 中枢 (解剖) 大脳の内景・脊髄			
	担当者 (所属)	本多 祥子 藤枝 弘樹 蔣池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				35
3 2.	2026/09/03(木)	5 時限	実習	解剖実習室	15:15-16:25
	タイトル	9, 10, 11 解剖 4 中枢 (解剖) 大脳の内景・脊髄			
	担当者 (所属)	本多 祥子 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蔣池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				36
3 3.	2026/09/07(月)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	27 ニューロンとグリアの細胞病理学 (I)			

	担当者（所属）	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系,[別表]疾患,PS-02-03-05,PS-01-04-05,PS-01-04-06,			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
3 4.	2026/09/07(月)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	28 ニューロンとグリアの細胞病理学（Ⅱ）			
	担当者（所属）	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系,[別表]疾患,PS-02-03-05,PS-01-04-05,PS-01-04-06,			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
3 5.	2026/09/08(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	9 自律神経中枢、内臓機能の調節			
	担当者（所属）	宮田 麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
3 6.	2026/09/08(火)	4 時限	実習	大実習室 2 PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	15, 16, 17 神経生理実習 1			
	担当者（所属）	松山 ひとみ 中村 佐和子 肥田 堃 悠美子 宮田 麻理子 末廣 勇司 植田 禎史 吉田 慶太 河村 寿子 丸山 拓真 児玉 貴史 加世堂 竜太郎 伊豆原 郁月 夏堀 晃世			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-03,[別表]神経系,PS-01-02-17			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
3 7.	2026/09/08(火)	5 時限	実習	大実習室 2 PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	15, 16, 17 神経生理実習 1			

	担当者(所属)	松山 ひとみ 中村 佐和子 肥田 埜 悠美子 宮田 麻理子 末廣 勇司 植田 禎史 吉田 慶太 河村 寿子 丸山 拓真 児玉 貴史 加世堂 竜太郎 伊豆原 郁月 夏堀 晃世			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-03,[別表]神経系,PS-01-02-17			
	講義資料番号/連番(L MS)			38	
3 8.	2026/09/08(火)	6 時限	実習	大実習室 2 PC室 1	16:35-17:45
	タイトル	15, 16, 17 神経生理実習 1			
	担当者(所属)	松山 ひとみ 中村 佐和子 肥田 埜 悠美子 宮田 麻理子 末廣 勇司 植田 禎史 吉田 慶太 河村 寿子 丸山 拓真 児玉 貴史 加世堂 竜太郎 伊豆原 郁月 夏堀 晃世			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-03,[別表]神経系,PS-01-02-17			
	講義資料番号/連番(L MS)			39	
3 9.	2026/09/11(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	25 神経系の発達症候学			
	担当者(所属)	中務 秀嗣			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	GE-03-03-02,GE-03-02-01,GE-03-02-02,GE-03-02-03,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(L MS)			25	
4 0.	2026/09/11(金)	3 時限	実習	大実習室 2 PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	18, 19, 20 神経生理実習 2			
	担当者(所属)	松山 ひとみ 中村 佐和子			

		肥田 埜 悠美子 宮田 麻理子 末廣 勇司 植田 禎史 吉田 慶太 河村 寿子 丸山 拓真 児玉 貴史 加世堂 竜太郎 伊豆原 郁月 夏堀 晃世			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-03,[別表]神経系,PS-01-02-17			
	講義資料番号/連番(L MS)			40	
4 1.	2026/09/11(金)	4 時限	実習	大実習室 2 PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	18, 19, 20 神経生理実習 2			
	担当者 (所属)	松山 ひとみ 中村 佐和子 肥田 埜 悠美子 宮田 麻理子 末廣 勇司 植田 禎史 吉田 慶太 河村 寿子 丸山 拓真 児玉 貴史 加世堂 竜太郎 伊豆原 郁月 夏堀 晃世			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-03,[別表]神経系,PS-01-02-17			
	講義資料番号/連番(L MS)			41	
4 2.	2026/09/11(金)	5 時限	実習	大実習室 2 PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	18, 19, 20 神経生理実習 2			
	担当者 (所属)	松山 ひとみ 中村 佐和子 肥田 埜 悠美子 宮田 麻理子 末廣 勇司 植田 禎史 吉田 慶太 河村 寿子 丸山 拓真 児玉 貴史 加世堂 竜太郎 伊豆原 郁月 夏堀 晃世			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-03,[別表]神経系,PS-01-02-17			

	講義資料番号/連番(LMS)				42
4 3.	2026/09/14(月)	3 時限	実習	大実習室 2 PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	21, 22, 23 神経生理実習 3			
	担当者 (所属)	松山 ひとみ 中村 佐和子 肥田 埜 悠美子 宮田 麻理子 末廣 勇司 植田 禎史 吉田 慶太 河村 寿子 丸山 拓真 児玉 貴史 加世堂 竜太郎 伊豆原 郁月 夏堀 晃世			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-03,PS-01-02-17,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
4 4.	2026/09/14(月)	4 時限	実習	大実習室 2 PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	21, 22, 23 神経生理実習 3			
	担当者 (所属)	松山 ひとみ 中村 佐和子 肥田 埜 悠美子 宮田 麻理子 末廣 勇司 植田 禎史 吉田 慶太 河村 寿子 丸山 拓真 児玉 貴史 加世堂 竜太郎 伊豆原 郁月 夏堀 晃世			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-03,PS-01-02-17,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				44
4 5.	2026/09/14(月)	5 時限	実習	大実習室 2 PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	21, 22, 23 神経生理実習 3			
	担当者 (所属)	松山 ひとみ 中村 佐和子 肥田 埜 悠美子 宮田 麻理子 末廣 勇司 植田 禎史			

		吉田 慶太 河村 寿子 丸山 拓真 児玉 貴史 加世堂 竜太郎 伊豆原 郁月 夏堀 晃世			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-03,PS-01-02-17,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)			45	
4 6.	2026/09/15(火)	3 時限	実習	大実習室 2 PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	24, 25, 26 神経生理実習 4			
	担当者 (所属)	松山 ひとみ 中村 佐和子 肥田 悠美子 宮田 麻理子 未廣 勇司 植田 禎史 吉田 慶太 河村 寿子 丸山 拓真 児玉 貴史 加世堂 竜太郎 伊豆原 郁月 夏堀 晃世			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-03-05-13,CS-02-02-01,CS-02-02-02,PS-03-05-13,CS-03-03-04,PS-03-05-12,PS-03-05-13,CS-03-03-04,CS-02-04-01,PS-03-05-12			
	講義資料番号/連番(L MS)			46	
4 7.	2026/09/15(火)	4 時限	実習	大実習室 2 PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	24, 25, 26 神経生理実習 4			
	担当者 (所属)	松山 ひとみ 中村 佐和子 肥田 悠美子 宮田 麻理子 未廣 勇司 植田 禎史 吉田 慶太 河村 寿子 丸山 拓真 児玉 貴史 加世堂 竜太郎 伊豆原 郁月 夏堀 晃世			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-04-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(L MS)			47	

4 8.	2026/09/15(火)	5 時限	実習	大実習室 2 PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	24, 25, 26 神経生理実習 4			
	担当者 (所属)	松山 ひとみ 中村 佐和子 肥田 埜 悠美子 宮田 麻理子 末廣 勇司 植田 禎史 吉田 慶太 河村 寿子 丸山 拓真 児玉 貴史 加世堂 竜太郎 伊豆原 郁月 夏堀 晃世			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-03,PS-01-02-17,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				48
4 9.	2026/09/29(火)	3 時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	12, 13, 14 中枢神経系の微細構造 (組織学)			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				49
5 0.	2026/09/29(火)	4 時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	12, 13, 14 中枢神経系の微細構造 (組織学)			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				50

5 1.	2026/09/29(火)	5 時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	12, 13, 14 中枢神経系の微細構造 (組織学)			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				51
5 2.	2026/10/27(火)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	1 臨床実習 (1)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				52
5 3.	2026/10/27(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	1 臨床実習 (1)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				53
5 4.	2026/10/30(金)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	2 臨床実習 (2)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				54
5 5.	2026/10/30(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	2 臨床実習 (2)			
	担当者 (所属)	-			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				55
5 6.	2026/11/06(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	3 臨床実習 (3)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				56
5 7.	2026/11/06(金)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	3 臨床実習 (3)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				57
5 8.	2026/11/09(月)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	4 臨床実習 (4)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				58
5 9.	2026/11/09(月)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	4 臨床実習 (4)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				59
6 0.	2026/11/13(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	5 臨床実習 (5)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			

	講義資料番号/連番(LMS)				60
6 1.	2026/11/13(金)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	5 臨床実習 (5)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				61
6 2.	2026/11/17(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	6 臨床実習 (6)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				62
6 3.	2026/11/17(火)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	6 臨床実習 (6)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				63
6 4.	2026/11/20(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	7 臨床実習 (7)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				64
6 5.	2026/11/20(金)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	7 臨床実習 (7)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				65

6 6.	2026/12/15(火)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	8 臨床実習 (8)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				66
6 7.	2026/12/15(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	8 臨床実習 (8)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				67
6 8.	2027/01/05(火)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	9 臨床実習 (9)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				68
6 9.	2027/01/05(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	9 臨床実習 (9)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				69
7 0.	2027/01/08(金)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	10 臨床実習 (10)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				70
7 1.	2027/01/08(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25

	タイトル	10 臨床実習 (10)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)			71	
7 2.	2027/01/12(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	11 臨床実習 (11)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				72
7 3.	2027/01/12(火)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	11 臨床実習 (11)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				73
7 4.	2027/01/29(金)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	12 臨床実習 (12)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				74
7 5.	2027/01/29(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	12 臨床実習 (12)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥,F-3-5-(7)③			
	講義資料番号/連番(L MS)				75
7 6.	2027/02/09(火)	3 時限	試験	-	12:30-13:40
	タイトル	脳神経系 1 試験 13:00-14:30 (講義室302,303)			

	担当者（所属）	藤堂 謙一			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				76
7 7.	2027/02/09(火)	4 時限	試験	-	13:55-15:05
	タイトル	脳神経系1 試験 13:00-14:30 (講義室302,303)			
	担当者（所属）	藤堂 謙一			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				77
7 8.	2027/02/24(水)	1 時限	追・再試験	-	09:00-10:10
	タイトル	脳神経系1 再試験 10:00-11:30 (講義室201)			
	担当者（所属）	藤堂 謙一			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				78
7 9.	2027/02/24(水)	2 時限	追・再試験	-	10:25-11:35
	タイトル	脳神経系1 再試験 10:00-11:30 (講義室201)			
	担当者（所属）	藤堂 謙一			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				79

科目名
脳神経系 2
科目責任者(所属)
林 基弘

到達目標
<p>中枢神経系の正常機能とその異常の臨床。具体的には、周産期脳障害、発達期および成人の脳に起こる機能異常（けいれん、頭痛等の基礎と臨床）、脳血管障害、脳腫瘍、外傷、中枢神経系・末梢神経系・自律神経系の炎症、感染症、変性疾患、脱髄性疾患、神経筋疾患および内科疾患における神経障害の基礎と臨床、中枢神経系画像診断と脳・脊髄の疾患の中で、主要な疾患の病態・診断と治療について学ぶ。外傷は頭蓋骨、脊椎の損傷を伴うことも多く、骨格を中心とした運動器の解剖学を同時に学修しながら、急性・慢性の神経外傷の重要点を把握する。脳血管障害は脳梗塞、高血圧性脳内出血、くも膜下出血等救急医療の点からも重要な疾患が多く、内科的、外科的両面からの診断、治療が重要であり、総合的な観点から理解を深める。脳腫瘍は種類が多く、病理学的な理解が基礎になる。良性、悪性腫瘍により、病態や治療方針も異なってくるので、それぞれを個別的に学修し、さらに神経系腫瘍に対する放射線治療や化学療法の基本を学修する。</p> <p>また、神経系疾患の基本となる頭蓋内圧亢進の病態の理解と治療法を学ぶ。本領域では、画像診断や先天異常、頭痛、てんかんや不随意運動などの機能的疾患も対象となり、新たな画像診断と内科的、外科的治療を学修する。</p>

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号
<p>人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 I -1-A-(3-4)-①</p> <p>疾患、症候の病態を説明できる。 I -1-A-(3-4)-④</p> <p>診断の過程を説明し実践できる。 I -1-B-(3-4)-①</p> <p>適切な治療法とその根拠を説明できる。 I -1-B-(3-4)-②</p> <p>基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 I -2-B-(3-4)-②</p> <p>適切な診療ガイドラインを選択できる。 I -3-A-(3-4)-②</p> <p>病態を明らかにする方法を挙げることができる。 I -3-B-(3-4)-①</p> <p>事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 I -3-B-(3-4)-②</p> <p>医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 I -4-A-(3-4)-①</p> <p>医療チームでの情報共有について説明できる。 I -4-C-(3-4)-②</p> <p>データ・結果の根拠を批判的に説明できる。 I -5-A-(3-4)-①</p> <p>診療上のエビデンスを選ぶことができる。 I -5-B-(3-4)-①</p> <p>医学生の医行為水準を説明できる。 I -6-A-(3-4)-①</p> <p>医学における倫理の概念を説明できる。 I -6-B-(3-4)-①</p> <p>患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。 I -6-B-(3-4)-③</p> <p>傾聴できる。 II -1-A-(3-4)-①</p> <p>患者の人権・尊厳を説明できる。 II -1-A-(3-4)-②</p> <p>他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 II -1-B-(3-4)-①</p> <p>医師として必要な知識、技能、態度を述べるができる。 II -2-A-(3-4)-②</p> <p>学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。 II -2-D-(3-4)-②</p>

学修（教育）方法

講義・実習・TBL

評価方法 (1)総括的評価の対象

定期試験（90％）の点数と実習（10％）の総合成績を科目の評価とする。

評価方法 (2)評価項目

1) 脳・脊髄のコンピュータ断層撮影(computed tomography <CT>)・磁気共鳴画像法(magnetic resonance imaging <MRI>)検査の適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。	D-2-2)①
2) 神経系の電気生理学的検査（脳波検査、筋電図、末梢神経伝導検査）で得られる情報を説明できる。	D-2-2)②
3) けいれん	D-2-3)①
4) 意識障害・失神	D-2-3)②
5) めまい	D-2-3)③
6) 頭痛	D-2-3)④

7) 運動麻痺・筋力低下	D-2-3)⑤
8) 小脳性・前庭性・感覚性運動失調障害を区別して説明できる。	D-2-3)-(1)①
9) 振戦を概説できる。	D-2-3)-(1)②
10) その他の不随意運動（ミオクローヌス、舞踏運動、ジストニア、固定姿勢保持困難(asterixis)、アテトーシス、チック)を概説できる。	D-2-3)-(1)③
11) 歩行障害を病態に基づいて分類できる。	D-2-3)-(2)①
12) 失語症と構音障害の違いを説明できる。	D-2-3)-(3)①
13) 脳浮腫の病態を説明できる。	D-2-3)-(4)①
14) 急性・慢性頭蓋内圧亢進の症候を説明できる。	D-2-3)-(4)②
15) 脳ヘルニアの種類と症候を説明できる。	D-2-3)-(4)③
16) 脳血管障害（脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫、脳梗塞、一過性脳虚血発作）の病態、症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(1)①
17) 脳血管障害の治療と急性期・回復期・維持期（生活期）のリハビリテーション医療を概説できる。	D-2-4)-(1)②
18) 認知症の病因を列挙できる。	D-2-4)-(2)①
19) 認知症をきたす主な病態（Alzheimer型認知症、Lewy小体型認知症、血管性認知症）の症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(2)②
20) Parkinson病の病態、症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(2)③
21) 筋萎縮性側索硬化症を概説できる。	D-2-4)-(2)④
22) 多系統萎縮症を概説できる。	D-2-4)-(2)⑤
23) 脳炎・髄膜炎、脳症の病因、症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(3)①
24) 多発性硬化症の病態、症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(3)②
25) 頭部外傷の分類を説明できる。	D-2-4)-(4)①
26) 急性硬膜外・硬膜下血腫及び慢性硬膜下血腫の症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(4)②
27) 頭部外傷後の高次脳機能障害を説明できる。	D-2-4)-(4)③
28) ニューロパチーの病因（栄養障害、中毒、遺伝性）と病態を分類できる。	D-2-4)-(5)①
29) Guillain-Barré症候群の症候、診断を説明できる。	D-2-4)-(5)②
30) Bell麻痺の症候、診断を説明できる。	D-2-4)-(5)③
31) 主な神経障害性疼痛（三叉・坐骨神経痛）を概説できる。	D-2-4)-(5)④
32) 重症筋無力症の病態、症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(6)①
33) 進行性筋ジストロフィーの病因、分類、症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(6)②
34) 周期性四肢麻痺を概説できる。	D-2-4)-(6)③
35) てんかんの分類、診断と治療を説明できる。	D-2-4)-(7)①
36) 頭痛（偏頭痛、緊張型頭痛等）の分類、診断と治療を説明できる。	D-2-4)-(8)①
37) 脳性麻痺の病因、病型、症候とリハビリテーションを説明できる。	D-2-4)-(9)①
38) 水頭症の症候と治療を説明できる。	D-2-4)-(9)②
39) 主な脳・脊髄腫瘍の分類と好発部位を説明し、病態を概説できる。	D-2-4)-(10)①

評価方法
(2)評価項目続き

評価方法
(3)評価基準

上記の評価項目について定期試験と実習を合わせて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）A.良く理解している（80%以上90%未満）B.平均的に理解している（70%以上80%未満）C.最低限は理解している（60%以上70%未満）D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

準備学修: 脳神経系疾患を学修する基礎となる神経系の解剖学・生理学・生化学・内科診断学・放射線画像診断学などを事前に復習しておくことが望ましい。

実務経験

大学病院の脳神経外科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『Goodman and Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics』	Laurence L. Brunton	McGraw-Hill 2022	97800716 24428

2.	『神経病理を学ぶ人のために 第4版』	平野朝雄, 富安斉著	医学書院 2003	97842601 03602
3.	『カラーアトラス神経病理 第3版』	平野朝雄編著	医学書院 2006	97842600 02851
4.	『エスコール基本神経病理学 第4版』	エスコール [原著]; F.グレイ, U.デ・ジロー ーミ, J.ポワリエ編著	西村書店 2009	97848901 33765
5.	『グラフィック神経学 普及版』	田中順一, 岩田誠著	医歯薬出版 2010	97842632 09929
6.	『神経病理学アトラス』	Haruo Okazaki, Bernd W. Scheithauer [著]; 岡崎春雄, 今津修訳	医学書院 1996	42601035 39
7.	『Greenfield's neuropathology vol.1・2』	Seth Love, David N. Louis, David W. Ellison	CRC Press 2015	97814987 21288
8.	『Nelson Textbook of Pediatrics 第21版』	Robert M. Kliegman ... [et al.]	Elsevier/Saunders 2020	97803235 29501
9.	『小児科診療ガイドライン：最新の診療指針 第5版』	加藤元博編	総合医学社 2023	97848837 84707
10.	『ヘッドサイドの小児神経・発達のかた 第4版』	桃井真里子, 宮尾益知, 水口雅編	南山堂 2017	97845252 85548
11.	『Epileptic syndromes in infancy, childhood and adolescence 第6版』	Joseph Roger [et al.]	John Libbey Eurotext 2019	97827420 15726
12.	『臨床神経生理学』	柳沢信夫, 柴崎浩著	医学書院 2008	97842600 07092
13.	『小児神経の画像診断：脳脊髄から頭頸部・骨軟部まで』	大場洋編著	学研メディカル秀潤社 2010	97847809 08091
14.	『神経症候学を学ぶ人のために』	岩田誠著	医学書院 1994	97842601 17869
15.	『簡要神経学 第4版』	I.M.S. Wilkinson, G. Lennox [著]; 岩 田誠, 岩田淳訳	メディカル・サイエンス・イ ンターナショナル 2006	97848959 24627
16.	『神経局在診断：その解剖,生理,臨床 第6版』	Mathias Bähr, Michael Frotscher [著] ; 花北順哉訳	文光堂 2016	97848306 15443
17.	『神経伝導検査と筋電図を学ぶ人のために 第2版』	木村淳, 幸原伸夫著	医学書院 2010	97842600 08952
18.	『神経内科学書 第2版』	豊倉康夫総編集	朝倉書店 2004	97842543 21906
19.	『国試対策神経内科学 改訂2版』	園生雅弘著	中外医学社 2009	97844980 29910
20.	『臨床神経内科学 第6版』	廣瀬源二郎, 田代邦雄, 葛原茂樹編	南山堂 2016	97845252 47669
21.	『標準脳神経外科学 (Standard textbook) 第15版』	佐々木富男 [ほか] 編集; 阿部俊昭 [ほ か] 執筆	医学書院 2021	97842600 43182
22.	『脳神経外科周術期管理のすべて 第5版』	松谷雅生, 田村晃編	メジカルビュー社 2019	97847583 18495
23.	『「超」入門脳神経外科術中モニタリング：医師・検査技師・MEが 使える：会話形式で役割がわかる 改訂2版』	佐々木達也, 鈴木恭一, 板倉毅著	メディカ出版 2019	97848404 68688
24.	『脳神経外科臨床マニュアル 全3巻 改訂5版』	端和夫編	丸善出版 2018	97846213 03481
25.	『一目でわかるニューロサイエンス 第3版』	Roger A. Barker, Stephen Barasi [著]	メディカル・サイエンス・イ ンターナショナル 2009	97848959 26171
26.	『脳腫瘍臨床病理カラーアトラス 第4版』	日本脳腫瘍病理学会編	医学書院 2017	97842600 30472
27.	『Stroke : pathophysiology, diagnosis, and management 第7版』	J.P. Mohr ... [et al.]	Saunders 2021	97814160 54788

28.	『脳神経外科学 全2巻 改訂 1 3 版』	太田富雄総編集, 川原信隆 [ほか] 編	金芳堂 2021	97847653 18655
29.	『がん・放射線療法2017』	大西洋, 唐澤久美子, 唐澤克之編著	篠原出版新社 2017	97847809 09432
30.	『臨床放射線腫瘍学：最新知見に基づいた放射線治療の実践』	日本放射線腫瘍学会, 日本放射線腫瘍学 研究機構編	南江堂 2012	97845242 63226

関連リンク

添付ファイル ※ 3 つまで、1 ファイルにつき 5 MB まで、圧縮ファイル OK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/08/28(金)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	49 中枢神経系 RI診断			
	担当者 (所属)	金子 恒一郎			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]主要な臨床・画像検査,CS-02-03-07			
	講義資料番号/連番(L MS)				1
2.	2026/09/01(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	14 脳腫瘍の病理			
	担当者 (所属)	箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-04-22,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				2
3.	2026/09/02(水)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	6 鎮痛薬・抗炎症薬			
	担当者 (所属)	瀧田 守親			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-04-15,PS-01-04-16			
	講義資料番号/連番(L MS)				3
4.	2026/09/02(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	8 小児のけいれん性疾患			

	担当者(所属)	伊藤 進			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2026/09/09(水)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	11 神経血管障害の病理(1)			
	担当者(所属)	箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-02,PS-02-03-05,PS-02-03-04,[別表]神経系,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2026/09/09(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	7小児の神経疾患			
	担当者(所属)	小平 かやの			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系,PS-02-03-02,[別表]救急・集中治療,[別表]感染症,CS-02-02-02,[別表]主要症候,[別表]小児			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2026/09/09(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	11 神経血管障害の病理(2)			
	担当者(所属)	箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-04,PS-02-03-05,[別表]神経系,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2026/09/10(木)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	3 脳・脊髄の感染症(1)			
	担当者(所属)	池口 亮太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患,PS-02-03-05,PS-01-03-12			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2026/09/14(月)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	29 定位放射線手術(ガンマナイフ)			
	担当者(所属)	松岡 綾子			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-03,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				9
1 0.	2026/09/14(月)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	26 神経系外傷			
	担当者(所属)				
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				10
1 1.	2026/09/15(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	5 癌・集学的治療における放射線治療の役割			
	担当者(所属)	大松 賢太			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	CS-02-02-02,CS-02-02-01,CS-02-04-01,PS-03-06-08,CM-02-03-02,CM-02-03-01,CM-02-01-01,CM-02-02-01,CM-02-01-02,CM-02-03-03,CM-02-03-04,PS-03-06-03,PS-03-06-04,PS-03-06-08			
	講義資料番号/連番(L MS)				11
1 2.	2026/09/16(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	9 脳腫瘍の放射線治療			
	担当者(所属)	橋本 弥一郎			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-03-04-24,PS-03-04-26,[別表]疾患,PS-01-03-12			
	講義資料番号/連番(L MS)				12
1 3.	2026/09/16(水)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	16 脳血管障害(1)			
	担当者(所属)	藤堂 謙一			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				13
1 4.	2026/09/18(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	2 脊椎・脊髄(1)			
	担当者(所属)	清水 篤			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				14
1 5.	2026/09/18(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	12 神経血管障害の病理(3)			
	担当者(所属)	箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系,[別表]疾患,PS-02-03-05,PS-02-03-04,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				15
1 6.	2026/09/18(金)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	20 周生期脳障害			
	担当者(所属)	中務 秀嗣			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				16
1 7.	2026/09/18(金)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	22 神経系感染症の病理(1)			
	担当者(所属)	箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系,			
	講義資料番号/連番(L MS)				17
1 8.	2026/09/25(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	15 頭痛			
	担当者(所属)	野中 拓			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-04-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(L MS)				18
1 9.	2026/09/25(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	23 神経系感染症の病理(2)			
	担当者(所属)	箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			

	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2026/09/25(金)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	41 先天奇形			
	担当者(所属)	衛藤 薫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-13,PS-01-02-16,PS-01-02-26,PS-02-03-01,[別表]神経系,			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2026/09/28(月)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	18 フロッピーインファント			
	担当者(所属)	石垣 景子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-04-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2026/09/28(月)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	24 神経系感染症の病理(3)			
	担当者(所属)	箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系,[別表]疾患,PS-02-03-05,			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2026/09/29(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	31 神経変性疾患の病理(1)			
	担当者(所属)	箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,CS-02-02-01,CS-02-02-02,CS-02-04-01,[別表]神経系,[別表]主要症候,[別表]小児			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2026/09/29(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	25 小児脳神経外科疾患			
	担当者(所属)	千葉 謙太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-02-02-03,CS-02-02-04,[別表]基本診療科			
	講義資料番号/連番(LMS)				24

2 5.	2026/09/30(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	21 てんかん			
	担当者(所属)	久保田 有一			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				25
2 6.	2026/10/01(木)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	47 脱随性疾患			
	担当者(所属)	清水 優子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				26
2 7.	2026/10/02(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	32 神経変性疾患の病理(2)			
	担当者(所属)	箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系,			
	講義資料番号/連番(L MS)				27
2 8.	2026/10/02(金)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	50 出血性脳血管障害			
	担当者(所属)	石川 達也			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				28
2 9.	2026/10/02(金)	4 時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	1, 2 神経系の病理(1)			
	担当者(所属)	山本 智子 倉田 厚 箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-04-19,PS-01-04-20,PS-03-04-06,PS-03-04-01,PS-03-04-07,PS-01-04-21,PS-01-04-22,PS-01-04-23			
	講義資料番号/連番(L MS)				46

3 0.	2026/10/02(金)	5 時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	1, 2 神経系の病理(1)			
	担当者(所属)	山本 智子 倉田 厚 箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-04-19,PS-01-04-20,PS-03-04-06,PS-03-04-01,PS-03-04-07,PS-01-04-21,PS-01-04-22,PS-01-04-23			
	講義資料番号/連番(L MS)				47
3 1.	2026/10/05(月)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	52 間脳下垂体			
	担当者(所属)	天野 耕作			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-05,[別表]疾患,PS-02-14-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				29
3 2.	2026/10/06(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	53 末梢神経疾患			
	担当者(所属)	鈴木 美紀			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				30
3 3.	2026/10/06(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	38 小児期発症の変性疾患(脳白質変性を中心に)			
	担当者(所属)	伊藤 康			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-03-05,PS-01-04-09,PS-02-14-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				31
3 4.	2026/10/06(火)	4 時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	3, 4 神経系の病理(2)			
	担当者(所属)	山本 智子 倉田 厚 箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-04-19,PS-01-04-20,PS-03-04-06,PS-03-04-01,PS-03-04-07,PS-01-04-21,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				

	講義資料番号/連番(LMS)				48
3 5.	2026/10/06(火)	5 時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	3, 4 神経系の病理(2)			
	担当者(所属)	山本 智子 倉田 厚 箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-04-19,PS-01-04-20,PS-03-04-06,PS-03-04-01,PS-03-04-07,PS-01-04-21,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
3 6.	2026/10/07(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	19 脳腫瘍 悪性腫瘍			
	担当者(所属)	丸山 隆志			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-04-19,PS-01-04-20,PS-03-04-06,PS-03-04-01,PS-03-04-07,PS-01-04-21,PS-01-04-22,PS-01-04-23			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
3 7.	2026/10/07(水)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	35 脳腫瘍 良性腫瘍			
	担当者(所属)	江口 盛一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
3 8.	2026/10/07(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	30 脳・脊髄感染症の外科			
	担当者(所属)	江口 盛一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
3 9.	2026/10/08(木)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	45 中枢神経系の画像診断(3)			
	担当者(所属)	野口 智幸			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-03,[別表]神経系			

	講義資料番号/連番(LMS)				35
40.	2026/10/08(木)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	42 運動ニューロン疾患			
	担当者(所属)	武田 貴裕			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患,PS-02-03-05,PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
41.	2026/10/09(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	40 先天神経奇形の病理			
	担当者(所属)	箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
42.	2026/10/13(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	27 変性疾患・遺伝性疾患(1)			
	担当者(所属)	飯嶋 睦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]神経系,[別表]疾患,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
43.	2026/10/13(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	39 脳血管障害の外科(1)			
	担当者(所属)	山口 浩司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
44.	2026/10/13(火)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	46 筋疾患			
	担当者(所属)	鈴木 美紀			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				40

4 5.	2026/10/14(水)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	48 内科疾患と神経障害			
	担当者(所属)	原 由紀子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-02,[別表]循環器系,[別表]神経系,[別表]疾患,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				41
4 6.	2026/10/14(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	51 機能的脳神経外科			
	担当者(所属)	金 吉秀			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				42
4 7.	2026/10/15(木)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	43 筋細胞の分子遺伝学(1)			
	担当者(所属)	荒川 玲子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-03,[別表]神経系,[別表]疾患,PS-02-03-05,PS-02-03-04,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				43
4 8.	2026/10/20(火)	3 時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	5, 6 神経系の病理(3)			
	担当者(所属)	山本 智子 倉田 厚 箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				50
4 9.	2026/10/20(火)	4 時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	5, 6 神経系の病理(3)			
	担当者(所属)	山本 智子 倉田 厚 箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				51
50.	2026/10/27(火)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	1 臨床実習 (1)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				54
51.	2026/10/27(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	1 臨床実習 (1)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				55
52.	2026/10/30(金)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	2 臨床実習 (2)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				56
53.	2026/10/30(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	2 臨床実習 (2)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				57
54.	2026/11/02(月)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	36 中枢神経系の画像診断(1)			
	担当者 (所属)	吉浦 敬			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)	44			
5 5.	2026/11/02(月)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	37 中枢神経系の画像診断(2)			
	担当者(所属)	吉浦 敬			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				45
5 6.	2026/11/06(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	3 臨床実習 (3)			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4) -(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-② ③④⑤			
	講義資料番号/連番(L MS)				58
5 7.	2026/11/06(金)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	3 臨床実習 (3)			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4) -(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-② ③④⑤			
	講義資料番号/連番(L MS)				59
5 8.	2026/11/09(月)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	4 臨床実習 (4)			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4) -(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-② ③④⑤			
	講義資料番号/連番(L MS)				60
5 9.	2026/11/09(月)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	4 臨床実習 (4)			
	担当者(所属)	-			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(L MS)	61			
6 0.	2026/11/13(金)	3 時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	7, 8 神経系の病理(4)			
	担当者 (所属)	山本 智子 倉田 厚 箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-04-19,PS-01-04-20,PS-03-04-06,PS-03-04-01,PS-03-04-07,PS-01-04-21,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				52
6 1.	2026/11/13(金)	4 時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	7, 8 神経系の病理(4)			
	担当者 (所属)	山本 智子 倉田 厚 箱崎 真結			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-04-19,PS-01-04-20,PS-03-04-06,PS-03-04-01,PS-03-04-07,PS-01-04-21,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				53
6 2.	2026/11/13(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	5 臨床実習 (5)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(L MS)				62
6 3.	2026/11/13(金)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	5 臨床実習 (5)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(L MS)				63

6 4.	2026/11/17(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	6 臨床実習 (6)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-② ③④⑤			
	講義資料番号/連番(L MS)				64
6 5.	2026/11/17(火)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	6 臨床実習 (6)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-② ③④⑤			
	講義資料番号/連番(L MS)				65
6 6.	2026/11/20(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	7 臨床実習 (7)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-② ③④⑤			
	講義資料番号/連番(L MS)				66
6 7.	2026/11/20(金)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	7 臨床実習 (7)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-② ③④⑤			
	講義資料番号/連番(L MS)				69
6 8.	2026/12/15(火)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	8 臨床実習 (8)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-② ③④⑤			

	講義資料番号/連番(LMS)				70
6 9.	2026/12/15(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	8 臨床実習 (8)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				67
7 0.	2027/01/05(火)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	9 臨床実習 (9)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				68
7 1.	2027/01/05(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	9 臨床実習 (9)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				71
7 2.	2027/01/08(金)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	10 臨床実習 (10)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				72
7 3.	2027/01/08(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	10 臨床実習 (10)			
	担当者 (所属)	-			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)			73	
7 4.	2027/01/12(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	11 臨床実習 (11)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				74
7 5.	2027/01/12(火)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	11 臨床実習 (11)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				75
7 6.	2027/01/29(金)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	12 臨床実習 (12)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				76
7 7.	2027/01/29(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	12 臨床実習 (12)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(3),D-2-1)-(4),D-2-1)-(5),D-2-1)-(6),D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)-⑦,E-2-3) ③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				77
7 8.	2027/02/05(金)	3 時限	試験	-	12:30-13:40
	タイトル	脳神経系2 試験 13:00-14:30 (講義室302,303)			

	担当者（所属）	林 基弘			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				78
7 9.	2027/02/05(金)	4 時限	試験	-	13:55-15:05
	タイトル	脳神経系 2 試験 13:00-14:30 (講義室302,303)			
	担当者（所属）	林 基弘			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				79
8 0.	2027/02/24(水)	3 時限	追・再試験	-	12:30-13:40
	タイトル	脳神経系 2 再試験 13:00-14:30 (講義室201)			
	担当者（所属）	林 基弘			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				80
8 1.	2027/02/24(水)	4 時限	追・再試験	-	13:55-15:05
	タイトル	脳神経系 2 再試験 13:00-14:30 (講義室201)			
	担当者（所属）	林 基弘			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				81

科目名	
精神系	
科目責任者(所属)	
押淵 英弘	
到達目標	
この系では、神経高次機能についての生理、生化学、薬理などを統合的に理解するとともに、その障害の症状、診断について学ぶ。また人格の全体的あり方や、行動、他者との交流など、基礎となる人間の心のありかたに簡単に触れる。診断学では、成因論を廃し、正確な症状把握に基づく操作的診断による「診断カテゴリー」という考え方を学ぶ。さらに主要な診断カテゴリーに対する現在の標準的治療法を学ぶ。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
<p>人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-①</p> <p>全身の疾患、外的要因による異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-③</p> <p>疾患、症候の病態を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>診断の過程を説明し実践できる。 I-1-B-(3-4)-①</p> <p>適切な治療法とその根拠を説明できる。 I-1-B-(3-4)-②</p> <p>基本的医療技能を示すことができる。 I-1-C-(3-4)-①</p> <p>問題の優先度および重要度を判断できる。 I-2-A-(3-4)-①</p> <p>事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I-2-A-(3-4)-②</p> <p>問題の科学的重要性を評価できる。 I-2-B-(3-4)-①</p> <p>基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 I-2-B-(3-4)-②</p> <p>事例から自分の知らないことを発見できる。 I-2-C-(3-4)-①</p> <p>未知の問題を解決する方法を見つけることができる。 I-2-C-(3-4)-②</p> <p>適切な診療ガイドラインを選択できる。 I-3-A-(3-4)-②</p> <p>病態を明らかにする方法を挙げることができる。 I-3-B-(3-4)-①</p> <p>事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 I-3-B-(3-4)-②</p> <p>医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 I-4-A-(3-4)-①</p> <p>患者に分かる言葉を選択できる。 I-4-A-(3-4)-②</p> <p>診療上のエビデンスを選ぶことができる。 I-5-B-(3-4)-①</p> <p>倫理的問題を明らかにできる。 I-6-B-(3-4)-②</p> <p>社会保障を概説できる。 I-6-D-(3-4)-①</p> <p>医療に関する保証制度を概説できる。 I-6-D-(3-4)-②</p> <p>他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 II-1-B-(3-4)-①</p> <p>患者・家族の心理を説明できる。 II-1-B-(3-4)-②</p> <p>社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。 II-1-C-(3-4)-①</p> <p>地域社会の医療ニーズを説明できる。 II-2-B-(3-4)-①</p> <p>女性のライフサイクルを説明できる。 II-2-C-(3-4)-②</p> <p>医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。 II-3-A-(3-4)-①</p>	
学修（教育）方法	
講義・実習	
評価方法 (1)総括的評価の対象	
科目成績は定期試験（筆記試験）の他に実習の平均を科目成績の5%として反映させる。ただし すべての実習への参加や欠席した場合はレポートの提出が定期試験の受験資格として必要である	
評価方法 (2)評価項目	
患者-医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。	D-15-1)
精神科診断分類法を説明できる。	D-15-1)

精神科医療の法と倫理に関する必須項目（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、心神喪失者等医療観察法、インフォームド・コンセント）を説明できる。	D-15-1)
コンサルテーション・リエゾン精神医学を説明できる。	D-15-1)
心理学的検査法（質問紙法、Rorschachテスト、簡易精神症状評価尺度(Brief Psychiatric Rating Scale <BPRS>）、Hamiltonうつ病評価尺度、Beckのうつ病自己評価尺度、状態特性不安検査(State-Trait Anxiety Inventory <STAI>）、Mini-Mental State Examination <MMSE>、改訂長谷川式簡易知能評価スケール等）の種類と概要を説明できる。	D-15-1)
不安・躁うつをきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。	D-15-2)
意識障害、不眠、幻覚・妄想をきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。	D-15-2)
ストレスなどの心理社会的要因が症候（息苦しさ、心窩部痛、腹痛、頭痛、疲労、痒み、慢性疼痛等）に密接に関連している代表的な疾患を列挙し、その鑑別診断を説明できる。	D-15-2)
症状精神病の概念と診断を概説できる。	D-15-3)
認知症の診断と治療を説明できる。	D-15-3)
薬物使用に関連する精神障害やアルコール、ギャンブル等への依存症の病態と症候を説明できる。	D-15-3)
統合失調症の症候と診断、救急治療を説明できる。	D-15-3)
うつ病の症候と診断を説明できる。	D-15-3)
双極性障害（躁うつ病）の症候と診断を説明できる。	D-15-3)
不安障害群と心的外傷及びストレス関連障害群の症候と診断を説明できる。	D-15-3)
身体症状症及び関連症群、食行動障害及び摂食障害群の症候と診断を説明できる。	D-15-3)
解離性障害群の症候、診断と治療を説明できる。	D-15-3)
パーソナリティ障害群を概説できる。	D-15-3)
知的能力障害群と自閉スペクトラム障害(autism spectrum disorder <ASD>)を概説できる。	D-15-3)
注意欠如・多動障害(attention deficit / hyperactivity disorder <ADHD>)と運動障害群を概説できる。	D-15-3)

評価方法
(2)評価項目続き

評価方法
(3)評価基準

上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、以下のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

- S.極めて良く理解している（90%以上）
- A.良く理解している（80%以上90%未満）
- B.平均的に理解している（70%以上80%未満）
- C.最低限は理解している（60%以上70%未満）
- D.理解が不十分である（60%未満）

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

形成的評価は知識・技能・態度全般にわたって講義、実習（レポートを含む）の際に随時行います。

実務経験

大学病院の精神科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『カンデル神経科学』	Eric R. Kandel [ほか] 編	メディカル・サイエンス・ インターナショナル 2014	9784895927710
2.	『標準生理学（Standard textbook）』	本間研一 [ほか] 編	医学書院 2014	9784260017817
3.	『ヴォート生化学 上下』	Donald Voet, Judith G.Voet著；田宮信雄 [ほか] 訳	東京化学同人 2012-2013	9784807908073,9 784807908080
4.	『イラストレイテッドハーパー・生化学』	ハーパー [原著]；R.K. Murray [ほか著]；五十嵐和彦 [ほか訳]	丸善 2013	9784621087282
5.	『心身医学標準テキスト』	久保千春編	医学書院 2009	9784260004435

6.	『脳とことば：言語の神経機構（ブレインサイエンス・シリーズ；21）』	岩田誠著	共立出版 1996	4320053982
7.	『現代臨床精神医学』	大熊輝雄原著；「現代臨床精神医学」第12版改訂委員会編	金原出版 2013	9784307150675
8.	『リエゾン精神医学とその治療学（新世紀の精神科治療；4）』	山脇成人担当編集	中山書店 2009	9784521730851
9.	『臨床神経心理学ハンドブック』	P. W. Halligan, U. Kischka, J. C. Marshall [編]	西村書店 2011	9784890134144
10.	『標準精神医学（Standard textbook）』	尾崎紀夫, 朝田隆, 村井俊哉編；野村総一郎 [ほか] 執筆	医学書院 2015	9784260020411
11.	『カプラン臨床精神医学テキスト：DSM-5診断基準の臨床への展開』	ベンジャミン J. サドック, バージニア A. サドック, ペドロ ルイス編著；井上令一監修；四宮滋子, 田宮聡監訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2016	9784895928526
12.	『DSM-5精神疾患の分類と診断の手引』	American Psychiatric Association [編]；染矢俊幸 [ほか] 訳	医学書院 2014	9784260019088
13.	『臨床精神神経薬理学テキスト』	日本臨床精神神経薬理学会専門医制度委員会編	星和書店 2014	9784791108916

関連リンク

添付ファイル ※ 3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/10/16(金)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	1 科目の概要／精神科診断学総論			
	担当者（所属）	押淵 英弘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-17-04,PS-02-17-03			
	講義資料番号/連番(LMS)	1			
2.	2026/10/16(金)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	5 心の脳科学			
	担当者（所属）	夏堀 晃世			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-05-01,GE-04-02-03,GE-03-02-02,GE-03-01-01,GE-03-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)	2			
3.	2026/10/16(金)	6時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	7 脳内活性物質・神経伝達物質			

	担当者(所属)	中村 史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-05,PS-01-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2026/10/19(月)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	4 精神機能と画像			
	担当者(所属)	坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-03,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2026/10/19(月)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	6 精神症状学			
	担当者(所属)	押淵 英弘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]精神系,PS-02-17-02,CS-02-02-02,[別表]主要症候			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2026/10/20(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	3 精神科の診察法			
	担当者(所属)	高橋 一志			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-17-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2026/10/20(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	2 学習と記憶のメカニズム			
	担当者(所属)	宮田 麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-05-01,GE-04-02-03,GE-01-05-01,PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2026/10/21(水)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	9 器質性精神障害・物質誘発性精神障害			
	担当者(所属)	押淵 英弘			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-17-04,PS-02-17-02,PS-02-17-05,PS-03-05-08,PS-03-05-07,SO-01-04-04,[別表]精神系,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(LMS)	8			
9.	2026/10/27(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	10 気分障害/自殺			
	担当者(所属)	高橋 一志			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-17-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(LMS)	9			
10.	2026/10/27(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	22 認知症			
	担当者(所属)	吉澤 浩志			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-17-05,[別表]疾患,CS-02-02-01,CS-02-02-02,CS-02-04-01,[別表]主要症候			
	講義資料番号/連番(LMS)	10			
11.	2026/10/27(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	23 不安症・解離症			
	担当者(所属)	森田 萌子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-17-05,[別表]疾患,[別表]精神系,PS-02-17-02,CS-02-02-01,CS-02-02-02,CS-02-04-01,[別表]主要症候			
	講義資料番号/連番(LMS)	11			
12.	2026/10/28(水)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	25 老年期の精神障害			
	担当者(所属)	押淵 英弘			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	GE-03-02-02,GE-03-01-01,GE-03-01-03,PS-02-17-05,[別表]疾患,GE-03-05-01,GE-03-05-02,GE-03-05-03,GE-03-05-04,PS-02-17-05,GE-03-05-05,GE-03-05-06,GE-01-01-07,GE-03-05-07,GE-03-06-03			
	講義資料番号/連番(LMS)	12			
13.	2026/10/28(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	16 睡眠覚醒障害			
	担当者(所属)	松井 健太郎			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]精神系,PS-02-17-02,[別表]疾患,PS-02-07-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				13
1 4.	2026/10/29(木)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	12 児童・青年期の精神障害			
	担当者(所属)	押淵 英弘			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,GE-03-01-03			
	講義資料番号/連番(L MS)				14
1 5.	2026/10/29(木)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	19 摂食障害およびアルコール・物質関連障害			
	担当者(所属)	加茂 登志子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-17-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(L MS)				15
1 6.	2026/10/29(木)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	11 パーソナリティと行動の障害			
	担当者(所属)	辻 かをる			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	GE-01-03-02,GE-01-02-01,CM-03-01-02,CM-03-01-01,GE-04-02-03,GE-04-02-01,GE-04-02-02, CM-03-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,CM-03-01-03,CM-03-02-02,GE-04-02-01,IP-02-04-01,IP-02-03-02,PS-02-17-04			
	講義資料番号/連番(L MS)				16
1 7.	2026/10/30(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	13 ストレス・トラウマ関連障害			
	担当者(所属)	加茂 登志子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-17-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(L MS)				17
1 8.	2026/10/30(金)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	17 抗精神病薬・抗うつ薬			
	担当者(所属)	梶 健二郎			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]精神系,PS-02-17-02,PS-02-17-05,[別表]疾患,CS-02-04-09,CS-02-04-04,PS-01-03-33			
	講義資料番号/連番(L MS)				18
1 9.	2026/11/02(月)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	18 統合失調症			
	担当者(所属)	村岡 寛之			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-17-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(L MS)				19
2 0.	2026/11/02(月)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	15 精神科治療：身体療法・薬物療法			
	担当者(所属)	押淵 英弘			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	CS-02-04-09,CS-02-04-04,CS-02-04-12,CS-02-04-06,CS-02-04-07,GE-01-01-07			
	講義資料番号/連番(L MS)				20
2 1.	2026/11/02(月)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	24 リエゾン精神医学			
	担当者(所属)	押淵 英弘			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-17-04,[別表]精神系,CS-02-02-01,CS-02-02-02,[別表]主要症候,CS-02-04-01			
	講義資料番号/連番(L MS)				21
2 2.	2026/11/05(木)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	21 精神科治療：社会療法および社会援助システム			
	担当者(所属)	辻 かをる			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-17-04,CS-02-04-45,[別表]精神系			
	講義資料番号/連番(L MS)				22
2 3.	2026/11/06(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	8 心身症			
	担当者(所属)	小笠原 知子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-02-19,GE-01-05-01,GE-01-05-02			

	講義資料番号/連番(LMS)				23
2 4.	2026/11/06(金)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	20 睡眠薬・抗不安薬			
	担当者(所属)	梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]精神系,PS-02-17-02,CS-02-04-09,CS-02-04-04,PS-01-03-33			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
2 5.	2026/11/10(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	14 強迫症・身体症状症			
	担当者(所属)	森田 萌子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-17-05,[別表]疾患,[別表]精神系,PS-02-17-02,CS-02-02-01,CS-02-02-02,[別表]主要症候			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
2 6.	2026/11/12(木)	4 時限	実習	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	②心理教育			
	担当者(所属)	辻 かをる			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-05-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
2 7.	2026/11/12(木)	5 時限	実習	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	②心理教育			
	担当者(所属)	辻 かをる			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-05-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
2 8.	2026/11/19(木)	4 時限	実習	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	①精神科構造化面接とその実際			
	担当者(所属)	押淵 英弘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-17-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				28

29.	2026/11/19(木)	5 時限	実習	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	①精神科構造化面接とその実際			
	担当者(所属)	押淵 英弘			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-17-04			
	講義資料番号/連番(L MS)				29
30.	2027/02/08(月)	3 時限	試験	-	12:30-13:40
	タイトル	精神系 試験 13:00-14:30 (講義室302,303)			
	担当者(所属)	押淵 英弘			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				30
31.	2027/02/08(月)	4 時限	試験	-	13:55-15:05
	タイトル	精神系 試験 13:00-14:30 (講義室302,303)			
	担当者(所属)	押淵 英弘			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				31
32.	2027/02/25(木)	1 時限	追・再試験	-	09:00-10:10
	タイトル	精神系 再試験 10:00-11:30 (講義室201)			
	担当者(所属)	押淵 英弘			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				32
33.	2027/02/25(木)	2 時限	追・再試験	-	10:25-11:35
	タイトル	精神系 再試験 10:00-11:30 (講義室201)			
	担当者(所属)	押淵 英弘			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				33

科目名
聴覚・耳鼻咽喉系
科目責任者(所属)
水足 邦雄

到達目標
聴覚・耳鼻咽喉系は耳鼻咽喉科頭頸部外科学領域の基礎と臨床の感覚系を中心にまとめたものである。嗅覚、聴覚、平衡機能、味覚を中心に顔面神経、三叉神経、舌咽神経、迷走神経、舌下神経についても学ぶ。これらの感覚器・神経系のみならず、周囲構造としての外耳・中耳・内耳・鼻腔や副鼻腔、口腔、咽頭、喉頭、頸部、上部気管・食道の領域もカバーする。感覚器系疾患、頭頸部腫瘍、唾液腺疾患についても基礎・臨床を含め詳細に講義される。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。	I-1-A-(3-4)-①
診断の過程を説明し実践できる。	I-1-B-(3-4)-①
基本的医療技能を示すことができる。	I-1-C-(3-4)-①
問題の優先度および重要度を判断できる。	I-2-A-(3-4)-①
問題の科学的重要性を評価できる。	I-2-B-(3-4)-①
事例から自分の知らないことを発見できる。	I-2-C-(3-4)-①
事例に即した問題解決のための情報検索ができる。	I-3-A-(3-4)-①
病態を明らかにする方法を挙げることができる。	I-3-B-(3-4)-①
適切な問題解決を行ったか検証できる。	I-3-C-(3-4)-①
医学的情報をわかりやすく伝えることができる。	I-4-A-(3-4)-①
研究・実習・症例などの要約が作成できる。	I-4-B-(3-4)-①
研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。	I-4-C-(3-4)-①
データ・結果の根拠を批判的に説明できる。	I-5-A-(3-4)-①
診療上のエビデンスを選ぶことができる。	I-5-B-(3-4)-①
医学生の医行為水準を説明できる。	I-6-A-(3-4)-①
医学における倫理の概念を説明できる。	I-6-B-(3-4)-①
基礎研究における倫理指針を概説できる。	I-6-C-(3-4)-①
傾聴できる。	II-1-A-(3-4)-①
他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。	II-1-B-(3-4)-①
卒業までの学修目標を立て、自分の達成度を評価できる。	II-2-A-(3-4)-①
学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。	II-2-C-(3-4)-①
自分のモデルとなる先輩を示すことができる。	II-2-E-(3-4)-①
医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。	II-3-A-(3-4)-①
基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。	II-3-B-(3-4)-①
自分の選択・判断の根拠を説明できる。	II-4-A-(3-4)-①
討論・話し合いを促せる。	II-4-B-(3-4)-①
グループ目標達成のために行動できる。	II-4-C-(3-4)-①
学修する事例について医学の貢献を説明できる。	II-5-A-(3-4)-①
自分が目標をどのように達成したかを他者に説明できる。	II-5-B-(3-4)-①

学修（教育）方法
講義・実習・テュートリアル・TBL

評価方法 (1)総括的評価の対象
科目成績は定期試験（筆記試験）の他に実習の平均を科目成績の10%として反映させる。ただし、定期試験を受けるに当該科目の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である。

評価方法 (2)評価項目	
1) 外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。	D-14-1)-①
2) 聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。	D-14-1)-②
3) 口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。	D-14-1)-③

4) 喉頭の機能と神経支配を説明できる。	D-14-1)-(4)
5) 平衡感覚機構を眼球運動、姿勢制御と関連させて説明できる。	D-14-1)-(5)
6) 味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。	D-14-1)-(6)
7) 聴力検査と平衡機能検査を説明できる。	D-14-2)-(1)
8) 味覚検査と嗅覚検査を説明できる。	D-14-2)-(2)
9) 気道狭窄、難聴、鼻出血、咽頭痛、開口障害と反回神経麻痺（嗄声）をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。	D-14-3)-(1)①
10) めまい	D-14-3)-(2)①
11) 嚥下障害・誤嚥	D-14-3)-(2)②
12) 滲出性中耳炎、急性中耳炎と慢性中耳炎の病因、診断と治療を説明できる。	D-14-4)-(1)①
13) 伝音難聴と感音難聴、迷路性と中枢性難聴を病態から鑑別し、治療を説明できる。	D-14-4)-(1)②
14) 末梢性めまいと中枢性めまいを鑑別し、治療を説明できる。	D-14-4)-(1)③
15) 良性発作性頭位眩暈症の症候、診断と治療を説明できる。	D-14-4)-(1)④
16) 鼻出血の好発部位と止血法を説明できる。	D-14-4)-(1)⑤
17) 副鼻腔炎（急性、慢性）の病態と治療を説明できる。	D-14-4)-(1)⑥
18) アレルギー性鼻炎の発症機構を説明できる。	D-14-4)-(1)⑦
19) 扁桃の炎症性疾患の病態と治療を説明できる。	D-14-4)-(1)⑧
20) 歯科疾患（う蝕、歯周病等）とその全身への影響や口腔機能管理を概説できる。	D-14-4)-(1)⑨
21) 気管切開の適応を説明できる。	D-14-4)-(1)⑩
22) 外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物を説明し、除去法を説明できる。	D-14-4)-(1)⑪
23) 唾液腺疾患を列挙できる。	D-14-4)-(1)⑫
24) 口腔・咽頭癌について、病因、病期分類、検査所見、画像所見、病理所見、治療法を説明できる。	D-14-4)-(2)①
25) 喉頭癌について、病因、病期分類、検査所見、画像所見、病理所見、治療法を説明できる。	D-14-4)-(2)②
26) 頭部（顔貌、頭髪、頭皮、頭蓋）の診察ができる。	F-3-5)-(3)①
27) 眼（視野、瞳孔、対光反射、眼球運動・突出、結膜）の診察ができる。	F-3-5)-(3)②
28) 耳（耳介、聴力）の診察ができる。	F-3-5)-(3)③
29) 耳鏡で外耳道、鼓膜を観察できる。	F-3-5)-(3)④
30) 音叉を用いて聴力試験を実施できる。	F-3-5)-(3)⑤
31) 口唇、口腔、咽頭、扁桃の診察ができる。	F-3-5)-(3)⑥
32) 鼻腔、副鼻腔の診察ができる。	F-3-5)-(3)⑦
33) 鼻鏡を用いて前鼻腔を観察できる。	F-3-5)-(3)⑧
34) 甲状腺、頸部血管、気管、唾液腺の診察ができる。	F-3-5)-(3)⑨
35) 頭頸部リンパ節の診察ができる。	F-3-5)-(3)⑩

評価方法
(2)評価項目続き

評価方法
(3)評価基準

上記の評価項目における定期試験にて100点満点で点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）A.良く理解している（80%以上90%未満）B.平均的に理解している（70%以上80%未満）C.最低限は理解している（60%以上70%未満）D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

-

実務経験

○ 大学病院の耳鼻咽喉科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『新耳鼻咽喉科学』	野村恭也、加我君孝、切替一郎（原著）	南山堂 2022	9784525370527
2.	『標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学』	大森孝一、野中学、小島博己編集	医学書院 2022	9784260047654

3.	『SUCCESS耳鼻咽喉科』	野中学, 大塚康司, 渡邊荘編	金原出版 2017	9784307371162
4.	『唾液腺腫瘍アトラス』	日本唾液腺学会編	金原出版 2005	9784307030533
5.	『口腔咽頭の臨床』	吉原俊雄, 湯本英二, 黒野祐一総編集 ; 川内秀之 [ほか] 編	医学書院 2015	9784260021630
6.	『顔面神経麻痺診療の手引 : Bell麻痺とHunt症候群』	日本顔面神経研究会編	金原出版 2011	9784307371049
7.	『頭頸部癌取扱い規約 第6版補訂版』	日本頭頸部癌学会編	金原出版 2019	9784307204064
8.	『IgG4関連疾患実践的臨床から病因へ(IgG4研究会モノグラフ)』	中村誠司, 住田孝之監修 ; 川茂幸, 川野充弘編集 ; IgG4研究会著	前田書店 2015	9784944121250
9.	『21世紀耳鼻咽喉科領域の臨床 : CLIENT 21 1~21巻』	野村恭也, 小松崎篤, 本庄巖総編集	中山書店 1999-2002	452159221X
10.	『中耳・外耳(新図説耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座 ; 2)』	森山寛本巻担当編集委員	メジカルビュー社 2000	4895538494
11.	『鼻・副鼻腔(新図説耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座 ; 3)』	夜陣紘治本巻担当編集委員	メジカルビュー社 2000	4895538508
12.	『口腔・咽頭・喉頭・気管・食道(新図説耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座 ; 4)』	山下敏夫本巻担当編集委員	メジカルビュー社 2000	4895538516
13.	『頭頸部腫瘍(新図説耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座 ; 5)』	古川仍本巻担当編集委員	メジカルビュー社 2001	4307003411
14.	『分担解剖学 全3巻』	森於菟 [ほか] 著	金原出版 1982~	4307003411, 430700342X, 4307003438
15.	『標準生理学 (Standard textbook) 第9版』	小澤澗司 [ほか] 編	医学書院 2019	9784260034296
16.	『人体機能生理学』	杉晴夫編著 ; 宮崎俊一 [ほか] 共著	南江堂 2003	4524224785
17.	『カラー基本生理学』	バーン, レヴィ編 ; 有田順 [ほか] 訳	西村書店 2003	4890133062
18.	『半規管前庭神経核ニューロンの神経機構 (神経研究の進歩 36巻5号) 』		医学書院 1992	
19.	『平衡機能の神経解剖学 (臨床科学 29巻11号 P age1495-1504) 』	内野善生著	臨床科学社 1993	

関連リンク

添付ファイル ※ 3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/10/27(火)	4時限	実習	-	13:55-15:05

	タイトル	1 臨床実習 (1)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)			29	
2.	2026/10/27(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	1 臨床実習 (1)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				30
3.	2026/10/30(金)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	2 臨床実習 (2)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				31
4.	2026/10/30(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	2 臨床実習 (2)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				32
5.	2026/11/06(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	3 臨床実習 (3)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				33
6.	2026/11/06(金)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	3 臨床実習 (3)			

	担当者（所属）	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
7.	2026/11/09(月)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	1 科目の概要・耳科手術			
	担当者（所属）	水足 邦雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患 [別表]疾患,PS-02-16-05,PS-02-16-04,[別表]疾患,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系,			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
8.	2026/11/09(月)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	2 感覚器組織学（聴覚）			
	担当者（所属）	石津 綾子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-04-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
9.	2026/11/09(月)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	3 味覚・嗅覚の信号伝達と情報処理			
	担当者（所属）	植田 禎史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-16-01,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系,PS-02-03-01,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
10.	2026/11/09(月)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	4 聴覚・平衡感覚の信号伝達と情報処理			
	担当者（所属）	植田 禎史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-16-01,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系,PS-02-03-01,[別表]神経系 PS-02-03-01,PS-02-03-02,[別表]神経系,PS-02-16-01,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
11.	2026/11/09(月)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	4 臨床実習（4）			
	担当者（所属）	-			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				35
1 2.	2026/11/09(月)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	4 臨床実習 (4)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				36
1 3.	2026/11/10(火)	4 時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	1, 2, 3 解剖 感覚器 (組織学) 聴覚			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-03,PS-01-02-17,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				24
1 4.	2026/11/10(火)	5 時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	1, 2, 3 解剖 感覚器 (組織学) 聴覚			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-03,PS-01-02-17,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				25
1 5.	2026/11/10(火)	6 時限	実習	大実習室 3	16:35-17:45
	タイトル	1, 2, 3 解剖 感覚器 (組織学) 聴覚			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄			

		石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-03-01,PS-02-03-03,PS-01-02-17,[別表]神経系			
	講義資料番号/連番(L MS)				26
1 6.	2026/11/13(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	5 耳科検査 (1) 聴覚検査			
	担当者 (所属)	須納瀬 弘			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-16-02,PS-02-16-03,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系			
	講義資料番号/連番(L MS)				5
1 7.	2026/11/13(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	5 臨床実習 (5)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				37
1 8.	2026/11/13(金)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	5 臨床実習 (5)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				38
1 9.	2026/11/16(月)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	6 耳科検査 (2) 平衡機能検査			
	担当者 (所属)	門園 修			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-16-02,PS-02-16-03,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系			
	講義資料番号/連番(L MS)				6
2 0.	2026/11/16(月)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05

	タイトル	7 耳鼻咽喉科領域の病理		
	担当者（所属）	山本 智子		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-16-05		
	講義資料番号/連番(L MS)			9
2 1.	2026/11/16(月)	5 時限	実習	大実習室 3 15:15-16:25
	タイトル	4, 5 眼科・耳鼻咽喉科疾患の病理		
	担当者（所属）	山本 智子 倉田 厚 有益 優		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-16-05		
	講義資料番号/連番(L MS)			27
2 2.	2026/11/16(月)	6 時限	実習	大実習室 3 16:35-17:45
	タイトル	4, 5 眼科・耳鼻咽喉科疾患の病理		
	担当者（所属）	山本 智子 倉田 厚 有益 優		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-16-05		
	講義資料番号/連番(L MS)			28
2 3.	2026/11/17(火)	2 時限	講義	講義室 201 10:25-11:35
	タイトル	8 画像診断		
	担当者（所属）	齋藤 尚子		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-16-05		
	講義資料番号/連番(L MS)			10
2 4.	2026/11/17(火)	4 時限	講義	講義室 201 13:55-15:05
	タイトル	9 鼻アレルギー		
	担当者（所属）	瀬尾 友佳子		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-16-05,PS-02-16-04,[別表]疾患,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系,PS-02-04-03,[別表]皮膚系,PS-01-03-29,PS-03-02-02,[別表]身体診察		
	講義資料番号/連番(L MS)			11

2 5.	2026/11/17(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	6 臨床実習 (6)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				39
2 6.	2026/11/17(火)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	6 臨床実習 (6)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				40
2 7.	2026/11/18(水)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	10 外耳・中耳疾患			
	担当者 (所属)	中居 えみり			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-16-05,PS-02-16-04,[別表]疾患,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系,			
	講義資料番号/連番(L MS)				12
2 8.	2026/11/19(木)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	11 鼻腔の解剖・生理・睡眠時無呼吸症候群			
	担当者 (所属)	渡邊 荘			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-16-01,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系			
	講義資料番号/連番(L MS)				7
2 9.	2026/11/19(木)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	12 感音難聴			
	担当者 (所属)	水足 邦雄			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-16-01,PS-02-16-02,PS-02-16-03,PS-02-16-04,PS-02-16-05,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系,[別表]疾患,[別表]身体診察			
	講義資料番号/連番(L MS)				8
3 0.	2026/11/19(木)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40

	タイトル	13 めまい疾患			
	担当者（所属）	福嶋 宗久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患,PS-02-16-05,PS-02-16-02,PS-02-16-03,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系,			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
3 1.	2026/11/20(金)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	14 顔面神経麻痺			
	担当者（所属）	富田 英莉香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-16-01PS-02-16-02,PS-02-16-03,PS-03-04-19,[別表]疾患,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
3 2.	2026/11/20(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	7 臨床実習 (7)			
	担当者（所属）	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
3 3.	2026/11/20(金)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	7 臨床実習 (7)			
	担当者（所属）	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
3 4.	2026/12/14(月)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	15 味覚・口腔疾患・唾液腺非腫瘍性疾患			
	担当者（所属）	山村 幸江			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-16-01,PS-02-16-02,PS-02-16-03,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系,PS-03-04-19,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
3 5.	2026/12/15(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	16 喉頭疾患			

	担当者(所属)	三枝 英人			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-16-01,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系,[別表]疾患,PS-02-07-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				16
3 6.	2026/12/15(火)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	8 臨床実習 (8)			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				43
3 7.	2026/12/15(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	8 臨床実習 (8)			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				44
3 8.	2026/12/16(水)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	17 小児の耳鼻咽喉科疾患			
	担当者(所属)	水足 邦雄			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-08-01,[別表]消化器系,PS-01-03-07,[別表]循環器系,PS-02-06-02,PS-03-05-02,[別表]疾 患,PS-02-07-05,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系,GE-03-05-01,GE-03-05-02,GE-03-05-03,GE-03-05-0 4,PS-02-17-05,GE-03-05-05,GE-03-05-06,GE-01-01-07,GE-03-05-07,GE-03-06-03,GE-03-0 6-01,GE-03-06-04			
	講義資料番号/連番(L MS)				17
3 9.	2026/12/17(木)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	18 頭頸部良性疾患			
	担当者(所属)	稲井 俊太			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-03-07,PS-02-08-01,[別表]消化器系,[別表]疾患,PS-02-16-05,PS-02-16-04,[別表]疾患,[別 表]耳鼻・咽喉・口腔系			
	講義資料番号/連番(L MS)				18
4 0.	2026/12/17(木)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	19 鼻・副鼻腔疾患・手術			

	担当者(所属)	向井 昌功			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-16-05			
	講義資料番号/連番(L MS)	19			
4 1.	2026/12/17(木)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	20 咽喉頭の感染症疾患と異物・気管切開			
	担当者(所属)	余田 敬子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-16-05,PS-02-16-04,[別表]疾患,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系,PS-02-16-05,[別表]疾 患,PS-02-07-05			
	講義資料番号/連番(L MS)	20			
4 2.	2026/12/17(木)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	21 耳鼻咽喉科領域の外傷			
	担当者(所属)	余田 敬子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]循環器系,PS-02-CS-02-02-02,PS-03-05-13,CS-03-03-04,PS-03-05-1216-01,PS-02-16- 02,PS-02-16-03,[別表]耳鼻・咽喉・口腔系,PS-03-05-13,CS-02-02-01,PS-03-05-13,CS-03-03-0 4,CS-02-04-01,PS-03-05-12,GE-01-01-01,GE-01-01-05,GE-01-01-06,GE-01-01-02,GE-01-0 1-04,CS-02-04-20,CS-02-01-01,CS-02-01-02			
	講義資料番号/連番(L MS)	21			
4 3.	2027/01/05(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	22 頭頸部腫瘍(1)			
	担当者(所属)	中溝 宗永			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-03-04-19,[別表]疾患,PS-02-07-03,[別表]呼吸器系			
	講義資料番号/連番(L MS)	22			
4 4.	2027/01/05(火)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	9 臨床実習 (9)			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)	45			
4 5.	2027/01/05(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	9 臨床実習 (9)			

	担当者（所属）	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				46
4 6.	2027/01/06(水)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	23 頭頸部腫瘍(2)			
	担当者（所属）	稲井 俊太			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-03-04-19,[別表]疾患,PS-02-07-03,[別表]呼吸器系			
	講義資料番号/連番(L MS)				23
4 7.	2027/01/08(金)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	10 臨床実習 (10)			
	担当者（所属）	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				47
4 8.	2027/01/08(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	10 臨床実習 (10)			
	担当者（所属）	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				48
4 9.	2027/01/12(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	11 臨床実習 (11)			
	担当者（所属）	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				49
5 0.	2027/01/12(火)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	11 臨床実習 (11)			
	担当者（所属）	-			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				50
5 1.	2027/01/29(金)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	12 臨床実習 (12)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				51
5 2.	2027/01/29(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	12 臨床実習 (12)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	F-3-5)-(3)③-⑩			
	講義資料番号/連番(L MS)				52
5 3.	2027/02/04(木)	3 時限	試験	-	12:30-13:40
	タイトル	聴覚・耳鼻咽喉系 試験 13:00-14:30 (講義室302,303)			
	担当者 (所属)	水足 邦雄			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				53
5 4.	2027/02/04(木)	4 時限	試験	-	13:55-15:05
	タイトル	聴覚・耳鼻咽喉系 試験 13:00-14:30 (講義室302,303)			
	担当者 (所属)	水足 邦雄			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				54
5 5.	2027/02/25(木)	3 時限	追・再試験	-	12:30-13:40
	タイトル	聴覚・耳鼻咽喉系 再試験 13:00-14:30 (講義室201)			
	担当者 (所属)	水足 邦雄			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				55
5 6.	2027/02/25(木)	4 時限	追・再試験	-	13:55-15:05
	タイトル	聴覚・耳鼻咽喉系 再試験 13:00-14:30 (講義室201)			
	担当者 (所属)	水足 邦雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				56

科目名	
眼・視覚系	
科目責任者(所属)	
丸子 一郎	
到達目標	
<p>眼球は視覚を司る器官で、体に占める容積は小さいが、どんなに精巧に作られたコンピュータもおよばないほど精密に機能している。われわれが外界で得られる情報のうち、実に80% はこの視覚を通して獲得するとも言われている。眼・視覚系では、この視覚を司る眼球を中心に、その構造、機能、視覚の伝達と情報処理機能およびその異常を基礎的・臨床的立場から統合して学ぶ。</p>	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
I 基本的知識と技能	(I-1. B, C, I-2. A, B, C, I-3. A, B, II-1A, B)
問診	
1. 医療面接の重要性を理解し、患者やその家族に配慮しながら、患者の解釈モデル、受診動機、受療行動を把握できる。	
2. 患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活・職業歴）の聴取と記録ができる。	
眼科的検査	(I-1. A, B, C, I-2. B, I-5. A,)
1. 視診（対光反応、眼位、眼球運動、輻輳、充血や眼球突出の有無）の結果を記載できる。	
2. 細隙灯顕微鏡検査で前眼部・中間透光体（眼瞼、結膜、角膜、前房、虹彩、水晶体、前部硝子体）の観察をして、記載できる。	
3. 眼底写真をみて、正常眼底との違いが述べられる。	
4. 網膜の光干渉断層計による画像と網膜の組織像を対応して評価できる。	
5. 眼圧の検査方法を説明できる。	
6. 網膜電位図の適応疾患を列挙できる。	
7. 眼底造影検査の適応、合併症について説明できる。	
8. 視野検査の種類と伝導路との関連を理解している。	
眼科疾患の診断と治療	(I-1.A, B, C, I-3. A, B, C, I-2. A, B, C, I-5. A, B, II-1 A, B, C)
1. 屈折異常と調節障害の病態生理を説明できる。	
2. ウイルス性結膜炎の原因、治療、感染対策について説明できる。	
3. 白内障の原因、症状、手術適応について説明できる。	
4. 白内障手術の合併症について述べられる。	
5. 白内障術後管理について患者背景を考慮して立案できる。	
6. 緑内障の病態と治療について述べられる。	
7. 裂孔原性網膜剥離の病態、治療について述べられる。	
8. 糖尿病網膜症の病態、分類を述べるができる。	
9. 高血圧、動脈硬化による眼底所見の変化、分類を説明できる。	
10. ぶどう膜炎を炎症のタイプから分類できる。	
11. 黄斑変性の症状、種類、治療について説明できる。	
12. 視神経乳頭の異常所見と鑑別疾患を述べるができる。	
13. 網膜動脈閉塞症の症状、診断、治療について説明できる。	
14. 網膜静脈閉塞症の症状、診断、治療について説明できる。	
15. 網膜芽細胞腫の所見、治療について説明ができる。	
16. うつ血乳頭の病態、所見、診断を説明できる。	
17. 特徴的視野異常を列挙し、その形成機序と疾患を述べるができる。	
18. 化学外傷の処置、治療について説明できる。	
基本的手技（見学でも可）	(I-6. C, II-1.C)
1. 眼科手術の助手ができる。	
2. 豚眼で白内障手術の流れを実践できる。	
3. 正しい眼処置ができる。	
4. オートレフクトメーターで測定できる。	
5. 非接触型眼圧計で眼圧測定ができる。	
6. 網膜の光干渉断層計で撮影ができる。	
7. 細隙灯顕微鏡で観察し、スケッチができる。	

8. 検眼鏡で眼底の観察ができる。	
医療記録	(I-4. C,)
1. 診療録を POS (Problem Oriented System) に従って記載し管理できる。	
II 医療者として必要な基本姿勢・態度	
患者－医師関係	(I-6. A, B, C)
1. 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。	
2. 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。	
3. ロービジョンの日常生活への影響を理解する。	
4. 局所麻酔下での手術時の患者への配慮ができる。	
チーム医療	(I-3. A, B, C, I-5.A, B, II-2. A, C. D, E, II-3 B)
1. 指導医はじめ他の医師や医療従事者と適切なコミュニケーションがとれる。	
問題対応能力	(I-4. B, C, II-3.A , II-4.B)
1. 臨床上の疑問点を解決するための情報を収集して評価し、当該患者への適応を判断できる (EBM = Evidence Based Medicineの実践ができる)	
2. 自己評価及び第三者による評価を踏まえた問題対応能力の改善ができる。	
安全管理	(I-2. A, B, C, I-6. A, B, C, D, II-1. A, B, C II-4.A,B,C, II-5.A)
1. 医療を行う際の安全確認の考え方を理解し、実施できる。	
2. 手術室での不潔清潔の区別を正確にする。	
3. 手術室での機器の配線に注意ができる。	
4. 医療事故防止及び事故後の対処について、指導医の指導のもと、マニュアルにそって行動できる。	
5. 院内感染対策 (Standard Precautionsを含む) の理解と、実行ができる。	
症例呈示	(I-4. B, C)
1. 症例呈示と討論ができる。	
2. 症例検討に参加する。	
医療の社会性	(I-1. A, B, C, I-2. C)
1. 医療保険、公費負担医療を理解し、適切な立案ができる。	
2. 医の倫理・生命倫理について理解し、適切な行動ができる。	
学修 (教育) 方法	
講義・実習・テュートリアル・TBL	
評価方法 (1)総括的評価の対象	
科目成績は定期試験 (筆記試験) の他に実習の平均を科目成績の 10%として反映させる。ただし すべての実習への参加や欠席した場合はレポートの提出もしくは補修実習への参加が定期試験の受験資格として必要である。	
評価方法 (2)評価項目	
眼球と付属器の構造と機能を理解し、視覚の伝導路を説明できる。	D-2-1)②
基本的眼科検査 (視力検査、細隙灯顕微鏡検査、眼圧検査、眼底検査、視野検査) の目的と主要所見を説明できる。	D-13-4)(1)①-⑩
眼・視覚系に関する主要症候 (視力障害、視野異常、眼球運動障害、眼脂・充血、飛蚊症、眼痛) について、それらの発症機序、原因疾患と治療を説明できる。	
屈折異常 (近視、遠視、乱視) と調節障害の病態生理を説明できる。	
角結膜感染症の症候、診断と治療を説明できる。	
白内障の病因、症候、診断と治療を説明できる。	
緑内障の病因を理解し、それらの発症機序、症候、診断と治療を説明できる。	
網膜剥離の症候、診断と治療を説明できる。	
糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化を説明できる。	
評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	
学期末試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している (90%以上) A.良く理解している (80%以上90%未満) B.平均的に理解している (70%以上80%未満) C.最低限は理解している (60%以上70%未満) D.理解が不十分である (60%未満) のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。	
事前・事後学修	
講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。	

伝達事項

-

実務経験

○ 大学病院の眼科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『標準眼科学（Standard textbook）第15版』	中澤満, 村上晶 監修	医学書院 2024	978426005360 0
2.	『現代の眼科学第13版』	吉田晃敏, 谷原秀信編	金原出版 2018	978430735168 3
3.	『標準組織学 総論 第6版』	藤田尚男, 藤田恒夫原著	医学書院 2022	978426004349 6
4.	『標準生理学 第10版』	大森治紀 [ほか] 監修	医学書院 2025	978426005588 8
5.	『眼病理アトラス』	沖坂重邦編著	文光堂 1992	978483063209 9
6.	『眼病理学 I・II 改訂第2版』	G.O.H.ナウマン著, 西起史監 訳	丸善 2003	978462106483 2
7.	『蛍光眼底造影ケーススタディ』	飯田知弘編	医学書院 2019	978426003841 6
8.	『眼科学（2分冊,総目次・総索引）第3版』	大鹿哲郎編	文光堂 2020	978483065606 4
9.	『新OCT・OCTA読影トレーニング 改訂第2版』	飯田知弘監修	メジカルビュー 社 2024	978475831645 3
10.	『屈折異常と眼鏡矯正(専門医のための眼科診療クオリファイ；1)』	大鹿哲郎編	中山書店 2010	978452173322 7
11.	『結膜炎オールラウンド(専門医のための眼科診療クオリファイ；2)』	大橋裕一編	中山書店 2010	978452173323 4
12.	『緑内障診断ガイド(専門医のための眼科診療クオリファイ；3)』	相原一編	中山書店 2011	978452173324 1
13.	『加齢黄斑変性：診断と治療の最先端(専門医のための眼科診療クオリファイ；4)』	瓶井資弘編	中山書店 2011	978452173325 8
14.	『全身疾患と眼(専門医のための眼科診療クオリファイ；5)』	村田敏規編	中山書店 2011	978452173326 5
15.	『コンタクトレンズ自由自在(専門医のための眼科診療クオリファイ；6)』	大橋裕一編	中山書店 2011	978452173327 2
16.	『視神経疾患のすべて(専門医のための眼科診療クオリファイ；7)』	中馬秀樹編	中山書店 2011	978452173328 9
17.	『網膜血管障害(専門医のための眼科診療クオリファイ；8)』	白神史雄編	中山書店 2011	978452173329 6
18.	『子どもの眼と疾患(専門医のための眼科診療クオリファイ；9)』	仁科幸子編	中山書店 2012	978452173330 2
19.	『眼付属器疾患とその病理(専門医のための眼科診療クオリファイ；10)』	野田実香編	中山書店 2012	978452173331 9
20.	『緑内障薬物治療ガイド(専門医のための眼科診療クオリファイ；11)』	相原一編	中山書店 2012	978452173469 9
21.	『角膜内皮障害 to the Rescue(専門医のための眼科診療クオリファイ；12)』	大橋裕一編	中山書店 2012	978452173470 5
22.	『ぶどう膜炎を斬る!(専門医のための眼科診療クオリファイ；13)』	園田康平編	中山書店 2012	978452173471 2

23.	『網膜機能検査A to Z(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 14)』	近藤峰生編	中山書店 2012	978452173472 9
24.	『メディカルオフサルモロジー眼薬物治療のすべて(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 15)』	村田敏規編	中山書店 2012	978452173473 6
25.	『糖尿病眼合併症の新展開(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 16)』	白神史雄編	中山書店 2013	978452173474 3
26.	『裂孔原性網膜剥離 : how to treat(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 17)』	瓶井資弘編	中山書店 2013	978452173475 0
27.	『眼底OCTのすべて(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 18)』	飯田知弘編	中山書店 2013	978452173476 7
28.	『ドライアイスペシャリストへの道 (専門医のための眼科診療クオリファイ ; 19)』	横井則彦編	中山書店 2013	978452173477 4
29.	『眼内レンズの使いかた(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 20)』	大鹿哲郎編	中山書店 2014	978452173478 1
30.	『眼救急疾患スクランブル(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 21)』	坂本泰二編	中山書店 2014	978452173918 2
31.	『弱視・斜視診療のスタンダード(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 22)』	不二門尚編	中山書店 2014	978452173919 9
32.	『眼科診療と関連法規(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 23)』	鳥山佑一, 村田敏規編	中山書店 2015	978452173920 5
33.	『前眼部の画像診断(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 24)』	前田直之編	中山書店 2014	978452173921 2
34.	『角膜混濁のすべて(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 25)』	井上幸次編	中山書店 2014	978452173922 9
35.	『ロービジョンケアの実際(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 26)』	山本修一編	中山書店 2015	978452173923 6
36.	『視野検査とその評価(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 27)』	松本長太編	中山書店 2015	978452173924 3
37.	『近視の病態とマネジメント(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 28)』	大野京子編	中山書店 2016	978452173925 0
38.	『眼形成手術(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 29)』	嘉鳥信忠, 渡辺彰英編	中山書店 2016	978452173926 7
39.	『眼の発生と解剖・機能(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 30)』	大鹿哲郎編	中山書店 2016	978452173927 4

関連リンク

添付ファイル ※ 3 つまで、1 ファイルにつき 5 MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/10/27(火)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	1 臨床実習 (1)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			

	講義資料番号/連番(LMS)				24
2.	2026/10/27(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	1 臨床実習 (1)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
3.	2026/10/30(金)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	2 臨床実習 (2)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
4.	2026/10/30(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	2 臨床実習 (2)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
5.	2026/11/04(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	1 視覚器概要			
	担当者 (所属)	丸子 一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]眼・視覚系,PS-02-15-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
6.	2026/11/06(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	3 臨床実習 (3)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				28

7.	2026/11/06(金)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	3 臨床実習 (3)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(L MS)				29
8.	2026/11/09(月)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	4 臨床実習 (4)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(L MS)				30
9.	2026/11/09(月)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	4 臨床実習 (4)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(L MS)				31
1 0.	2026/11/10(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	4 視覚器の病理			
	担当者 (所属)	山本 智子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				2
1 1.	2026/11/11(水)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	2 視覚の信号伝達と情報処理(1)			
	担当者 (所属)	児玉 貴史			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]眼・視覚系,PS-02-15-01,			
	講義資料番号/連番(L MS)				3
1 2.	2026/11/11(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05

	タイトル	3 視覚の信号伝達と情報処理(2)			
	担当者(所属)	児玉 貴史			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-02-10,PS-01-02-11,PS-01-02-12,PS-01-02-13			
	講義資料番号/連番(L MS)				4
1 3.	2026/11/13(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	5 臨床実習 (5)			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(L MS)				32
1 4.	2026/11/13(金)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	5 臨床実習 (5)			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(L MS)				33
1 5.	2026/11/16(月)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	5 調節・屈折			
	担当者(所属)	丸子 留佳			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-15-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				5
1 6.	2026/11/17(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	6 臨床実習 (6)			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(L MS)				34
1 7.	2026/11/17(火)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	6 臨床実習 (6)			

	担当者（所属）	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(L MS)				35
1 8.	2026/11/18(水)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	11 網膜疾患(2)・全身疾患と目			
	担当者（所属）	長谷川 泰司			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-15-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				6
1 9.	2026/11/18(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	12 ぶどう膜疾患			
	担当者（所属）	内村 英子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-15-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				7
2 0.	2026/11/20(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	9 角膜疾患(2)			
	担当者（所属）	梯 瑞葉			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]眼・視覚系,PS-02-15-01			
	講義資料番号/連番(L MS)				8
2 1.	2026/11/20(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	7 臨床実習 (7)			
	担当者（所属）	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(L MS)				36
2 2.	2026/11/20(金)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	7 臨床実習 (7)			
	担当者（所属）	-			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(L MS)				37
2 3.	2026/12/14(月)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	6 結膜疾患			
	担当者(所属)	篠崎 和美			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-15-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				9
2 4.	2026/12/14(月)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	7 眼瞼・涙器疾患			
	担当者(所属)	篠崎 和美			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-15-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				10
2 5.	2026/12/15(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	8 角膜疾患(1)、強膜疾患			
	担当者(所属)	長久保 翔子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-15-05,[別表]眼・視覚系,PS-02-15-02			
	講義資料番号/連番(L MS)				11
2 6.	2026/12/15(火)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	8 臨床実習(8)			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(L MS)				38
2 7.	2026/12/15(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	8 臨床実習(8)			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			

	講義資料番号/連番(LMS)				39
28.	2026/12/16(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	16 眼科検査・眼科最先端の診断			
	担当者 (所属)	丸子 一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]眼・視覚系,PS-02-15-01,[別表]疾患,PS-02-15-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
29.	2026/12/18(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	10 網膜疾患(1)・その他の網膜硝子体疾患			
	担当者 (所属)	関谷 泰治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患,PS-02-15-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
30.	2027/01/05(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	13 感覚器組織学 (視覚)			
	担当者 (所属)	齋藤 文典			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]眼・視覚系,PS-02-15-01,PS-01-02-10,PS-01-02-11,PS-01-02-12,PS-01-02-13			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
31.	2027/01/05(火)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	9 臨床実習 (9)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
32.	2027/01/05(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	9 臨床実習 (9)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				43

3 3.	2027/01/08(金)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	10 臨床実習 (10)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(L MS)				40
3 4.	2027/01/08(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	10 臨床実習 (10)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(L MS)				41
3 5.	2027/01/12(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	14 緑内障			
	担当者 (所属)	五十嵐 遼子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-15-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				15
3 6.	2027/01/12(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	15 水晶体疾患			
	担当者 (所属)	須藤 史子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-15-05,[別表]眼・視覚系,PS-02-15-01			
	講義資料番号/連番(L MS)				16
3 7.	2027/01/12(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	11 臨床実習 (11)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(L MS)				44
3 8.	2027/01/12(火)	6 時限	実習	-	16:35-17:45

	タイトル	11 臨床実習 (11)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(L MS)				45
3 9.	2027/01/19(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	17 光覚・色覚とその異常			
	担当者 (所属)	中村 かおる			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]眼・視覚系,PS-02-15-01			
	講義資料番号/連番(L MS)				17
4 0.	2027/01/19(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	18 眼科治療			
	担当者 (所属)	橋谷 臨			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]眼・視覚系,PS-02-15-02			
	講義資料番号/連番(L MS)				18
4 1.	2027/01/26(火)	4 時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	1, 2, 3 解剖 感覚器 (組織学) 視覚			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-02-10,PS-01-02-11,PS-01-02-12,PS-01-02-13			
	講義資料番号/連番(L MS)				21
4 2.	2027/01/26(火)	5 時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	1, 2, 3 解剖 感覚器 (組織学) 視覚			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅			

		矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-02-10,PS-01-02-11,PS-01-02-12,PS-01-02-13			
	講義資料番号/連番(L MS)			22	
4 3.	2027/01/26(火)	6 時限	実習	大実習室 3	16:35-17:45
	タイトル	1, 2, 3 解剖 感覚器 (組織学) 視覚			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-02-10,PS-01-02-11,PS-01-02-12,PS-01-02-13			
	講義資料番号/連番(L MS)			23	
4 4.	2027/01/29(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	19 眼球運動ならびに複視・視神経疾患			
	担当者 (所属)	高橋 洋平			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-15-05			
	講義資料番号/連番(L MS)			19	
4 5.	2027/01/29(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	20 斜視・弱視			
	担当者 (所属)	高橋 洋平			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)			20	
4 6.	2027/01/29(金)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	12 臨床実習 (12)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(L MS)			46	

47.	2027/01/29(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	12 臨床実習 (12)			
	担当者 (所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(L MS)				47
48.	2027/02/10(水)	3 時限	試験	-	12:30-13:40
	タイトル	眼・視覚系 試験 13:00-14:30 (講義室302,303)			
	担当者 (所属)	丸子 一朗			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				48
49.	2027/02/10(水)	4 時限	試験	-	13:55-15:05
	タイトル	眼・視覚系 試験 13:00-14:30 (講義室302,303)			
	担当者 (所属)	丸子 一朗			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				49
50.	2027/02/26(金)	1 時限	追・再試験	-	09:00-10:10
	タイトル	眼・視覚系 再試験 10:00-11:30 (講義室201)			
	担当者 (所属)	丸子 一朗			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				50
51.	2027/02/26(金)	2 時限	追・再試験	-	10:25-11:35
	タイトル	眼・視覚系 再試験 10:00-11:30 (講義室201)			
	担当者 (所属)	丸子 一朗			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				51

科目名
運動器系
科目責任者(所属)
岡崎 賢

到達目標
<p>ヒトの運動器系は、支柱である骨、可動部である軟骨（関節）、力源である筋肉より構成され、重力に抗し生物としてしなやかで、強靱な動きを実現している。このスムーズな動きを制御、栄養するために神経系、循環系が密接に関与している。まず運動器を構成する骨・軟骨・筋・腱・靭帯などの構造と機能、すなわち、解剖、生理、代謝等の運動器の基本を理解する。超高齢社会において、運動器の加齢に基づく退行変性は荷重関節や脊椎を中心に多く見られ、実際に厚生労働省統計による有訴者率で見ると、腰痛・肩こり・四肢関節痛は上位3位を占める。また骨粗鬆症などの代謝性骨疾患とそれに基づく骨折も大きな社会問題である。さらには、スポーツなどの余暇は充実した人生をおくるために重要な要素であるが、スポーツ開始年齢の若年化あるいは高齢化、過度の負荷によるスポーツ傷害・障害も頻度の高い傷病である。四肢体幹に発生する骨軟部腫瘍も、小児から高齢者まで様々な年齢分布で発生し、見逃しや不適切治療の症例も後をたない。これら体幹、四肢にわたる広範な疾患の診断には、運動器の機能を考慮した問診、視診より始まり、整形外科的な診察法が基本となる。幅広い運動器の傷病を理解し、社会における重要性を認識する。これらの診察に基づき該当する疾患を想定し、近年長足の進歩を示している各種画像診断などの補助診断法を駆使して診断を確定する。そして患者の希望、社会的背景を考慮に入れ最適の治療法を選択する。そして、その治療法に伴う合併症についても十分に理解することが大切である。</p>

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
<p>人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。 疾患、症候の病態を説明できる。 診断の過程を説明し実践できる。 適切な治療法とその根拠を説明できる。 問題の優先度および重要度を判断できる。 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 問題の科学的重要性を評価できる。 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 事例から自分の知らないことを発見できる。 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 適切な診療ガイドラインを選択できる。 病態を明らかにする方法を挙げることができる。 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 適切な問題解決を行ったか検証できる。 結果の客観的評価ができる。 結果の解釈の限界を明らかにできる。 自分の選択・判断の根拠を説明できる。 他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。 討論・話し合いを促せる。 自分の方針を説明し同意を得ることができる。 活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 グループ目標達成のために行動できる。 講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。</p>	<p>I -1-A-(3-4)-① I -1-A-(3-4)-④ I -1-B-(3-4)-① I -1-B-(3-4)-② I -2-A-(3-4)-① I -2-A-(3-4)-② I -2-B-(3-4)-① I -2-B-(3-4)-② I -2-C-(3-4)-① I -2-C-(3-4)-② I -3-A-(3-4)-① I -3-A-(3-4)-② I -3-B-(3-4)-① I -3-B-(3-4)-② I -3-C-(3-4)-① I -3-C-(3-4)-② I -3-C-(3-4)-③ II -4-A-(3-4)-① II -4-A-(3-4)-② II -4-B-(3-4)-① II -4-B-(3-4)-② II -4-B-(3-4)-③ II -4-C-(3-4)-① II -4-C-(3-4)-②</p>

学修（教育）方法
講義・実習・テュートリアル・TBL
<p>評価方法 (1)総括的評価の対象</p>
<p>本科目の評価は筆記試験（80%）と授業・実習への出席点（20%）で行う</p>
<p>評価方法 (2)評価項目</p>

1)運動器を形成する骨・軟骨・神経・筋組織において、その発生と細胞分化、そして退行変性のしくみをマクロ・ミクロの視点から説明できる。	C-2-4③、D-4-1)⑥
2)運動器の局所解剖をマクロ・ミクロの視点で説明できる	D-4-1)①②③④⑤⑦⑧)
3)脊椎運動器の基本的診察方法と疾患特異的身体検査方法および画像診断を説明できる	D-4-2)①②
4)脊椎の変性疾患、外傷、腫瘍の病態および診断と治療法を説明できる。	D-4-3)3、D-4-4)⑤⑨⑩⑪⑫⑬⑭
5)上肢下肢の関節疾患の病態および診断と治療法を説明できる。	D-4-3)②、D-4-4)⑥⑦
6)末梢神経障害の病態および診断と治療法を説明できる	D-4-3)①、D-4-4)⑧
7)四肢外傷の診断と治療法を説明できる。	D-4-4)①②③④⑤
8)骨関節と軟部の感染症の診断と治療法を説明できる。	D-4-4)-(2)①②
9)骨軟部腫瘍の診断と治療法を説明できる。	D-4-4)-(3)①②③
10)運動器リハビリテーションの理論と方法について説明できる	D-4-4)-(1)⑮

評価方法
(2)評価項目続き

評価方法
(3)評価基準

上記の評価項目について授業への出席と定期試験にて100点満点にて点数化を行い、下記の5段階で評価する。S.極めて良く理解している(90%以上) A.良く理解している(80%以上90%未満) B.平均的に理解している(70%以上80%未満) C.最低限は理解している(60%以上70%未満) D.理解が不十分である(60%未満)

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

—

実務経験

○ 大学病院の整形外科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『グラント解剖学図譜』	James E . Anderson 編著；森田茂, 楠豊和 訳	医学書院 1988	4260100408
2.	『イラストレイテッドハーバー・生化学』	Robert K. Murray, Daryl K. Granner, Victor W. Rodwell [著]；産賀敏彦 [ほか訳]	丸善 2007	9784621078013
3.	『ストライヤー生化学』	Jeremy M. Berg, John L. Tymoczko, Lubert Stryer 著	東京化学同人 2008	9784807906833
4.	『標準生理学 (Standard textbook) 』	豊田順一, 熊田衛 [ほか] 編	医学書院 2000	4260101366
5.	『筋病理学』	桧澤一夫 [ほか] 編	文光堂 1989	4830604174
6.	『神中整形外科学』	岩本幸英 編	南山堂 2013	978-4-525-32213-7
7.	『Skeletal muscle pathology』	Frank L. Mastaglia and Lord Walton of Detchant	Churchill Livingstone 1992	9780443042416
8.	『標準整形外科学 (Standard textbook) 』	井樋栄二 [ほか] 編集；	医学書院 2020	978-4-260-03880-5
9.	『TEXT整形外科学』	大鳥精司 [ほか] 編集	南山堂 2019	978-4-32055-3
10.	『今日の整形外科治療指針』	土屋弘行 [ほか] 編	医学書院 2016	978-4-260-02202-6
11.	『脊椎・骨盤(整形外科手術のための解剖学)』	伊藤達雄編	メジカルビュー社 1998	4895536572
12.	『下肢(整形外科手術のための解剖学)』	腰野富久編	メジカルビュー社	4895536564

			1999	
13.	『上肢(整形外科手術のための解剖学)』	長野昭編	メジカルビュー社 2000	4895536556
14.	『整形外科 術前・術後のマネジメント』	伊藤達雄, 大塚隆信, 久保俊一編	医学書院 2005	426012594X
15.	『最新リハビリテーション医学』	石神重信[ほか]編	医歯薬出版 2005	426012594X
16.	『現代リハビリテーション医学』	千野直一編	金原出版 2009	9784307251 426
17.	『図解四肢と脊椎の診かた』	Stanley Hoppenfeld[著]	医歯薬出版 1984	4263203682
18.	『整形外科医のための神経学図説：脊髄・神経根障害レベルのみかた、おぼえかた』	Stanley Hoppenfeld [著]	南江堂 2005	4524240268

関連リンク

添付ファイル ※ 3 つまで、1 ファイルにつき 5 MB まで、圧縮ファイル OK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/12/16(水)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	1 科目の概要 運動器の序論			
	担当者(所属)	岡崎 賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-05-01,[別表]運動器(筋骨格)系			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2026/12/17(木)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	2 運動器の解剖(1) 骨の構造・生理・成長			
	担当者(所属)	岡崎 賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05,PS-02-05-01,[別表]運動器(筋骨格)系			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2026/12/18(金)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	5 運動器の病理 骨組織			
	担当者(所属)	山本 智子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05,PS-02-05-01,[別表]運動器(筋骨格)系,PS-02-05-05			

	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2027/01/07(木)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	8 整形外科診断学(身体計測を含む)			
	担当者(所属)	猪狩 勝則			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-03,[別表]神経系,PS-02-05-03,[別表]運動器(筋骨格)系,PS-02-05-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2027/01/08(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	3 結合組織の分子・代謝			
	担当者(所属)	中村 史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-05-01,[別表]運動器(筋骨格)系、PS-01-02-11			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2027/01/08(金)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	9 外傷学総論			
	担当者(所属)	伊藤 匡史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-05-01,[別表]運動器(筋骨格)系、PS-01-02-11			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2027/01/12(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	17 骨代謝と骨系統疾患			
	担当者(所属)	富永 絢子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2027/01/12(火)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	24 関節リウマチ(類似疾患を含む)			
	担当者(所属)	猪狩 勝則			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-05-02,PS-02-05-05,[別表]運動器(筋骨格)系,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(LMS)				8

9.	2027/01/13(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	20 脊柱疾患(3) (胸椎疾患と脊柱側弯症)			
	担当者(所属)	水谷 潤			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-05-01,CS-02-02-01,CS-02-02-02,CS-02-04-01[別表]主要症候,[別表]運動器(筋骨格)系			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2027/01/14(木)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	14 スポーツと運動器			
	担当者(所属)	桑島 海人			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2027/01/14(木)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	13 上肢関節疾患(肩・肘)			
	担当者(所属)	桑島 海人			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05,[別表]運動器(筋骨格)系,CS-02-02-01,CS-02-02-02,CS-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2027/01/14(木)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	21 膝関節外傷			
	担当者(所属)	岡崎 賢			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05,CS-02-02-01,CS-02-02-02,CS-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2027/01/18(月)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	28 筋骨格系の画像診断(1)			
	担当者(所属)	坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-05-03,[別表]運動器(筋骨格)系			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2027/01/18(月)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40

	タイトル	18 脊柱疾患(1) (頸椎)		
	担当者(所属)	土肥 透		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05,CS-02-02-01,CS-02-02-02, [別表]主要症候,CS-02-04-01,PS-02-05-01,PS-02-05-02, [別表]運動器(筋骨格)系		
	講義資料番号/連番(LMS)			14
1 5.	2027/01/18(月)	4 時限	講義	講義室 201 13:55-15:05
	タイトル	19 脊柱疾患(2) (胸椎・腰椎・仙椎)		
	担当者(所属)	土肥 透		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05,CS-02-02-01,CS-02-02-02, CS-02-04-01,[別表]主要症候,		
	講義資料番号/連番(LMS)			15
1 6.	2027/01/18(月)	5 時限	講義	講義室 201 15:15-16:25
	タイトル	10 小児の外傷・運動器疾患		
	担当者(所属)	伊藤 淳哉		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05,CS-02-02-01,CS-02-02-02,PS-03-05-13,CS-03-03-04,PS-03-05-12, CS-02-04-01,PS-03-05-12		
	講義資料番号/連番(LMS)			16
1 7.	2027/01/18(月)	6 時限	講義	講義室 201 16:35-17:45
	タイトル	27 股関節疾患		
	担当者(所属)	倉光 祐二郎		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			17
1 8.	2027/01/20(水)	1 時限	講義	講義室 201 09:00-10:10
	タイトル	30 リハビリテーション(1)		
	担当者(所属)	若林 秀隆		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-05-04,[別表]運動器(筋骨格)系,CS-02-04-45,CS-02-04-47,CS-02-04-46,CS-02-04-48, GE-03-05-05		
	講義資料番号/連番(LMS)			18
1 9.	2027/01/20(水)	2 時限	講義	講義室 201 10:25-11:35
	タイトル	31 リハビリテーション(2)		

	担当者(所属)	若林 秀隆			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-03-05-05,[別表]疾患,PS-02-03-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2027/01/20(水)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	32 リハビリテーション(3)			
	担当者(所属)	永井 多賀子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-02-04-45,[別表]疾患,PS-02-03-05,PS-02-05-04,[別表]運動器(筋骨格)系,PS-02-07-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2027/01/21(木)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	22 膝関節変性疾患			
	担当者(所属)	岡崎 賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05,CS-02-02-01,CS-02-02-02,CS-02-04-01,[別表]主要症候			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2027/01/21(木)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	26 体幹の外傷(脊椎・脊髄外傷を含む)・治療			
	担当者(所属)	井上 知久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2027/01/22(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	15 救急(処置も含む)四肢の外傷・治療			
	担当者(所属)	伊藤 匡史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2027/01/22(金)	4 時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	4, 5 運動器の病理			
	担当者(所属)	山本 智子 倉田 厚			

		有益 優			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				27
2 5.	2027/01/22(金)	5 時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	4, 5 運動器の病理			
	担当者(所属)	山本 智子 倉田 厚 有益 優			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				28
2 6.	2027/01/25(月)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	16 骨軟部の腫瘍性疾患			
	担当者(所属)	菅谷 潤			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05,PS-03-04-01,PS-03-04-08,PS-03-04-07,PS-03-04-04,PS-03-04-05,P S-03-04-06,PS-03-04-23,PS-03-04-24,PS-03-04-25,PS-03-04-26,PS-03-04-27			
	講義資料番号/連番(L MS)				24
2 7.	2027/01/25(月)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	11 骨関節の炎症性疾患・感染症			
	担当者(所属)	矢野 紘一郎			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				25
2 8.	2027/01/26(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	12 手の外傷と疾患			
	担当者(所属)	岩倉 菜穂子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-05-05,CS-02-02-01,CS-02-02-02,CS-02-04-01,[別表]主要症候			
	講義資料番号/連番(L MS)				26
2 9.	2027/01/26(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	25 末梢神経疾患(電気生理を含む)			

	担当者(所属)	岩倉 菜穂子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-01-02-03,PS-01-02-09,PS-01-02-17,PS-01-02-18			
	講義資料番号/連番(L MS)				29
3 0.	2027/01/26(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	23 足の疾患			
	担当者(所属)	矢野 紘一郎			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患,PS-02-14-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				30
3 1.	2027/02/12(金)	3 時限	試験	-	12:30-13:40
	タイトル	運動器系 試験 13:00-14:30 (講義室302,303)			
	担当者(所属)	岡崎 賢			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				31
3 2.	2027/02/12(金)	4 時限	試験	-	13:55-15:05
	タイトル	運動器系 試験 13:00-14:30 (講義室302,303)			
	担当者(所属)	岡崎 賢			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				32
3 3.	2027/02/26(金)	3 時限	追・再試験	-	12:30-13:40
	タイトル	運動器系 再試験 13:00-14:30 (講義室201)			
	担当者(所属)	岡崎 賢			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				33
3 4.	2027/02/26(金)	4 時限	追・再試験	-	13:55-15:05
	タイトル	運動器系 再試験 13:00-14:30 (講義室201)			
	担当者(所属)	岡崎 賢			

コアカリキュラム/S10国 試出題基準		
講義資料番号/連番(L MS)		34

科目名	
皮膚粘膜系	
科目責任者(所属)	
山上 淳	
到達目標	
<p>本科目の到達目標は以下とする。①表層の角層から皮下脂肪織に至る皮膚と口腔粘膜の構造を理解すること、②①において生じる病的状態について、その所見を適確に表現すること、③診断に必要な検査法及び検査結果の解釈について理解すること、④皮膚症状から病理組織像を想定しながら、病態を正しくとらえること、⑤皮膚疾患の原因についての考察を深めること、⑥代表的な皮膚疾患については適切な治療法の選択が可能となること</p>	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
<p>人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。 疾患、症候の病態を説明できる。 診断の過程を説明し実践できる。 適切な治療法とその根拠を説明できる。 基本的医療技能を示すことができる。 学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。 自分の特性を活かして学修できる。 学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。</p>	<p>I -1-A-(3-4)-① I -1-A-(3-4)-② I -1-A-(3-4)-④ I -1-B-(3-4)-① I -1-B-(3-4)-② I -1-C-(3-4)-① II -2-C-(3-4)-① II -2-D-(3-4)-① II -2-D-(3-4)-②</p>
学修（教育）方法	
講義・実習・テュートリアル・TBL	
<p>評価方法 (1)総括的評価の対象</p>	
<p>定期試験（筆記試験）の点数を90%、実習の出席や態度、レポート評価を10%で評価する。ただし、定期試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である。</p>	
<p>評価方法 (2)評価項目</p>	
<p>皮膚の組織構造を図示して説明できる。 皮膚の細胞動態と角化の機構を説明できる。 皮膚の免疫防御能を説明できる。 皮膚検査法（硝子圧法、皮膚描記症（Darier徴候）、Nikolsky現象、Tzanck試験、光線テスト）を概説できる。 皮膚アレルギー検査法（プリックテスト、皮内テスト、パッチテスト）を説明できる。 微生物検査法（検体採取法、苛性カリ<KOH>直接検鏡法）を概説できる。 発疹 湿疹反応を説明できる。 湿疹・皮膚炎の疾患（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、貨幣状湿疹、皮脂欠乏性湿疹、自家感作性皮膚炎）を列挙し、概説できる。 蕁麻疹、紅斑症、紅皮症と皮膚そう痒症 多形滲出性紅斑、環状紅斑と紅皮症の病因と病態を説明できる。 皮膚そう痒症の病因と病態を説明できる。 皮膚血流障害と血管炎の病因、症候と病態を説明できる。 薬疹や薬物障害の発生機序、症候と治療を説明できる。 薬疹を起こしやすい主な薬物を列挙できる。 自己免疫性水疱症の病因、病態と分類を説明できる。 膿疱症の種類と病態を説明できる。 水疱症鑑別のための検査法を説明できる。 尋常性乾癬、扁平苔癬とGibert薔薇色靴糠疹の病態、症候と治療を説明できる。 魚鱗癬の病態、症候と治療を説明できる。 皮膚細菌感染症（伝染性膿痂疹、せつ、癰、毛嚢炎、丹毒、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群）を列挙し、概説できる。</p>	<p>[D-3-1)-(①] [D-3-1)-(②] [D-3-1)-(③] [D-3-2)-(①] [D-3-2)-(②] [D-3-2)-(③] [D-3-3)-(①] [D-3-4)-(1)①] [D-3-4)-(1)②] [D-3-4)-(2)①] [D-3-4)-(2)②] [D-3-4)-(2)③] [D-3-4)-(3)①] [D-3-4)-(4)①] [D-3-4)-(4)②] [D-3-4)-(5)①] [D-3-4)-(5)②] [D-3-4)-(5)③] [D-3-4)-(6)①] [D-3-4)-(6)②] [D-3-4)-(7)①]</p>

皮膚真菌症（表在性、深在性）の症候と病型を説明できる。	[D-3-4)-(7)②]
皮膚結核病の症候、病型と病因菌を説明できる。	[D-3-4)-(7)③]
梅毒の症候、病期と合併症を説明できる。	[D-3-4)-(7)④]
皮膚ウイルス感染症（単純ヘルペス、带状疱疹、伝染性軟属腫、麻疹、風疹、水痘）を列挙し、概説できる。	[D-3-4)-(7)⑤]
後天性免疫不全症候群<AIDS>に伴う皮膚症状（梅毒、難治性ヘルペス、伝染性軟属腫、カポジ肉腫等）を列挙し、概説できる。	[D-3-4)-(7)⑥]
母斑・母斑症の種類を列挙できる。	[D-3-4)-(8)①]
皮膚良性腫瘍、前癌状態と悪性腫瘍の種類と見分け方を説明できる。	[C-4-6)③][D-3-4)-(8)②][E-3-1)①②][E-3-2)①][E-3-5)③]
皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫を説明できる。	[D-3-4)-(8)③][E-3-5)③]
基底細胞上皮腫(癌)の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコープ像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。	[D-3-4)-(8)④][E-3-5)③]
有棘細胞癌の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコープ像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。	[D-3-4)-(8)⑤][E-3-5)③]
悪性黒色腫の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコープ像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。	[D-3-4)-(8)⑥][E-3-5)③]
毛の疾患の病態、症状と治療を説明できる。	[D-3-4)-(9)④]
爪の疾患の病態、症状と治療を説明できる。	[D-3-4)-(9)②]
熱傷面積（9の法則）と深(達)度から熱傷の重症度を説明できる。	[E-5-3)-(3)①][F-1-37)①②]
熱傷の治療方針を概説できる。	[E-5-3)-(3)②][F-1-37)③]
主な先天性疾患を列挙できる。	[E-7-1)-②]
小児の診断法と治療法における特徴を概説できる。	[E-7-3)-⑦]
評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	
上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。	
事前・事後学修	
講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。	
伝達事項	
学生ポータルサイトに予習・復習について記載のあるものはそれに沿って行うことを推奨する。皮膚科実習時に、その場でレポートをチェックし、実習書の実習項目についての理解度を確認後フィードバックを行う。不十分な場合にはその場で再度理解を深めてもらうように指導する。	
実務経験	
<input type="radio"/> 大学病院の皮膚科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う	
教科書・参考図書	

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『標準皮膚科学』	照井正,石河晃,岩月啓氏	医学書院 2020	97842600 38881
2.	『皮膚科学』	大塚藤男,藤本学	金芳堂 2022	97847653 19096
3.	『あたらしい皮膚科学』	清水宏著	中山書店 2018	97845217 45817
4.	『皮膚病理組織診断学入門』	斎田俊明著	南江堂 2017	97845242 58789
5.	『1冊でわかる皮膚病理（皮膚科サブ スペシャリティシリーズ）』	木村鉄宣ゲスト編集；宮地良樹, 清水宏常任編集	文光堂 2010	97848306 34543
6.	『Rook's Textbook of Dermatology』	Tony Burns ... [et al.]	Wiley-Blackwell 2016	97811184 41190
7.	『LEVER's Histopathology of the skin』	editor-in-chief, David E. Elder ; associate editors, Rosalie Elenitsas ... [et al.]	Wolters Kluwer Health/Lippincott Williams & Wilkins 2022	97819751 74491
8.	『標準組織学 各論』	藤田尚男・藤田恒夫(原著)	医学書院 2022	97842600 41324

関連リンク

添付ファイル ※ 3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/12/17(木)	6時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	1 科目の概要、皮疹の見方・皮膚免疫・皮膚検査法			
	担当者（所属）	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-04-01,PS-02-04-02,PS-02-04-03,[別表]皮膚系,			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2027/01/06(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	8 体表面の先天異常と治療			
	担当者（所属）	本間 健人			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-04-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2027/01/06(水)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05

	タイトル	9 皮膚悪性腫瘍			
	担当者(所属)	栗原 佑一			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(L MS)				3
4.	2027/01/07(木)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	2 湿疹・接触皮膚炎			
	担当者(所属)	竹中 祐子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				4
5.	2027/01/07(木)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	5 アトピー性皮膚炎			
	担当者(所属)	竹中 祐子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				5
6.	2027/01/07(木)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	3 皮膚の構造(1)			
	担当者(所属)	菊田 幸子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]皮膚系,PS-02-04-01			
	講義資料番号/連番(L MS)				6
7.	2027/01/07(木)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	4 皮膚の構造(2)			
	担当者(所属)	菊田 幸子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]皮膚系,PS-02-04-01			
	講義資料番号/連番(L MS)				7
8.	2027/01/13(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	14 紅斑症・紫斑			

	担当者(所属)	梅垣 知子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-04-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(L MS)				8
9.	2027/01/13(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	12 皮膚のウイルス感染症(AIDSを含む)・梅毒			
	担当者(所属)	小林 里実			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-04-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(L MS)				9
1 0.	2027/01/14(木)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	10 母斑・母斑症			
	担当者(所属)	福屋 泰子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-04-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(L MS)				10
1 1.	2027/01/14(木)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	13 皮膚良性腫瘍			
	担当者(所属)	福屋 泰子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-03-04-06,PS-03-04-01,PS-03-04-07,[別表]疾患,PS-03-04-11,PS-03-04-01,PS-03-04-08,P S-03-04-04			
	講義資料番号/連番(L MS)				11
1 2.	2027/01/14(木)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	6 皮膚血流障害と血管炎			
	担当者(所属)	竹中 祐子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				12
1 3.	2027/01/19(火)	4 時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	1, 2, 3 皮膚の構造			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子			

		石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]皮膚系,PS-02-04-01			
	講義資料番号/連番(L MS)				19
1 4.	2027/01/19(火)	5 時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	1, 2, 3 皮膚の構造			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]皮膚系,PS-02-04-01			
	講義資料番号/連番(L MS)				20
1 5.	2027/01/19(火)	6 時限	実習	大実習室 3	16:35-17:45
	タイトル	1, 2, 3 皮膚の構造			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]皮膚系,PS-02-04-01			
	講義資料番号/連番(L MS)				21
1 6.	2027/01/20(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	11 自己免疫水疱症			
	担当者 (所属)	山上 淳			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]皮膚系,PS-02-04-01,PS-02-04-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(L MS)				13

1 7.	2027/01/21(木)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	16 薬疹・蕁麻疹・皮膚瘙癢症			
	担当者（所属）	宮本 樹里亜			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-04-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(L MS)				14
1 8.	2027/01/21(木)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	17 皮膚の真菌・細菌感染症・皮膚結核			
	担当者（所属）	宮本 樹里亜			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-04-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(L MS)				15
1 9.	2027/01/21(木)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	18 熱傷と植皮術			
	担当者（所属）	松峯 元			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-03-05-13,CS-02-02-01,CS-02-02-02,PS-03-05-13,CS-03-03-04,PS-03-05-12,CS-02-04-01			
	講義資料番号/連番(L MS)				16
2 0.	2027/01/22(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	7 付属器疾患・色素異常症			
	担当者（所属）	山上 淳			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PS-02-04-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(L MS)				17
2 1.	2027/01/25(月)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	15 角化異常症・膿疱症			
	担当者（所属）	小林 里実			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]皮膚系,PS-02-04-01,PS-02-04-05,[別表]疾患			
	講義資料番号/連番(L MS)				18
2 2.	2027/01/28(木)	4 時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05

	タイトル	1, 2, 3 皮疹の種類と組織像		
	担当者(所属)	福屋 泰子 竹中 祐子 鈴木 瑞穂 浦山 佳織 吉田 傑 山上 淳		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]皮膚系,PS-02-04-01,PS-02-04-05,[別表]疾患		
	講義資料番号/連番(L MS)			22
2 3.	2027/01/28(木)	5時限	実習	大実習室 3 15:15-16:25
	タイトル	1, 2, 3 皮疹の種類と組織像		
	担当者(所属)	福屋 泰子 竹中 祐子 鈴木 瑞穂 浦山 佳織 吉田 傑 山上 淳		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]皮膚系,PS-02-04-01,PS-02-04-05,[別表]疾患		
	講義資料番号/連番(L MS)			23
2 4.	2027/01/28(木)	6時限	実習	大実習室 3 16:35-17:45
	タイトル	1, 2, 3 皮疹の種類と組織像		
	担当者(所属)	福屋 泰子 竹中 祐子 鈴木 瑞穂 浦山 佳織 吉田 傑 山上 淳		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]皮膚系,PS-02-04-01,PS-02-04-05,[別表]疾患		
	講義資料番号/連番(L MS)			24
2 5.	2027/02/16(火)	3時限	試験	- 12:30-13:40
	タイトル	皮膚粘膜系 試験 13:00-14:30 (講義室302,303)		
	担当者(所属)	山上 淳		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準			
	講義資料番号/連番(L MS)			25

2 6.	2027/02/16(火)	4 時限	試験	-	13:55-15:05
	タイトル	皮膚粘膜系 試験 13:00-14:30 (講義室302,303)			
	担当者 (所属)	山上 淳			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				26
2 7.	2027/02/26(金)	5 時限	追・再試験	-	15:15-16:25
	タイトル	皮膚粘膜系 再試験 16:00-17:30 (講義室201)			
	担当者 (所属)	山上 淳			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				27
2 8.	2027/02/26(金)	6 時限	追・再試験	-	16:35-17:45
	タイトル	皮膚粘膜系 再試験 16:00-17:30 (講義室201)			
	担当者 (所属)	山上 淳			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				28

臨床系実習スケジュール

※学年全体を番号順に5グループに分ける

※詳細は実習書を参照のこと

※実施方式などに変更が生じる可能性がある為、必ず**最新情報はポータルサイトで確認**すること

[脳神経系 1, 脳神経系 2, 聴覚・耳鼻咽喉系, 眼・視覚系]

科目				脳神経系 1		脳神経系 2				聴覚・耳鼻咽喉系		眼・視覚系	
担当教室				脳神経内科		小児科		脳神経外科		耳鼻咽喉科		眼科	
回	年月日	曜日	時間	①	②	①	②	①	②	①	②	①②	③
1	2026/10/27	火	13:55-16:25	1		2		3		4		5	
2	2026/10/30	金	13:55-16:25		1		2		3		4		5
3	2026/11/6	金	15:15-17:45	5		1		2		3		4	
4	2026/11/9	月	15:15-17:45		5		1		2		3		4
5	2026/11/13	金	15:15-17:45	4		5		1		2		3	
6	2026/11/17	火	15:15~17:45		4		5		1		2		3
7	2026/11/20	金	15:15~17:45	3		4		5		1		2	
8	2026/12/15	火	13:55~16:25		3		4		5		1		2
9	2027/1/5	火	13:55~16:25	2		3		4		5		1	
10	2027/1/8	金	13:55~16:25		2		3		4		5		1
11	2027/1/12	火	15:15~17:45	1		2		3		4		5	
12	2027/1/29	金	13:55~16:25		1		2		3		4		5

科 目	コア・カリ対象項目
脳神経系1	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③
脳神経系2	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-(2)③④⑤
聴覚・耳鼻咽喉系	F-3-5)-(3)③-⑩
眼・視覚系	D-13-2)①

[精神系]

科目責任者： (精神医学)

担当教室：精神医学

担当者：押淵, 辻(精神医学)

回	年月日	曜	時間	担当教室	実習内容	実習室	コア・カリ対象項目
1	2026/11/19	木	13:55-16:25	精神医学	①精神科構造化面接とその実際	201	D-15-1)①
2	2026/11/12	木	13:55-16:25	精神医学	②心理教育	201	C-5-8)④

[皮膚粘膜系]

科目責任者： (皮膚科学)

担当教室：皮膚科学

担当者：山上、竹中、鈴木、宮田、近藤、
浦山、児島、伊藤、今本、吉田 (皮膚科学)

回	年月日	曜	時間	担当教室	実習内容	実習室	コア・カリ対象項目
1	2026/1/28	木	13:55-17:45	皮膚科学	1, 2, 3 皮疹の種類と組織像	大実習室3	D-3-1)①、D-3-4)-(1)①、D-3-4)-(3)①、D-3-4)-(5)①、D-3-4)-(6)①、D-3-4)-(8)①⑤⑥

縦断教育科目

科目名
「至誠と愛」の実践学修
科目責任者(所属)
横田 仁子

到達目標
<p>本学は百年余に亘り、医学の知識・技能の修得の上に「至誠と愛」を実践する女性医師の育成を行ってきた。医学の進歩の一方で、患者の抱える問題を包括して解決する医学・医療の必要性が重視されている。今後さらに心の重要性が問われることは必定である。医師は温かい心をもって医療に臨み、患者だけでなく家族・医療チームとも心を通わせ問題を解決していく資質を高めなくてはならない。「至誠と愛」の実践学修では、全人的医人を育成するために、体験の中から感性を磨き、他者・患者と共感できる能力・態度を修得する教育を行う。</p> <p>具体的には「至誠と愛」の実践学修の理念には下記のような6本の柱がある。各講義・ワークショップ、実習はこの6本の柱の下に構成されている。</p> <p>【6本の柱】</p> <p>(1) 専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力（患者を理解する力、支持する力、意志を通わす力、患者医師関係）</p> <p>(2) 専門職としての使命感（医学と社会に奉仕する力）</p> <p>(3) 医療におけるリーダーシップ・パートナーシップ</p> <p>(4) 医療人としての倫理—解釈と判断（法と倫理に基づく実践力）</p> <p>(5) 女性医師のキャリア・ライフサイクル（医師として、女性医師として生涯研鑽する姿勢）</p> <p>(6) 自校の理念、歴史を知る（自校教育）</p>

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号
<p>セグメント5、セグメント6共通</p> <p>事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I-2-A-(3-4)-②</p> <p>問題の科学的重要性を評価できる。 I-2-B-(3-4)-①</p> <p>事例から自分の知らないことを発見できる。 I-2-C-(3-4)-①</p> <p>医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 I-4-A-(3-4)-①</p> <p>患者に分かる言葉を選択できる。 I-4-A-(3-4)-②</p> <p>医療チームでの情報共有について説明できる。 I-4-C-(3-4)-②</p> <p>根拠となる文献を検索できる。 I-5-A-(3-4)-③</p> <p>医学における倫理の概念を説明できる。 I-6-B-(3-4)-①</p> <p>倫理的問題を明らかにできる。 I-6-B-(3-4)-②</p> <p>患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。 I-6-B-(3-4)-③</p> <p>傾聴できる。 II-1-A-(3-4)-①</p> <p>他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 II-1-B-(3-4)-①</p> <p>患者・家族の心理を説明できる。 II-1-B-(3-4)-②</p> <p>社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。 II-1-C-(3-4)-①</p> <p>医師として必要な知識、技能、態度を述べるができる。 II-2-A-(3-4)-②</p> <p>地域社会の医療ニーズを説明できる。 II-2-B-(3-4)-①</p> <p>女性のライフサイクルを説明できる。 II-2-C-(3-4)-②</p> <p>キャリア継続の意思を持つ。 II-2-C-(3-4)-③</p> <p>自分の特性を活かして学修できる。 II-2-D-(3-4)-①</p> <p>学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。 II-2-D-(3-4)-②</p> <p>自分のモデルとなる先輩を示すことができる。 II-2-E-(3-4)-①</p> <p>医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。 II-3-A-(3-4)-①</p> <p>基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。 II-3-B-(3-4)-①</p> <p>医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。 II-3-B-(3-4)-②</p> <p>臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。 II-3-B-(3-4)-③</p> <p>セグメント5のみ</p> <p>事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(3-4)-①</p> <p>基礎研究における倫理指針を概説できる。 I-6-C-(3-4)-①</p> <p>他者を尊重して対話ができる。 II-1-A-(1-2)-②</p> <p>他者の自己決定を理解できる。 II-1-A-(1-2)-③</p> <p>患者の自己決定を支援し、必要な情報が提供できる。 II-1-A-(5-6)-①</p> <p>患者の意志を聞き出すことができる。 II-1-A-(5-6)-②</p>

セグメント6のみ	
適切な治療法とその根拠を説明できる。	I-1-B-(3-4)-②
医療安全に必要な配慮を示すことができる。	I-1-C-(3-4)-②
問題の優先度および重要度を判断できる。	I-2-A-(3-4)-①
未知の問題を解決する方法を見つけることができる。	I-2-C-(3-4)-②
自分の考えを他者に伝えることができる。	I-4-A-(1-2)-①
研究・実習・症例などの要約が作成できる。	I-4-B-(3-4)-①
研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。	I-4-C-(3-4)-①
診療上のエビデンスを選ぶことができる。	I-5-B-(3-4)-①
医師法・医療法の概要を説明できる。	I-6-A-(3-4)-②
利益相反(Conflict of interest)について説明できる。	I-6-C-(3-4)-②
医療に関する保証制度を概説できる。	I-6-D-(3-4)-②
患者の人権・尊厳を説明できる。	II-1-A-(3-4)-②
卒業までの学修目標を立て、自分の達成度を評価できる。	II-2-A-(3-4)-①
学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。	II-2-C-(3-4)-①
自分の選択・判断の根拠を説明できる。	II-4-A-(3-4)-①
他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。	II-4-A-(3-4)-②
討論・話し合いを促せる。	II-4-B-(3-4)-①
自分の方針を説明し同意を得ることができる。	II-4-B-(3-4)-②
活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。	II-4-B-(3-4)-③
グループ目標達成のために行動できる。	II-4-C-(3-4)-①
講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。	II-4-C-(3-4)-②
自分が所属する医療チーム構成者の役割を説明できる。	II-4-C-(5-6)-①
学修する事例について医学の貢献を説明できる。	II-5-A-(3-4)-①
相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。	II-5-B-(3-4)-②
学修（教育）方法	
講義、実習、ワークショップ、小グループでディスカッション・プレゼンテーション	
評価方法 (1)総括的評価の対象	
講義と行事の課題、ワークショップと実習の学修成果で評価する。なお、履修要件として本科目授業数の8割以上の出席が必要である。	
評価方法 (2)評価項目	
セグメント5、セグメント6共通	
患者を含めた他者に思いやりをもって接する。	PR-02-01-01
医師に求められる品格とはどのようなものかを考え、それを備えるように努める。	PR-02-03-01
礼儀正しく振る舞う。	PR-02-03-02
人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。	PR-03-01-01
答えのない問いについて考え続ける。	PR-03-01-02
診療現場における倫理的問題について、倫理学の考え方に依拠し、分析した上で、自身の考えを述べることができる。	PR-04-01-03
地域の健康格差を理解し、医療へのアクセス障害等のヘルスケアシステム上の課題を適切に判断できる。	GE-02-01-01
患者の所属する地域や文化的な背景が健康に関連することを理解している。	GE-02-01-02
地域（都会・郊外・へき地・離島を含む）の実情に応じた医療と医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状の概要を理解している。	GE-02-02-01
地域の医療体制や診療機関の規模・役割に応じて、医療者として柔軟に対応できる。	GE-02-02-02
患者の居住する地域における各疾患の罹患率、有病率等の指標を用い、臨床推論で活用できる。	GE-02-02-03
地域の量的指標（人口構成等）や質的情報（地理的・歴史的・経済的・文化的背景）を収集し、地域の健康課題を説明できる。	GE-02-02-04
地域の住民や医療を提供する上で必要となる専門職と協働した地域の健康増進活動の意義の概要を理解している。	GE-02-02-05
地域の人的・物的資源に応じた医療・サービスを提案できる。	GE-02-03-01
離島・へき地や医師不足地域等の医療資源が限られた状況での医療提供体制及び保健・福祉・介護の体制の概要を理解している。	GE-02-03-02
在宅医療の現状と適応を踏まえて、その必要性や課題の概要を理解している。	GE-02-04-01
在宅における緩和ケアや人生の最終段階における医療、看取りの在り方と課題の概要を理解している。	GE-02-04-02
老化に伴う臓器や身体機能の変化、それに伴う生理的变化、老化機構について理解している。	GE-03-05-01
高齢者総合機能評価を実施できる。	GE-03-05-02
老年症候群（歩行障害・転倒、認知機能障害、排泄障害、栄養障害、摂食嚥下障害等）について理解している。	GE-03-05-03
フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームの概念、その対処法、予防について理解している。	GE-03-05-04
国際生活機能分類について理解している。	GE-03-05-05
高齢者の栄養マネジメントについて理解している。	GE-03-05-06
日常生活動作に応じた介護と環境整備について理解している。	GE-03-05-07
死の概念と定義や生物学的な個体の死について理解している。	GE-03-06-01

医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。	LL-01-01-01
学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。	LL-01-01-02
自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。	LL-01-02-01
自らの心身を大切にできる。	LL-01-02-02
後輩や同僚等と協働して学修できる。	LL-02-01-01
常識を疑う。	RE-01-01-01
何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。	RE-01-01-02
医療の実践が基礎医学・臨床医学・社会医学の研究に基づいていることを理解する。	RE-02-01-01
自身の行った研究内容を論文や報告書・学会発表等の形にまとめることができる。	RE-04-01-01
言語的コミュニケーション技能を発揮して、良好な人間関係を築くことができる。	CM-01-01-01
非言語的コミュニケーション（身だしなみ、視線、表情、ジェスチャー等）を意識できる。	CM-01-01-02
患者や家族に敬意を持った言葉遣いや態度で接することができる。	CM-01-01-03
対人関係に関わる心理的要因（陽性感情・陰性感情等）を認識しながらコミュニケーションをとることができる。	CM-01-01-04
相手の話を聞き、事実や自分の意見を相手にわかるように述べることができる。	CM-01-01-05
患者や家族の精神的・身体的・社会的苦痛に十分配慮できる。	CM-01-02-01
患者や家族の話を傾聴し、怒りや悲しみ、不安等の感情を理解し、共感できる。	CM-01-02-02
患者や家族の多様性（高齢者、小児、障害者、LGBTQ、国籍、人種、文化・言語・慣習の違い等）に配慮してコミュニケーションをとることができる。	CM-02-01-01
患者が理解できるよう、極力専門用語を使わずに、わかりやすく説明できる。	CM-02-01-02
患者や家族と情報共有や意見のすり合わせを行い、理解と同意を踏まえた意思決定を支援できる。	CM-02-02-01
患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るためのニーズを把握することができる。	CM-03-01-01
患者が抱える課題、問題点を抽出・整理できる。	CM-03-01-02
患者自身から情報が得られない場合、代理人や保護者等から必要な情報を得ることができる。	CM-03-01-03
家族や地域といった視点をもちながら、コミュニケーションをとることができる。	CM-03-02-01
心理・社会的背景に配慮した診療に可能な範囲で参加することができる。	CM-03-02-02
対人関係や対人行動に関わる概念について理解している。	IP-02-02-02
病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。	IP-02-04-01
国民皆保険としての医療保険、介護保険、年金保険を含む社会保険の仕組みと問題点を理解し、改善策を議論できる。	SO-01-02-02
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）等の障害者福祉の概要を理解している。	SO-01-02-03
健康増進法、栄養、身体活動、休養等の健康増進施策の意義と概要を理解している。	SO-01-03-02
地域保健に関連する基本的な制度や法律を理解している。	SO-01-03-03
医療計画について概要を理解している。	SO-05-01-04
セグメント5のみ	
他者からのフィードバックを適切に受け入れる。	PR-01-02-02
自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。	PR-02-02-01
他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものか考え、意識して行動する。	PR-02-02-02
患者の社会的背景（経済的・制度的側面等）が病いに及ぼす影響を理解している。	GE-01-03-02
PICO（PECO）を用いた問題の定式化ができる。	GE-01-04-02
診療ガイドラインの種類、推奨の強さ、使用上の注意を理解している。	GE-01-04-05
研究計画の素案を作ることができる。	RE-03-02-01
人を対象とした研究（治験、特定臨床研究を含む）に関するルールの概要を理解し、遵守する。	RE-05-02-01
患者の自己決定を阻害する問題点を理解する。	CM-02-03-01
患者の経験を尊重し、価値観を明確にできるように傾聴することができる。	CM-02-03-02
患者の意思決定支援のために、最善のエビデンスをできるだけ専門用語を使わずに、わかりやすく説明することができる。	CM-02-03-03
自らの知識や価値観を多職種及び他の医療系学部の学生に伝えることができる。	IP-02-01-01
多職種及び他の医療系学部の学生の中で自らの役割を果たすことができる。	IP-02-01-02
多職種及び他の医療系学部の学生と共に学び、成長できる。	IP-02-02-01
医師の役割を多職種及び他の医療系学部の学生に説明できる。	IP-02-03-01
自らの価値観や言動について、多職種及び他の医療系学部の学生との関係性の中で、相対化できる。	IP-02-03-02
主な疫学の研究デザインとして、観察研究（記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究）及び介入研究（ランダム化比較試験等）を理解している。	SO-02-02-05
セグメント6のみ	
患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものか考え、そのように行動する（利益相反等）。	PR-01-01-01
社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。	PR-01-01-02
生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。	PR-04-01-01
多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。	PR-04-01-02
臓器横断的に医学的課題を捉えることができる。	GE-01-01-01
適切な医療機関や診療科につなぐ重要性を理解している。	GE-01-01-02
基本的なフレームワーク（頻度・重症度・緊急度、解剖学的アプローチ、病態生理学的アプローチ、二重過程理論、事前確率等）を用いて臨床推論を行うことができる。	GE-01-01-03
最先端の研究に刺激を受ける。	RE-01-02-01
ロールモデルとしての研究者の生き方に触れる。	RE-01-02-02
薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項について理解している。	CS-02-04-04
主な薬物アレルギーの症候、診察、診断、予防策と対処法について理解している。	CS-02-04-08

抗腫瘍薬の適応、有害事象、投与時の注意事項について理解している。	CS-02-04-10
医療過誤に関連した刑事・民事責任や医師法に基づく行政処分を理解している。	CS-05-03-02
患者の価値観に沿った目標に基づいた治療方針を計画することができる。	CM-02-03-04
多職種及び他の医療系学部の学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。	IP-01-02-01
保健所、市町村保健センター、地方衛生研究所の役割を理解している。	SO-01-03-01
産業保健の意義、労働衛生の3管理等、産業保健の基本的な考え方を理解している。	SO-01-04-01
医師法が定める医師の職権と義務を理解している。	SO-05-01-01
国際的に取り組む必要のある医療・健康課題について、歴史・社会的背景を踏まえて、概要を理解している。	SO-05-02-01
ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの意義を理解し、世界各国の医療制度が抱える問題を例示できる。	SO-05-02-02
保健関連の国連開発目標や国際機関・国際協力に関わる組織・団体について概要を理解している。	SO-05-02-03
時代の流れ、社会の状況や諸制度との関わりの中で医療に関する諸事象を捉え、構造的に説明できる。	SO-06-01-02

評価方法
(2)評価項目続き

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

① 形成的評価（学生の成長のためのフィードバックとしての評価）として、出席状況、遅刻状況、実習・ワークショップ中の態度、提出物（課題については既定の文字数、内容を満たしていること）が評価対象となる。② 授業の実施方法には、講義、ワークショップ、実習、行事がある。③ 準備学修（予習・復習）の具体的な内容およびこれに必要な時間：あらかじめ学生ポータルサイトに掲示されるレジュメや説明に目を通すこと。実習は、事前ガイダンスに参加して、学修目標、ドレスコードや実習先での心構えを意識すること。事前事後学修の目安0.25時間 + 1.0時間。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『人間関係教育と行動科学テキストブック（第3版） - 「至誠と愛」の実践学修-』	東京女子医科大学「至誠と愛」の実践学修教育委員会 編	三恵社 2018	978486487 8425
2.	『人間の記録63 吉岡弥生 吉岡弥生伝』	吉岡弥生女史伝記編纂委員会	日本図書センター 1998	978482054 3084
3.	『国境なき医師団：貫戸朋子』	NHK「課外活動 よこそ先輩」制作グループ + KTC中央出版.編	KTC中央出版 2000	978487758 1602
4.	『Oxford Textbook of Palliative Medicine, 6th ed.,』	N.I.Cherny, M.T.Fallon, S.Kaasa, et al.(eds.)	Oxford University Press 2021	214748364 7
5.	『神谷美恵子 ハンセン病と歩んだ命の道程』	大谷美和子	くもん出版 2012	978477432 1394
6.	『知っておきたい薬書の知識：薬による健康被害を防ぐために』	日本公定書協会企画・編集	じほう 2011	978484074 1743
7.	『生きがいについて』	神谷美恵子	みすず書房 2004	978462208 1814
8.	『アット・ザ・ベンチ アップデート版 バイオ研究完全指南』	Kathy Barker	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2005	978489592 4146
9.	『子どもを選ばないことを選ぶ：いのちの現場から出生前診断を問う』	大野明子編著	メディカ出版（取扱なし） 2003	978484040 7731
10.	『人あかり：死のそばで』	徳永進	ゆみる出版 2004	978494650 9353

11.	『命を見つめて 魂に寄り添った女医の物語』	山崎倫子 岡山徹 構成	ランダムハウス講談社 2005	978427000 0809
12.	『平静の心：オスラー博士講演集 新訂増補版』	オスラー [述]；日野原重明, 仁木久恵訳	医学書院 2003	426012708 X
13.	『ハーバードの医師づくり：最高の医療はこうして生まれる』	田中まゆみ	医学書院 2002	978426013 8871
14.	『死をみとる1週間（総合診療ブックス）』	林章敏, 池永昌之編	医学書院 2002	978426013 8888
15.	『実践チーム医療論：実際と教育プログラム：インタープロフェッショナル・ヘルスケア』	水本清久 [ほか] 編著	医歯薬出版 2011	978426323 5577
16.	『女性よ賢くあれ 母娘二代女医の道』	長池博子	河北新報社（取扱無し） 1999	978487341 1361
17.	『医学生のための生命倫理』	盛永審一郎, 松島哲久編	丸善出版 2012	978462108 5936
18.	『佐々木静子からあなたへ 女のからだと医療・性暴力・人権』	著：佐々木静子/編集：『佐々木静子からあなたへ』編集委員会	教育史料出版会 2015	978487652 5348
19.	『治療としての面接』	鈴木二郎	金剛出版 2001	978477240 6826
20.	『幕末の女医 楠本イネ シーボルトの娘と家族の肖像』	宇神幸男	現代書館 2018	978476845 8242
21.	『悔いありてこそ 女医一筋六〇年』	三神美和	山手書房 1984	
22.	『期待される医師のマナー：実践をめざして』	日本医学教育学会編	篠原出版（取扱無し） 1988	978487949 0889
23.	『脳死判定・臓器移植ハンドブック』	厚生省保健医療局臓器移植対策室監修	社会保険出版社 1998絶版	978478460 1639
24.	『野に咲くペロニカ』	林富美子	小峯書店 1981	978491563 4062
25.	『ドクター・エプロン 私は田舎の町医者です』	青山眞理	新風社 2003	978479742 2559
26.	『真実を伝える：コミュニケーション技術と精神的援助の指針』	ロバート・バックマン著；前野宏, 平井啓, 坂口幸弘訳	診断と治療社 2000	978478780 3702
27.	『蹄跡：ALS患者となった眼科医の手記』	渡辺春樹著	西田書店 2003	978488866 3694
28.	『小児科医者内藤寿七郎物語』	丹羽洋子著	赤ちゃんとママ社 2003	978487014 0318
29.	『血液疾患診療編（インフォームド・コンセントガイドス）』	月本一郎編著	先端医学社 2001	978488407 0380
30.	『新版 医療倫理Q&A』	関東医学哲学・倫理学会編	太陽出版 2013	488469769 3
31.	『つなぐ命つなげる心 東京大空襲を乗り越えて 無名偉人伝 町医者中尾聰子』	平野久美子	中央公論事業出版 2015	978489514 4490
32.	『対人援助のためのコーチング：利用者の自己決定とやる気をサポート』	諏訪茂樹	中央法規出版 2007	978480582 9097
33.	『小島の春 ある女医の手記』	小川正子	長崎出版 1995	978493069 5611
34.	『たんぼぼ：東京女子医学専門学校昭和20年卒業クラス会文集』	東京女子医学専門学校昭和20年卒業クラス会	東京女子医学専門学校昭和20年卒業クラス会 2007	
35.	『「チーム医療」とは何か：医療ケアに生かす社会学からのアプローチ』	細田満和子	日本看護協会出版会 2012	978481801 6583
36.	『生命医学倫理ノート：和の思想との対話』	松田一郎	日本評論社 2004	978453598 2345
37.	『モリー先生との火曜日』	ミッチ・アルボム	日本放送出版協会 1998	978414080 3837

38.	『回想のハルビン ある女医の激動の記録』	山崎倫子	牧羊社 1993	978483331 5357
39.	『知っておきたい薬害の教訓：再発防止を願う被害者からの声』	医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 企画編	薬事日報社 2012	978484081 2139
40.	『コスモスの花蔭で らい医療に携わった女医達の記録』	肥田野信／東京女子医科大学皮膚科学 教室	1990	

関連リンク

添付ファイル ※ 3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/04/08(水)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	1 キャリアを考える (6) 「女性医師ロールモデル実習ガイダンス (全体)」			
	担当者 (所属)	横田 仁子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	GE-01-03-02,PR-02-02-01,PR-02-02-02,CM-02-03-02,LL-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-02-02			
	講義資料番号/連番(L MS)				1
2.	2026/04/16(木)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	2 臨床研究倫理 (1)			
	担当者 (所属)	佐々木 孝寛			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	RE-02-01-01,RE-05-02-01			
	講義資料番号/連番(L MS)				2
3.	2026/04/23(木)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	3 臨床研究倫理 (2)			
	担当者 (所属)	縣 宗彦 蔣池 勇太 佐々木 孝寛 佐藤 康仁			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PR-01-02-02,PR-02-01-01,PR-04-01-03,GE-01-04-02,RE-02-01-01,RE-03-02-01,RE-05-02-01,CM-01-02-01,CM-02-01-02,CM-02-03-03,SO-02-02-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				3
4.	2026/04/23(木)	5時限	講義	-	15:15-16:25

	タイトル	4 臨床研究倫理 (2) ワークショップ※収録配信なし、対面のみ (講義室201)			
	担当者 (所属)	縣 宗彦 蔣池 勇太 佐々木 孝寛 佐藤 康仁			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PR-01-02-02,PR-02-01-01,PR-04-01-03,GE-01-04-02,RE-02-01-01,RE-03-02-01,RE-05-02-01,CM-01-02-01,CM-02-01-02,CM-02-03-03,SO-02-02-05			
	講義資料番号/連番(L MS)			4	
5.	2026/04/23(木)	6 時限	講義	-	16:35-17:45
	タイトル	5 臨床研究倫理 (2) ワークショップ※収録配信なし、対面のみ (講義室201)			
	担当者 (所属)	縣 宗彦 蔣池 勇太 佐々木 孝寛 佐藤 康仁			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PR-01-02-02,PR-02-01-01,PR-04-01-03,GE-01-04-02,RE-02-01-01,RE-03-02-01,RE-05-02-01,CM-01-02-01,CM-02-01-02,CM-02-03-03,SO-02-02-05			
	講義資料番号/連番(L MS)			5	
6.	2026/05/11(月)	6 時限	実習	講義室 302 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	16:35-17:45
	タイトル	キャリアを考える (6) 「女性医師のロールモデル実習ガイダンス (小グループ) 」			
	担当者 (所属)	清水 優子 篠崎 和美 山口 俊夫 小林 浩子 竹中 祐子 浦瀬 香子 石垣 景子 田中 正太郎 山本 圭子 秋澤 叔香 辻野 賢治 横田 仁子 廣田 恵子 土井 範子 首里 京子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	GE-01-04-05,GE-02-01-01,GE-02-01-02,GE-02-02-01,GE-02-02-02,GE-02-02-03,GE-02-02-04,GE-02-02-05,GE-02-03-01,GE-02-03-02,GE-02-04-01,GE-02-04-02,LL-01-01-01,LL-01-0			

		1-02,LL-02-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-03-01-01,CM-03-01-02,CM-03-01-03,CM-03-02-01,CM-03-02-02,IP-02-01-01,IP-02-01-02,IP-02-02-01,IP-02-02-02,IP-02-03-01,IP-02-03-02,IP-02-04-01,SO-01-02-03,SO-05-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2026/05/22(金)	3 時限	行事	弥生記念講堂	12:30-13:40
	タイトル	吉岡彌生記念講演会 ※配信とするか未定			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2026/05/22(金)	4 時限	行事	弥生記念講堂	13:55-15:05
	タイトル	吉岡彌生記念講演会 ※配信とするか未定			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2026/05/22(金)	5 時限	行事	弥生記念講堂	15:15-16:25
	タイトル	吉岡彌生記念講演会 ※配信とするか未定			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2026/06/10(水)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	6 医療コミュニケーション (5) 「患者の自己決定と自己解決のサポート (Coaching)」			
	担当者(所属)	諏訪 茂樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-02-02-01,CM-02-03-01,CM-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2026/09/24(木)	4 時限	講義・ワークショップ	-	13:55-15:05
	タイトル	薬害を考える「看護学部生と考える」(201, 202, 305, 306講義室)			
	担当者(所属)	松村 剛毅 花房 規男 吉武 久美子 塩川 満			

		南 龍馬 外部 講師			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PR-01-01-01,PR-01-01-02,PR-02-01-01,PR-03-01-01,PR-03-01-02, PR-04-01-01,PR-04-01-02,PR-04-01-03, LL-02-01-01, CS-02-04-04,CS-02-04-08,CS-02-04-10, CM-01-02-01,CM-01-02-02,CM-02-02-01,CM-02-03-04, IP-01-02-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(L MS)			11	
1 2.	2026/09/24(木)	5 時限	講義・ワークショップ	-	15:15-16:25
	タイトル	薬害を考える「看護学部生と考える」(201, 202, 305, 306講義室)			
	担当者(所属)	松村 剛毅 花房 規男 吉武 久美子 塩川 満 南 龍馬 外部 講師			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PR-01-01-01,PR-01-01-02,PR-02-01-01,PR-03-01-01,PR-03-01-02, PR-04-01-01,PR-04-01-02,PR-04-01-03, LL-02-01-01, CS-02-04-04,CS-02-04-08,CS-02-04-10, CM-01-02-01,CM-01-02-02,CM-02-02-01,CM-02-03-04, IP-01-02-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(L MS)				12
1 3.	2026/09/25(金)	5 時限	講義・ワークショップ	講義室 201 講義室 202	15:15-16:25
	タイトル	キャリアを考える(3) 「女性医師のロールモデル実習 振り返りWS」			
	担当者(所属)	石垣 景子 横田 仁子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PR-02-03-01,PR-02-03-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02, GE-02-01-01,GE-02-01-02,GE-02-02-01,GE-02-02-02,GE-02-02-03,GE-02-02-04,GE-02-02- 05, GE-02-03-01,GE-02-03-02,GE-02-04-01,GE-02-04-02, GE-03-05-01,GE-03-05-02,GE-03-05-03,GE-03-05-04,GE-03-05-05,GE-03-05-06,GE-03-05- 07,GE-03-06-01, LL-01-01-01,LL-01-01-02,LL-01-02-01,LL-01-02-02,LL-02-01-01, RE-01-01-01,RE-01-01-02,RE-04-01-01, CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05, CM-01-02-01,CM-01-02-02,CM-02-01-01,CM-02-01-02, CM-03-01-01,CM-03-01-02,CM-03-01-03,CM-03-02-01,CM-03-02-02, IP-02-02-02, SO-01-02-02,SO-01-02-03,SO-01-03-02,SO-01-03-03,SO-05-01-04			
	講義資料番号/連番(L MS)				13
1 4.	2026/09/25(金)	6 時限	講義・ワークショップ	講義室 201 講義室 202	16:35-17:45

	タイトル	キャリアを考える (3) 「女性医師のロールモデル実習 振り返りWS」		
	担当者 (所属)	石垣 景子 横田 仁子		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PR-02-03-01,PR-02-03-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02, GE-02-01-01,GE-02-01-02,GE-02-02-01,GE-02-02-02,GE-02-02-03,GE-02-02-04,GE-02-02-05, GE-02-03-01,GE-02-03-02,GE-02-04-01,GE-02-04-02, GE-03-05-01,GE-03-05-02,GE-03-05-03,GE-03-05-04,GE-03-05-05,GE-03-05-06,GE-03-05-07,GE-03-06-01, LL-01-01-01,LL-01-01-02,LL-01-02-01,LL-01-02-02,LL-02-01-01, RE-01-01-01,RE-01-01-02,RE-04-01-01, CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05, CM-01-02-01,CM-01-02-02,CM-02-01-01,CM-02-01-02, CM-03-01-01,CM-03-01-02,CM-03-01-03,CM-03-02-01,CM-03-02-02, IP-02-02-02, SO-01-02-02,SO-01-02-03,SO-01-03-02,SO-01-03-03,SO-05-01-04		
	講義資料番号/連番(LMS)			14
1 5.	2026/10/16(金)	3 時限	講義	講義室 201 12:30-13:40
	タイトル	医療行為における法と倫理		
	担当者 (所属)	一家 綱邦		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PR-01-01-01,PR-01-01-02, CS-05-03-02, SO-05-01-01		
	講義資料番号/連番(LMS)			15
1 6.	2026/10/26(月)	4 時限	講義	講義室 201 13:55-15:05
	タイトル	医師としての判断力とは		
	担当者 (所属)	三谷 昌平		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PR-03-01-01,PR-03-01-02,PR-04-01-01,PR-04-01-02,PR-04-01-03,GE-01-01-01,GE-01-01-02,GE-01-01-03		
	講義資料番号/連番(LMS)			16
1 7.	2026/12/14(月)	3 時限	講義・ワークショップ	講義室 201 12:30-13:40
	タイトル	キャリアを考える (7) 「医師の多彩な働き方」		
	担当者 (所属)	横田 仁子 石津 綾子 山田 多佳子 高橋 千香		
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PR-02-03-01,PR-02-03-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02, LL-01-01-01,LL-01-01-02,LL-01-02-01,LL-01-02-02,LL-02-01-01, RE-01-01-01,RE-01-01-02,RE-01-02-01,RE-01-02-02,RE-02-01-01, SO-01-03-01,SO-01-03-02,SO-01-03-03,SO-01-04-01, SO-05-02-01,SO-05-02-02,SO-05-02-03,SO-06-01-02		

	講義資料番号/連番(LMS)				17
1 8.	2026/12/14(月)	4 時限	講義・ワークショップ	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	キャリアを考える (7) 「医師の多彩な働き方」			
	担当者 (所属)	横田 仁子 石津 綾子 山田 多佳子 高橋 千香			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PR-02-03-01,PR-02-03-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02, LL-01-01-01,LL-01-01-02,LL-01-02-01,LL-01-02-02,LL-02-01-01, RE-01-01-01,RE-01-01-02,RE-01-02-01,RE-01-02-02,RE-02-01-01, SO-01-03-01,SO-01-03-02,SO-01-03-03,SO-01-04-01, SO-05-02-01,SO-05-02-02,SO-05-02-03,SO-06-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
1 9.	2026/12/14(月)	5 時限	講義・ワークショップ	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	キャリアを考える (7) 「医師の多彩な働き方」			
	担当者 (所属)	横田 仁子 石津 綾子 山田 多佳子 高橋 千香			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	PR-02-03-01,PR-02-03-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02, LL-01-01-01,LL-01-01-02,LL-01-02-01,LL-01-02-02,LL-02-01-01, RE-01-01-01,RE-01-01-02,RE-01-02-01,RE-01-02-02,RE-02-01-01, SO-01-03-01,SO-01-03-02,SO-01-03-03,SO-01-04-01, SO-05-02-01,SO-05-02-02,SO-05-02-03,SO-06-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				19

科目名
研究プロジェクト
科目責任者(所属)
藤枝 弘樹

到達目標
研究プロジェクトは、医師に必要な科学的思考力や研究マインドの涵養を目的とした縦断カリキュラムである。学生は希望する学内の研究部署に配属され、各自が個別のテーマを設定して研究活動を行う。必修期間は第3学年の12月（セグメント6）の3週間であるが、学生の意欲次第でこれ以前に開始したり、これ以後も継続することができる。研究の一連のプロセス（研究の立案、研究方法の習得、研究結果の記録と評価、文献の検索、研究成果の発表、研究倫理の遵守等）を体験することで、医学研究の目的、意義や方法について理解を深め、科学的探究心と思考力を培うことを目標とする。研究を適切に実施するためには、研究における心得やルールを学ぶ必要がある。3週間の研究を開始する前に、研究倫理の教本の熟読、eラーニング、グループワークの実習によって誠実な研究活動とは何かを十分理解しておくことが必要である。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
データを読み解釈できる。	I-1-B-(1-2)-①
実習に必要な技術を実践できる。	I-1-C-(1-2)-①
安全に配慮して実習・研修を行える。	I-1-C-(1-2)-②
現象・事例から学ぶべきことを発見できる。	I-2-A-(1-2)-①
仮説を導くことができる	I-2-B-(1-2)-①
事象、現象、観察などからその原因について考えられる。	I-2-B-(1-2)-②
既知と未知の問題を明らかにできる。	I-2-C-(1-2)-①
医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる。	I-2-C-(1-2)-②
問題の優先度および重要度を判断できる。	I-2-A-(3-4)-①
問題の科学的重要性を評価できる。	I-2-B-(3-4)-①
事例から自分の知らないことを発見できる。	I-2-C-(3-4)-①
未知の問題を解決する方法を見つけることができる。	I-2-C-(3-4)-②
問題解決のための情報収集ができる。	I-3-A-(1-2)-①
仮説を証明する手順を説明できる。	I-3-A-(1-2)-②
情報に即して適切な解決方法を導くことができる。	I-3-B-(1-2)-①
複数の問題解決法を考えることができる。	I-3-B-(1-2)-②
問題解決結果の妥当性を評価できる。	I-3-C-(1-2)-①
結果に予想される誤差を考えられる。	I-3-C-(1-2)-②
事例に即した問題解決のための情報検索ができる。	I-3-A-(3-4)-①
病態を明らかにする方法を挙げることができる。	I-3-B-(3-4)-①
事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。	I-3-B-(3-4)-②
適切な問題解決を行ったか検証できる。	I-3-C-(3-4)-①
結果の客観的評価ができる。	I-3-C-(3-4)-②
結果の解釈の限界を明らかにできる。	I-3-C-(3-4)-③
自分の考えを他者に伝えることができる。	I-4-A-(1-2)-①
結論とその根拠が明確な文書を作成できる。	I-4-B-(1-2)-①
研究・実習の報告書が作成できる。	I-4-B-(1-2)-②
文書の要約を作成できる。	I-4-B-(1-2)-③
簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。	I-4-C-(1-2)-①
相手の理解に合わせて、説明できる。	I-4-C-(1-2)-②
自己学修の結果を適切に伝えられる。	I-4-C-(1-2)-③
医学的情報をわかりやすく伝えることができる。	I-4-A-(3-4)-①
研究・実習・症例などの要約が作成できる。	I-4-B-(3-4)-①
研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。	I-4-C-(3-4)-①
実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。	I-5-A-(1-2)-②
情報の信頼度を評価できる。	I-5-A-(1-2)-③
データ・結果の根拠を批判的に説明できる。	I-5-A-(3-4)-①
結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。	I-5-A-(3-4)-②
根拠となる文献を検索できる。	I-5-A-(3-4)-③
個人情報保護について説明できる。	I-6-B-(1-2)-①
研究倫理の概念について述べるができる。	I-6-C-(1-2)-①

研究倫理に配慮して実験・実習の結果報告書を作成できる。	I-6-C-(1-2)-②
患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。	I-6-B-(3-4)-③
基礎研究における倫理指針を概説できる。	I-6-C-(3-4)-①
利益相反(Conflict of interest)について説明できる。	I-6-C-(3-4)-②
臨床研究の倫理指針を概説できる。	I-6-C-(5-6)-①
医学研究の重要性について概説できる。	II-3-B-(1-2)-①
基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。	II-3-B-(3-4)-①
医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。	II-3-B-(3-4)-②
臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。	II-3-B-(3-4)-③

学修（教育）方法

実習

評価方法
(1)総括的評価の対象

①学生の出席状況と活動態度（30点）、②配属部署で開催される研究発表（30点）、③研究レポート（30点）、④研究倫理（eラーニング、グループワーク、レポート）（10点）、の4つの観点を総合的に考慮して成績を評価する。

評価方法
(2)評価項目

1) 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。	A-2-2)①
2) 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	A-2-2)②
3) 実験・実習の内容を決められた様式に従って文書と口頭で発表できる。	A-2-2)③
4) 各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究等）に参加する。	A-2-2)⑤
5) 研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。	A-8-1)①
6) 生命科学の講義・実習で得た知識を基に、診療で経験した病態の解析ができる。	A-8-1)②
7) 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。	A-8-1)③
8) 抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けて科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学等）に参加することができる。	A-8-1)④

評価方法
(2)評価項目続き

評価方法
(3)評価基準

100点満点にて点数化し、S（90%以上）、A（80%以上90%未満）、B（70%以上80%未満）、C（60%以上70%未満）、D（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。ただし、レポート未提出はD評価とする。

事前・事後学修

-

伝達事項

第3学年4月に第1回目、11月に第2回目のオリエンテーションを実施するので必ず出席すること。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『科学の健全な発展のために —誠実な科学者の心得—』	日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会 編	丸善出版 2015	978-4-621-08914-9
2.	『【参考図書】事例から学ぶ公正な研究活動 ～気づき、学びのためのケースブック～』	森田育男、新谷由紀子、岡林浩嗣 監修	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 2017	
3.	『【参考図書】医学研究・臨床試験の倫理 わが国の事例に学ぶ』	井上悠輔、一家綱邦	日本評論社 2018	978-4-535-98453-0
4.	『【参考図書】研究不正 科学者の捏造、改竄、盗用』	黒木登志夫	中公新書	978-4-12-102373-5

関連リンク

1.	日本学術振興会 研究倫理eラーニングコース[eL CoRE]	https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx
2.	日本学術振興会 研究公正 教育教材	https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html

添付ファイル ※ 3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/08/24(月)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	アントレプレナーシップ1			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				1
2.	2026/09/08(火)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	アントレプレナーシップ2			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				2
3.	2026/10/13(火)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	個人情報の取扱い			
	担当者(所属)	-			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				3
4.	2026/10/28(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	研究倫理 グループワーク			
	担当者(所属)	本多 祥子 佐々木 孝寛 松尾 真理			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				4
5.	2026/10/28(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	研究倫理 グループワーク			
	担当者 (所属)	本多 祥子 佐々木 孝寛 松尾 真理			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				5
6.	2026/11/17(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	研究プロジェクト直前オリエンテーション			
	担当者 (所属)	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	[別表]眼・視覚系,PS-02-15-01			
	講義資料番号/連番(L MS)				6
7.	2026/11/24(火)	1 時限	実習	-	09:00-10:10
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				7
8.	2026/11/24(火)	2 時限	実習	-	10:25-11:35
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				8
9.	2026/11/24(火)	3 時限	実習	-	12:30-13:40
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				9
1 0.	2026/11/24(火)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				10
1 1.	2026/11/24(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				11
1 2.	2026/11/24(火)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				12
1 3.	2026/11/25(水)	1 時限	実習	-	09:00-10:10
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				13
1 4.	2026/11/25(水)	2 時限	実習	-	10:25-11:35
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2026/11/25(水)	3 時限	実習	-	12:30-13:40
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2026/11/25(水)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2026/11/25(水)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2026/11/25(水)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2026/11/26(木)	1 時限	実習	-	09:00-10:10
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				19

20.	2026/11/26(木)	2 時限	実習	-	10:25-11:35
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				20
21.	2026/11/26(木)	3 時限	実習	-	12:30-13:40
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				21
22.	2026/11/26(木)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				22
23.	2026/11/26(木)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				23
24.	2026/11/26(木)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				24
25.	2026/11/27(金)	1 時限	実習	-	09:00-10:10

	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				25
2 6.	2026/11/27(金)	2 時限	実習	-	10:25-11:35
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				26
2 7.	2026/11/27(金)	3 時限	実習	-	12:30-13:40
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				27
2 8.	2026/11/27(金)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				28
2 9.	2026/11/27(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				29
3 0.	2026/11/27(金)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	研究プロジェクト			

	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				30
3 1.	2026/11/30(月)	1 時限	実習	-	09:00-10:10
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				31
3 2.	2026/11/30(月)	2 時限	実習	-	10:25-11:35
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				32
3 3.	2026/11/30(月)	3 時限	実習	-	12:30-13:40
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				33
3 4.	2026/11/30(月)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				34
3 5.	2026/11/30(月)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				35
3 6.	2026/11/30(月)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				36
3 7.	2026/12/01(火)	1 時限	実習	-	09:00-10:10
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				37
3 8.	2026/12/01(火)	2 時限	実習	-	10:25-11:35
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				38
3 9.	2026/12/01(火)	3 時限	実習	-	12:30-13:40
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				39
4 0.	2026/12/01(火)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				40
4 1.	2026/12/01(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				41
4 2.	2026/12/01(火)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				42
4 3.	2026/12/02(水)	1 時限	実習	-	09:00-10:10
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				43
4 4.	2026/12/02(水)	2 時限	実習	-	10:25-11:35
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				44
4 5.	2026/12/02(水)	3 時限	実習	-	12:30-13:40
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				45

4 6.	2026/12/02(水)	4 時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	— —			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				46
4 7.	2026/12/02(水)	5 時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	— —			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				47
4 8.	2026/12/02(水)	6 時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	— —			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				48
4 9.	2026/12/03(木)	1 時限	実習	—	09:00-10:10
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	— —			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				49
5 0.	2026/12/03(木)	2 時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	— —			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				50
5 1.	2026/12/03(木)	3 時限	実習	—	12:30-13:40

	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				51
5 2.	2026/12/03(木)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				52
5 3.	2026/12/03(木)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				53
5 4.	2026/12/03(木)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				54
5 5.	2026/12/04(金)	1 時限	実習	-	09:00-10:10
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				55
5 6.	2026/12/04(金)	2 時限	実習	-	10:25-11:35
	タイトル	研究プロジェクト			

	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				56
5 7.	2026/12/04(金)	3 時限	実習	-	12:30-13:40
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				57
5 8.	2026/12/04(金)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				58
5 9.	2026/12/04(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				59
6 0.	2026/12/04(金)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				60
6 1.	2026/12/07(月)	1 時限	実習	-	09:00-10:10
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				61
6 2.	2026/12/07(月)	2 時限	実習	-	10:25-11:35
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				62
6 3.	2026/12/07(月)	3 時限	実習	-	12:30-13:40
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				63
6 4.	2026/12/07(月)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				64
6 5.	2026/12/07(月)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				65
6 6.	2026/12/07(月)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				66
6 7.	2026/12/08(火)	1 時限	実習	-	09:00-10:10
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				67
6 8.	2026/12/08(火)	2 時限	実習	-	10:25-11:35
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				68
6 9.	2026/12/08(火)	3 時限	実習	-	12:30-13:40
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				69
7 0.	2026/12/08(火)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				70
7 1.	2026/12/08(火)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				71

7 2.	2026/12/08(火)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				72
7 3.	2026/12/09(水)	1 時限	実習	-	09:00-10:10
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				73
7 4.	2026/12/09(水)	2 時限	実習	-	10:25-11:35
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				74
7 5.	2026/12/09(水)	3 時限	実習	-	12:30-13:40
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				75
7 6.	2026/12/09(水)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				76
7 7.	2026/12/09(水)	5 時限	実習	-	15:15-16:25

	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				77
7 8.	2026/12/09(水)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				78
7 9.	2026/12/10(木)	1 時限	実習	-	09:00-10:10
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				79
8 0.	2026/12/10(木)	2 時限	実習	-	10:25-11:35
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				80
8 1.	2026/12/10(木)	3 時限	実習	-	12:30-13:40
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				81
8 2.	2026/12/10(木)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			

	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				82
8 3.	2026/12/10(木)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				83
8 4.	2026/12/10(木)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				84
8 5.	2026/12/11(金)	1 時限	実習	-	09:00-10:10
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				85
8 6.	2026/12/11(金)	2 時限	実習	-	10:25-11:35
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				86
8 7.	2026/12/11(金)	3 時限	実習	-	12:30-13:40
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者（所属）	--			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				87
8 8.	2026/12/11(金)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				88
8 9.	2026/12/11(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				89
9 0.	2026/12/11(金)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				90
9 1.	2027/01/15(金)	1 時限	実習	-	09:00-10:10
	タイトル	ポスター発表会 (講義室201,202,203)			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				91
9 2.	2027/01/15(金)	2 時限	実習	-	10:25-11:35
	タイトル	ポスター発表会 (講義室201,202,203)			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				92
9 3.	2027/01/15(金)	3 時限	実習	-	12:30-13:40
	タイトル	ポスター発表会 (講義室201,202,203)			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				93
9 4.	2027/01/15(金)	4 時限	実習	-	13:55-15:05
	タイトル	ポスター発表会 (講義室201,202,203)			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				94
9 5.	2027/01/15(金)	5 時限	実習	-	15:15-16:25
	タイトル	ポスター発表会 (講義室201,202,203)			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				95
9 6.	2027/01/15(金)	6 時限	実習	-	16:35-17:45
	タイトル	ポスター発表会 (講義室201,202,203)			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				96

科目名
国際コミュニケーション
科目責任者(所属)
長坂 安子

到達目標
<p>本コースでは、将来、国際的な医療現場において適切にコミュニケーションを行うことができる医療人の育成を目的とする。主に米国における医療面接（medical interview）の基本構造および問診項目を理解し、英語で患者の病歴を聴取するための初歩的な表現と技能を習得することを到達目標とする。</p> <p>セグメント5と6</p> <p>1) 医療面接の基本構成（Chief Complaint, HPI, PMH 等）を理解できる。</p> <p>2) 患者に対して基本的な問診を英語で行うことができる。</p> <p>3) 聴取した情報を、簡潔かつ適切な英語で記述することができる。</p> <p>また、セグメント4に引き続き、e-learning による医学英語の語彙学修の継続性を定着させ、診療で使われる基礎的な英語表現に慣れる。</p>
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号
<p>患者に分かる言葉を選択できる。 I-4-A-(3-4)-②</p> <p>研究・実習・症例などの要約が作成できる。 I-4-B-(3-4)-①</p> <p>卒業までの学修目標を立て、自分の達成度を評価できる。 II-2-A-(3-4)-①</p> <p>学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。 II-2-C-(3-4)-①</p> <p>学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。 II-2-C-(3-4)-②</p>
学修（教育）方法
講義・演習
<p>評価方法 (1)総括的評価の対象</p> <p>セグメント5・セグメント6の国際コミュニケーションと一緒に通年で評価する。 評価の対象は、授業への出席、e-learningの学修、医学英語語彙テスト、授業の課題。</p>
<p>評価方法 (2)評価項目</p> <p>1) 医学関連のトピックに関心を持ち、英語で学ぼうという自主的な学修姿勢を維持できる。 LL-01-01-02,LL-02-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,C-5-7)⑥⑦⑧</p> <p>2) e-learning による医学英語の語彙学修を継続的に行うことができる。 LL-01-01-02,LL-02-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03</p> <p>3) 医学英語の語彙形成と発音を演習形式で習得することができる。 LL-01-01-02,LL-02-01-01,LL-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03</p> <p>4) 定期的に行われる語彙テストを通して、学修の自己評価を行うことができる。 LL-01-01-02,LL-02-01-01</p> <p>5) 英語を母語とする医師による医療関連のレクチャーを聴き、内容を理解するとともに、不明な点を質問したり、自分の意見などを英語で表現できるようにする。 LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04,RE-04-01-01,CM-01-01-05,SO-06-01-03,RE-01-02-02,RE-05-02-01</p>
<p>評価方法 (2)評価項目続き</p>
<p>評価方法 (3)評価基準</p>

- 1) 授業への参加度 10%
- 2) e-learning 30%
- 3) 語彙テスト 20%

4) 授業の課題 40% (授業内テスト含む)

セグメント5とセグメント6の国際コミュニケーションと一緒に通年で評価するが、上記の評価項目について：

S(100～90%) 当該科目の目標をほぼ完全に達成していると認められる。

A(89～80%) 当該科目の目標を十分に達成していると認められる。

B(79～70%) 当該科目の目標の基幹部分は達成しているものと認められる。

C(69～60%) 当該科目の目標のうち最低限は達成していると認められる。

D(59～0%) 当該科目の目標に及ばない。

C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

- 1) 授業回数が少ないので、全講義への出席が前提。
- 2) 各講義で出される課題は、提出期限を厳守すること。
- 3) 語彙テストは、e-learningの学修効果をみるため、セグメント5で2回、セグメント6で4回実施。
- 4) 毎回の講義前には、ポータルサイト又はWebclassで準備学修などの連絡をするので、確認、準備の上、講義に臨むこと。
- 5) 本学に来訪する海外の医師による講演会（グランドラウンド等）やハンズオンセミナー（シミュレーション教育）を年間にわたり不定期におこなうことを予定しており、ポータルサイトから案内される。希望者の参加を推奨する（加点对象外）。

実務経験

大学病院の麻酔科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『最新医学英語用語演習』	岡田聚 / 名木田恵理子/ 田中伸代	南雲堂 2021	9784523178699
2.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep1』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2016	9784758304481
3.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep2』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2017	9784758304498
4.	『最新医学英語用語演習』	岡田聚 / 名木田恵理子/ 田中伸代	南雲堂 2021	9784523178699
5.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep1』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2016	9784758304481
6.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep2』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2017	9784758304498

関連リンク

1.	The New England Journal of Medicine	https://www.nejm.org
2.	The Lancet	https://www.thelancet.com

添付ファイル ※ 3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/05/22(金)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10

	タイトル	1.英語医療面接H&P(History&Physical)概論と主訴(CC:ChiefComplaint)			
	担当者(所属)	大野 純子 佐藤 明可 岡野 龍介			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04,RE-04-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-05,RE-01-02-02,RE-05-02-01,SO-06-01-03,SO-06-01-03,CM-01-01-01,CM-01-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2026/05/29(金)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	2.英語医療面接HistoryofPresentIllness:HPT① (OPQRSTの理解)			
	担当者(所属)	大野 純子 佐藤 明可 岡野 龍介			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	LL-01-01-02,GE-01-04-04,CM-01-01-01,CM-01-01-02 CM-01-01-01,CM-01-01-03 LL-02-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2026/06/16(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	3.英語医療面接HPI②短文作文練習・読解教科			
	担当者(所属)	大野 純子 佐藤 明可 岡野 龍介			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04,RE-04-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-05,RE-01-02-02,RE-05-02-01,SO-06-01-03,SO-06-01-03,CM-01-01-01,CM-01-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2026/08/27(木)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	Review			
	担当者(所属)	大野 純子 佐藤 明可 岡野 龍介			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04,RE-04-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05,SO-06-01-03,RE-01-02-02,RE-05-02-01,RE-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2026/09/25(金)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	Case Presentation 1			
	担当者(所属)	大野 純子 佐藤 明可 岡野 龍介			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04,RE-04-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05, SO-06-01-03			
	講義資料番号/連番(L MS)				5
6.	2026/10/05(月)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	Case Presentation 2			
	担当者 (所属)	大野 純子 佐藤 明可 岡野 龍介			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04,RE-04-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05,SO-06-01-03,RE-01-02-02,RE-05-02-01,RE-03-01-01,SO-05-02-01,SO-05-02-03			
	講義資料番号/連番(L MS)				6
7.	2026/12/18(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	Case Presentation 3			
	担当者 (所属)	大野 純子 岡野 龍介 タッド スタウト			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01 GE-01-04-04,RE-04-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05,SO-06-01-03,RE-01-02-02,RE-05-02-01,GE-04-0203,GE-04-02-01,GE-04-02-02			
	講義資料番号/連番(L MS)				7

科目名	
AI・データサイエンスと医療	
科目責任者(所属)	
野原 理子	
到達目標	
縦断科目であるAI・データサイエンスと医療では、医療に関わる各種情報を効果的に活用するために、ICT (Information and Communication Technology)の利用を中心とした情報の収集・整理・統合・分析・選択・検索・発信・提示の実際を学修する。セグメント5とセグメント6では、疫学概念と方法を理解し、これを集団に応用するための基礎的な能力を身につけることを目標とする。講義の前半では内容の説明を行い、後半では図や表を見て考察すること、簡単な演習問題を解いてみることを通して、セグメント4で学修した統計学が疫学でどのように用いられているのかなど疫学の基本的な考え方を理解する。さらに、疫学研究から発展したEvidence Based Medicine(EBM)の学修の導入として、医学論文の文献検索の方法などを習得する他、臨床疫学指標について理解することを目指す。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。	I -1-B-(3-4)-③
結果の客観的評価ができる。	I -3-C-(3-4)-②
結果の解釈の限界を明らかにできる。	I -3-C-(3-4)-③
データ・結果の根拠を批判的に説明できる。	I -5-A-(3-4)-①
学修（教育）方法	
講義・演習	
評価方法 (1)総括的評価の対象	
授業中の課題（100%）	
評価方法 (2)評価項目	
1)根拠に基づいた医療（EBM）の5つのステップを列挙できる。	B-1-3)①
2)Patient, population, problem, intervention (exposure), comparison, outcome（PICO (PECO))を用いた問題の定式化ができる。	B-1-3)②
3)研究デザイン（観察研究（記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究）、介入研究（臨床研究、ランダム化比較試験）、システマティックレビュー、メタ分析（メタアナリシス）を概説できる。	B-1-2)⑤
4)データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。	B-1-3)④
5)得られた情報の批判的吟味ができる。	B-1-3)⑤
6)平均寿命、健康寿命を説明できる。	B-1-4)②
7)罹患率と発生割合の違いを説明できる。	B-1-4)③
8)疫学とその応用（疫学概念、疫学指標（リスク比、リスク差、オッズ比）とその比較（年齢調整率、標準化死亡比（standardized mortality ratio (SMR)）、バイアス、交絡）を説明できる。	B-1-4)④
9)臨床検査の特性（感度、特異度、偽陽性、偽陰性、検査前確率（事前確率）・検査後確率（事後確率）、尤度比、receiver operating characteristic <ROC>曲線）と判定基準（基準値・基準範囲、カットオフ値、パニックF-2-3-④値）を説明できる。	
評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	
授業中の課題（100%）により、S.極めて良く理解している、A.良く理解している、B.平均的に理解している、C.最低限は理解している、D.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。	
事前・事後学修	

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

-

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第4版』	日本疫学会	南江堂 2024	9784524204489
2.	『疫学：基礎から学ぶために』	日本疫学会	南江堂 1996	4524212582
3.	『疫学ハンドブック：重要疾患の疫学と予防』	日本疫学会	南江堂 1998	4524215441
4.	『臨床疫学：EBM実践のための必須知識 第3版』	ロバート H.フレッチャー, スザンヌ W.フレッチャー, グラント S.フレッチャー 著ほか	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2016	9784895928533

関連リンク

添付ファイル ※ 3 つまで、1 ファイルにつき 5 MB まで、圧縮ファイル OK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/04/10(金)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	1 疫学とは			
	担当者(所属)	野原 理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-02-02-04,SO-02-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)	1			
2.	2026/04/10(金)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	2 疫学指標：罹患率と有病率			
	担当者(所属)	野原 理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-02-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)	2			

3.	2026/04/14(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	3 疫学指標：年齢調整死亡率と標準化死亡比			
	担当者（所属）	野原 理子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	SO-02-02-04,SO-02-02-03			
	講義資料番号/連番(L MS)				3
4.	2026/04/14(火)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	4 疫学指標：生命表と平均寿命			
	担当者（所属）	野原 理子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	SO-04-01-01,SO-03-01-05,SO-02-01-02			
	講義資料番号/連番(L MS)				4
5.	2026/10/16(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	5 コホート研究・症例対照研究			
	担当者（所属）	野原 理子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	SO-02-02-05,RE-03-02-01			
	講義資料番号/連番(L MS)				5
6.	2026/10/16(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	6 ランダム化比較試験・システマティックレビュー・メタ分析			
	担当者（所属）	野原 理子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	SO-02-02-05,RE-03-02-01			
	講義資料番号/連番(L MS)				6
7.	2026/10/21(水)	3 時限	講義	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	7 医学研究における文献検索1			
	担当者（所属）	加藤 砂織 西井 明子 野田 久愛 重川 須賀子 田部 瑤子 野原 理子 三木 貴子 永峰 大輝			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	GE-01-04-01,GE-01-04-02,GE-01-04-03,RE-04-01-03,GE-01-04-04			
	講義資料番号/連番(L MS)				7
8.	2026/10/21(水)	4 時限	講義	PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	8 医学研究における文献検索2			
	担当者 (所属)	加藤 砂織 西井 明子 野田 久愛 重川 須賀子 田部 瑤子 野原 理子 三木 貴子 永峰 大輝			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	GE-01-04-01,GE-01-04-02,GE-01-04-03,RE-04-01-03,GE-01-04-04			
	講義資料番号/連番(L MS)				8
9.	2026/11/20(金)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	9 臨床疫学指標			
	担当者 (所属)	野原 理子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準	SO-02-03-04,SO-02-03-05			
	講義資料番号/連番(L MS)				9

科目名	
健康管理	
科目責任者(所属)	
横田 仁子	
到達目標	
<p>医師という職業選択をすでにすませている皆さんは職業上、医師として患者さんの健康管理に携わることになります。そのためには、自身の健康管理を学生中に身につけておくことが大変重要です。また自身の健康を管理することは、たとえばいつも机を並べる友人達、実習班の友人、同学年、医学部全体、大学全体、しいては、病院を守ることに繋がります。健康管理の重要性を学ぶと同時に、皆さんのカリキュラムに沿った健康管理についてセグメントごとに講義を行い、皆さんに自身の健康管理について、予定されている健康管理行事の意義を理解し積極的に参加してほしいと考えています。</p> <p>また、昨今では大学生のメンタルヘルスの重要性が社会で問われていますが、医学部では、共用試験が医師国家試験前に在学中に施されるようになり、大変ストレスのかかりやすい状況です。そうであっても、大学の理念にありますように社会に貢献できる女性医師となるためには、在学中に身体のみならず、心の健康についても6年間かけて自身でコントロールできるようになっていくべきと考えています。</p>	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
<p>人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 I -1-A-(3-4)-①</p> <p>全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。 I -1-A-(3-4)-②</p> <p>疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。 I -1-B-(3-4)-③</p> <p>問題の優先度および重要度を判断できる。 I -2-A-(3-4)-①</p> <p>事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I -2-A-(3-4)-②</p> <p>女性のライフサイクルを説明できる。 II -2-C-(3-4)-②</p> <p>自分の特性を活かして学習できる。 II -2-D-(3-4)-①</p> <p>討論・話し合いを促せる。 II -4-B-(3-4)-①</p> <p>自分の方針を説明し同意を得ることができる。 II -4-B-(3-4)-②</p> <p>活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 II -4-B-(3-4)-③</p>	
学修（教育）方法	
講義・健康管理行事・学生健康管理室の受診	
評価方法 (1)総括的評価の対象	
講義への出席、学生健康管理行事への参加（定期健康診断、インフルエンザワクチン接種、その他）を形成的に評価する。総括的評価の対象とはしない	
評価方法 (2)評価項目	
<p>自らの心身を大切にできる。 LL-01-02-02</p> <p>女性やLGBTQに対する差別等のジェンダー不平等をなくすために積極的な行動をとることができる。 S0-04-02</p>	
評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	
上記の評価項目について、講義内のアンケート、健康管理行事への参加を通して形成的に評価する	
事前・事後学修	
-	
伝達事項	
健康管理行事に理由無く欠席しないこと	

実務経験

○ 大学病院の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『健康行動と健康教育』	【訳】曾根智史ら	医学書院 2006年	978-4-260-00350-6
2.	『近代日本の女性専門職教育』	渡邊洋子	明石書店 2014年	978-4-7503-4097-5
3.	『吉岡弥生 吉岡弥生伝』	吉岡弥生女史伝記編纂委員会	日本図書センタ ー 1998年	4-8205-4308-3
4.	『最新 行動科学からみた健康と病気』	宗像恒次	メヂカルフレンド社 1996年	978-4-8392-1025-0
5.	『最新 保健学講座(別巻1)健康教育論』	宮坂忠夫・川田智恵子・吉田亨	メヂカルフレンド社 2006年	978-4-8392-1282-7
6.	『学生のための健康管理学(改訂2版)』	木村康一・熊澤幸子・近藤陽一	南山堂 2007年	978-4-525-62052-3
7.	『最新 女性心身医学』	本庄英雄監修、女性心身医学会編	ぱーそん書房 2015年	978-4907095246
8.	『TEXT BOOK 女性心身医学』	玉田太郎・本庄英雄編集責任、日本女性心身医学会編	永井書店 2006年	978-4-8159-1760-9
9.	『コンサイスガイド 女性のためのメンタルヘルス』	【訳】島悟・長谷川恵美子	日本評論社 1999年	4-535-98163-9
10.	『健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか』	近藤克則	医学書院 2005年	978-4-260-00143-4
11.	『格差社会と健康 社会疫学からのアプローチ』	川上憲人・小林廉毅・橋本英樹編	東京大学出版会 2006年	4-13-060406-6

関連リンク

1.	日本環境感染学会 医療者関係者のためのワクチンガイドライン第2版	http://www.kankyokansen.org
2.	文部科学省 学校において予防すべき感染症の概説	http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko

添付ファイル ※ 3 つまで、1 ファイルにつき 5 MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/09/07(月)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	女性のライフステージと健康管理			
	担当者(所属)	横田 仁子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	S0-04-02, LL-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)	1			

基礎研究医養成プログラム

(趣旨)

第1条 本規程は、東京女子医科大学（以下「本学」という。）大学院学則第8および9条関係「履修方法に関する内規」に関し、本学の医学部学生（以下「学生」という。）で本学大学院医学研究科の基礎医学系（機能学系、形態学系、社会医学系）または先端生命医科学系専攻の各分野（以下「対象分野」という。）への進学を希望する者に対する仮単位履修制度（以下「本履修制度」という。）の取扱いについて必要な事項を定める。

(名称)

第2条 本履修制度を「基礎研究医養成プログラム」（以下「本プログラム」という。）と称する。
2 本プログラム登録を行った者（以下「登録者」という。）は、医学部在学中より本学大学院医学研究科の単位を仮単位として履修し、初期臨床研修の2年間に大学院医学研究科の1～2年次と兼ねることができる。

(目的)

第3条 本プログラムは、医学部在学中に医学部のカリキュラムと並行して大学院医学研究科の教育を受け、研究マインドを醸成し、基礎医学系の研究者を育成することを目的とする。

(資格)

第4条 本プログラムは、以下の資格条件を満たす者を対象とする。
(1) 本学医学部の3年から6年次に在籍する学生。
(2) 所属を希望する対象分野の指導教授から推薦のあった者。
(3) 原則として初期臨床研修を本学内の病院で行う予定の者。ただし、教務委員会が認めればその限りでない。

(定員)

第5条 対象分野につき若干名（指導教授の判断による）。

(登録)

第6条 本プログラムの履修を希望する者は、次の書類を学務課に提出しなければならない。
(1) 基礎研究医養成プログラム登録申請書
(2) 対象分野の指導教授からの推薦書

(登録許諾)

第7条 教務委員会は、登録の許否につき、書類審査および必要に応じて面接（志望者および対象分野の指導教授）を行った上で個別に審議し、登録を許可する場合は大学院委員会の承諾を得る。

(登録取消し)

第8条 登録者が登録を取り消す場合、理由書を付して教務委員会に提出する。教務委員会は、提出された理由書を個別に審議し、取り消す場合は大学院委員会の承諾を得る。

(履修科目および単位数)

第9条 履修科目および単位数について、登録者は、医学部在籍中（3～6年次）に、本学大学院学則第8および9条関係「履修方法に関する内規」に定める学科目のうち、次のものを履修し、仮単位とすることができる（大学院修了に必要な最低修得単位数30単位のうち、最大24単位まで）。

- ・ 大学院共通カリキュラム：
「実習（機能学系、形態学系、社会医学系、先端生命医科学系専攻の実習）」4単位（2系の実習）
- ・ 大学院共通カリキュラム：
「教授（基幹分野長）による講義」5単位（講義25コマ）
- ・ 主分野：15単位

- 2 履修方法は、本学大学院学則ならびに本学大学院学則第8および9条関係「履修方法に関する内規」による。
- 3 登録者は、医学部在籍中の本プログラム履修に要する費用を負担しない。

(履修学科目、仮単位の認定)

第10条 大学院委員会は、履修学科目および仮単位について、登録者から提出された「仮単位申請書」により個別に審議し、仮単位の認定を行う。

(大学院入学の単位申請)

第11条 登録者は、6年次から後期臨床研修修了までに、本学大学院医学研究科の入学試験を受験する。大学院入学後の所属は原則として医学部在籍中に登録した対象分野とする。入学許可後、第10条において認定した仮単位を既修得単位とする。

(改廃)

第12条 本規程の改廃は、決裁規程に基づき、理事会運営会議または理事会の承認を得るものとする。

Ⅲ 試験科目表・試験日程表

試験科目・試験スケジュール

年 月 日	曜	時 間	試 験 科 目	試 験 場
2月4日	木	13:00-14:30	聴覚・耳鼻咽喉系	302・303連結教室
2月5日	金	13:00-14:30	脳神経系2	302・303連結教室
2月8日	月	13:00-14:30	精神系	302・303連結教室
2月9日	火	13:00-14:30	脳神経系1	302・303連結教室
2月10日	水	13:00-14:30	眼・視覚系	302・303連結教室
2月12日	金	13:00-14:30	運動器系	302・303連結教室
2月16日	火	13:00-14:30	皮膚粘膜系	302・303連結教室

追・再試験スケジュール

年 月 日	曜	時 間	試 験 科 目	試 験 場
2月24日	水	10:00-11:30	脳神経系1	201
2月24日	水	13:00-14:30	脳神経系2	201
2月25日	木	10:00-11:30	精神系	201
2月25日	木	13:00-14:30	聴覚・耳鼻咽喉系	201
2月26日	金	10:00-11:30	眼・視覚系	201
2月26日	金	13:00-14:30	運動器系	201
2月26日	金	16:00-17:30	皮膚粘膜系	201

IV テュートリアル・TBL学修

科目名
テュートリアル・TBL_S6
科目責任者(所属)
-
到達目標
リンク集または「学修の手引き」参照
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号
-
学修（教育）方法
テュートリアル・TBL
評価方法 (1)総括的評価の対象
リンク集または「学修の手引き」参照
評価方法 (2)評価項目
リンク集または「学修の手引き」参照
評価方法 (2)評価項目続き
評価方法 (3)評価基準
-
事前・事後学修
講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義でのテストや講義者からの解説をもとに事後学修する。
伝達事項
-
実務経験
教科書・参考図書
関連リンク
添付ファイル ※ 3 つまで、1 ファイルにつき 5 MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/09/01(火)	3 時限	テュートリアル	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	オリエンテーション			
	担当者(所属)	飯嶋 睦			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				1
2.	2026/09/07(月)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者(所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				2
3.	2026/09/07(月)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題1 (10:00-11:40) (PC室 1) ※対面のみで配信なし			
	担当者(所属)	藤堂 謙一			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				3
4.	2026/09/07(月)	3 時限	テュートリアル	-	12:30-13:30
	タイトル	自己学修			
	担当者(所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				4
5.	2026/09/10(木)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者(所属)	- -			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				5
6.	2026/09/10(木)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題2 (10:00-11:40) (PC室 1) ※対面のみで配信なし			
	担当者 (所属)	星野 岳郎			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				6
7.	2026/09/10(木)	3 時限	テュートリアル	-	12:30-13:30
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				7
8.	2026/09/17(木)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				8
9.	2026/09/17(木)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題3 (10:00-11:40) (PC室 1) ※対面のみで配信なし			
	担当者 (所属)	岡 美栄子			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				9
1 0.	2026/09/17(木)	3 時限	テュートリアル	-	12:30-13:30
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				10
1 1.	2026/09/24(木)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				11
1 2.	2026/09/24(木)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題4 (10:00-11:40) (PC室 1) ※対面のみで配信なし			
	担当者 (所属)	岡 美栄子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				12
1 3.	2026/09/24(木)	3 時限	テュートリアル	-	12:30-13:30
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				13
1 4.	2026/09/28(月)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				14
1 5.	2026/09/28(月)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題5 (10:00-11:40) (PC室 1) ※対面のみで配信なし			
	担当者 (所属)				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				15

1 6.	2026/09/28(月)	3 時限	テュートリアル	-	12:30-13:30
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				16
1 7.	2026/10/01(木)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				17
1 8.	2026/10/01(木)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題6 (10:00-11:40) (PC室 1) ※対面のみで配信なし			
	担当者 (所属)				
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				18
1 9.	2026/10/01(木)	3 時限	テュートリアル	-	12:30-13:30
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				19
2 0.	2026/10/05(月)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				20
2 1.	2026/10/05(月)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40

	タイトル	課題7 (10:00-11:40) (PC室1) ※対面のみで配信なし			
	担当者(所属)	井上 知久			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				21
2 2.	2026/10/05(月)	3時限	テュートリアル	-	12:30-13:30
	タイトル	自己学修			
	担当者(所属)	- - -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				22
2 3.	2026/10/08(木)	1時限	テュートリアル	-	09:00-10:10
	タイトル	自己学修			
	担当者(所属)	- - -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				23
2 4.	2026/10/08(木)	2時限	テュートリアル	PC室1	10:00-11:40
	タイトル	課題8 (10:00-11:40) (PC室1) ※対面のみで配信なし			
	担当者(所属)	井上 知久			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				24
2 5.	2026/10/08(木)	3時限	テュートリアル	-	12:30-13:30
	タイトル	自己学修			
	担当者(所属)	- - -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				25
2 6.	2026/10/15(木)	1時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			

	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				26
2 7.	2026/10/15(木)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題9（10:00-11:40）（PC室 1）※対面のみで配信なし			
	担当者（所属）	長谷川 泰司			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				27
2 8.	2026/10/15(木)	3 時限	テュートリアル	-	12:30-13:30
	タイトル	自己学修			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				28
2 9.	2026/10/19(月)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				29
3 0.	2026/10/19(月)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題10（10:00-11:40）（PC室 1）※対面のみで配信なし			
	担当者（所属）	長谷川 泰司			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				30
3 1.	2026/10/19(月)	3 時限	テュートリアル	-	12:30-13:30
	タイトル	自己学修			
	担当者（所属）	--			

	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				31
3 2.	2026/10/26(月)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者(所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				32
3 3.	2026/10/26(月)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題11 (10:00-11:40) (PC室 1) ※対面のみで配信なし			
	担当者(所属)	山村 幸江			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				33
3 4.	2026/10/26(月)	3 時限	テュートリアル	-	12:30-13:30
	タイトル	自己学修			
	担当者(所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				34
3 5.	2026/10/29(木)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者(所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				35
3 6.	2026/10/29(木)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題12 (10:00-11:40) (PC室 1) ※対面のみで配信なし			
	担当者(所属)	山村 幸江			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2026/10/29(木)	3 時限	テュートリアル	-	12:30-13:30
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2026/11/05(木)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2026/11/05(木)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題13 (10:00-11:40) (PC室 1) ※対面のみで配信なし			
	担当者 (所属)	竹中 祐子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				39
40.	2026/11/05(木)	3 時限	テュートリアル	-	12:30-13:30
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				40
41.	2026/11/12(木)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				41

4 2.	2026/11/12(木)	2時限	チュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題14 (10:00-11:40) (PC室 1) ※対面のみで配信なし			
	担当者 (所属)	山上 淳			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				42
4 3.	2026/11/12(木)	3時限	チュートリアル	-	12:30-13:30
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国 試出題基準				
	講義資料番号/連番(L MS)				43

Problem based learning (PBL) テュートリアルと Team-based learning (TBL) について

PBL テュートリアル (テュートリアル) と TBL の概略

テュートリアルと TBL はいずれも active learning に含まれる学修法である。本学ではテュートリアルを医師としての考え方を身につけるための学修法として1990年度から導入し、TBL を問題解決能力の向上のための学修法として2008年度から導入した。

1. PBL テュートリアル (テュートリアル) とこれまでの累進型について

テュートリアルでは、既に学んだあるいはこれから学ぶ知識を、人体内の現象、環境・外界と生体の関連、生体構造・機能の正常と異常、病者の理解と医療の実践、患者・家族・社会と医療・公衆衛生の関わりなどの視点で、どのように使い、医師としてあるいは医学者として考え、判断するために活用するかを修得する。医師は患者の問題を、研究者は科学的真理を自ら見つけ探究する専門職であり、テュートリアルはその方法と姿勢を修得し生涯学び発展できるための力と自信をつけるための学修である。

その全体的な目的は：

- 1) 未知の課題（専門職として自分がなさなければならないこと）に取り組む力を身につける（能動学修）。
- 2) 実際の流れ（現象や症例）の中で、解決すべき問題を見つける力を身につける。
- 3) 問題を解決するために、自分で方法を考え、情報検索を行い、分析・解釈を行う力を身につける（自己方向付け学修）。
- 4) 自分の問題解決（学修結果）を互いに教え合うことにより（グループ討論）、学修の確かさと不確かな点を明らかにして自分の学修を振り返り（省察）次の目標を立て、更に深く学び理解する姿勢を身につける。

これまでの大きな流れとして、1年生から4年生にかけて、自己学修を通じて行った問題解決を学生同士で教え合い振り返り合うテュートリアルの流れと学び方を学ぶ「入門テュートリアル」、課題から学修者が自分で解決すべき問題を考えて学修目標に設定する「学修項目発見型テュートリアル」、自分が必要なことは課題から発展させ、関係する領域全体を見渡して学ぶ「領域を統合して学ぶテュートリアル」、臓器・器官系の構造と機能の正常と異常についての学修をするとともに、医学的な診断治療だけではなく、患者・家族の心理、患者支援・医療費など社会とのつながり、疫学・公衆衛生などを学修する「診療問題解決型テュートリアル」へと累進し、学生が考える力を段階的に高めていけるように「累進型テュートリアル」という形を構築して実施してきた。

2. Team-based learning (TBL) と高学年セグメントでの学修の継続

TBL では教員・学生間および学生・学生間の双方向性授業を通じてお互いの知識を活用した問題解決を行う。具体的には、個人で学修し、関連した問題について個人で解答し、次に小グループ（チーム）に分かれ討論・解答し、専門家（教員）からの説明を含むクラス全体の学修内容共有を行う学修法である。数回の授業を通じて基礎的学修だけでなく、発展・応用的な内容に進む。

2008年度より4年生後期（セグメント8）で問題解決能力のさらなる向上のために、従来の「診療問題解決型テュートリアル」に代わって TBL を導入し、診療上の問題解決の中で、診

療・治療を中心に考え方を学ぶ TBL が行われている。臨床実習を行うにあたり、医師の基本能力ともいえる患者に合わせた診断・治療を考えることを臨床推論 TBL という学修法で学ぶ。また、2013年度から1年生後期（セグメント2）では「学修項目発見型テュートリアル」の段階でテュートリアルと TBL を組み合わせて行っており、ここでは、セグメント1で学んだテュートリアルの方法を発展させ、より高学年で学ぶ医学への橋渡しとなる役割をなしてきた。2020年度より2, 3, 4年生（セグメント3-7）においてもテュートリアルに代わって TBL による学修が開始された。TBL は4年生で終了するが、医師にとって必要な考え方を学ぶ学修は卒業まで続けられる。2020年度から開始された4年生後期（セグメント8）の「入門型臨床実習」、5年生（セグメント9）以降の「診療参加型臨床実習」はそれまでに学んできた問題解決能力を本格的に臨床で実践しながら学ぶ機会となり、テュートリアルや TBL で体得した考える力は、卒業までに医師として考える力の継続的な向上につながっていく。

Team-based learning (TBL) について

科目責任者：中村 真一（消化器内科学）

※2021年度は新型コロナウイルス感染症の状況により適宜内容の変更を行う。

TBL の特徴

1. 予習（事前学修）を前提としている。
2. 個人で考えた後、チーム内で問題点についての討議を行い、全体セッションでチーム間の討議と教員の解説を行う学生参加型の授業。
3. 1人もしくは2人の教員がすべてのチームを管理。
4. 教員は司会者および専門家として機能する。
5. 学生同士が「チームへの貢献度」を互いに評価する。

本学での目的

S6では、診療上の問題発見・解決の中で、臓器・器官系の構造と機能の正常と異常について学修する。さらに医学的知識のみならず、患者・家族の心理、患者支援・医療費など社会とのつながり、疫学・公衆衛生についても学修する。これまで「診療問題解決型テュートリアル」として行われてきた内容を TBL という学修法で学ぶ。」

TBL の概要

事前学修に始まる以下の3つのプロセスで構成される。

I. 予習

事前に学修すべき項目が提示される。

項目に沿って個々に事前学修する。

II. 基本ユニット

個人テスト

- ・ 学修項目に従って予習の知識の確認（予習確認テスト）
- チーム内討論とチームテスト
- ・ 個人テストと同じ設問に対し、チーム内で検討し、チームとしての解答を作成
- チーム間討論とフィードバック
- ・ チームテストの結果をもとに、クラス全体で討論
 - ・ 専門家によるフィードバック（理解の不十分な点の解説）

III. 応用ユニット

予習した学修項目を基に、応用的・発展的問題解決
 応用テストにおいてII.基本ユニットと同様の内容の繰り返し

TBLの進行（1回の授業）

I. 予習 II. 基本ユニット III. 応用ユニット

予習 (クラス前)	基礎知識の確認 予習確認テスト・討論		応用・発展的問題解決 応用テスト・討論	
個人学修	個人テスト		個人テスト	
		チーム内討論 チームテスト		チーム内討論 チームテスト
		チーム間討論 教員によるフィードバック		チーム間討論 教員によるフィードバック

具体的な進め方

進行の仕方

以下のIからIIIのプロセスを1回の授業として、2~4回繰り返し1つの課題を学ぶ。

I. 予習

事前に配布された事前学修項目を含む予習シートおよび予習資料に沿って、学生は個々に自己学修を行う。

II. 基本ユニット

1. 個人テスト

- ・ 事前学修の到達度の確認をするために、個人テスト（予習確認テスト）を施行する。レスポンスアナライザーで解答する。

2. チーム内討論とチームテスト

- ・ 個人テストと同じ設問について、チーム内で検討し、レスポンスアナライザーで解答する。

- ・ 答えを導いた思考過程についてはチーム解答用紙に記入する。
3. チーム間討論
- ・ 回答が出揃った後にレスポンスアナライザーで集計したチームの解答状況を表示する。
 - ・ チーム毎に発表を行い、クラス全体で討論する。
 - ・ 問題の正解について、異論があればチームとしてその根拠を示すことができる（アピール）。アピールは原則としてチーム解答用紙に思考過程を記載して提出し、後から専門家が判断する。
4. 専門家によるフィードバック
- ・ チームの解答を討論後、理解の不十分であった点について、専門家よりクラス全体にフィードバックする。
- III. 応用ユニット
- ・ 予習シート（事前学修項目）、予習資料、予習確認テスト、新たな資料などをもとに発展的・応用的問題について、個人テスト（応用テスト）・チーム内討論とチームテスト・チーム間討論・フィードバックを行う。
- IV. アセスメント
- ・ 課題終了時にアセスメントシートに記載する形で、自己評価、同僚評価を行う。
- V. 評価
- ・ 個人テストの正答率とともに、チームテストの正答率および同僚評価(学生同士による「チームへの貢献度」評価)から評価を行う。評点は5点満点で、課題毎に評価が行われる。
 - ・ 講義開始時のレスポンスアナライザー端末への学生証の設置をもって、出欠をとるものとする。それ以降はすべて遅刻とみなす。
これら欠席・遅刻・早退は学生評価から減点される。やむを得ない事情で欠席する場合は欠席届（病気欠席の場合は診断書を添付）を医学部学務課に提出する。届けの提出された欠席については、学年教育委員長が減点について判断する。
 - ・ 評点と欠席・遅刻・早退の評価が加味され、最終的には学年教育委員会で検討され、医学部教授会で決定される。全課題の評点の平均が2点未満の場合は進級できない。
 - ・ 同チームの学生同士の評価として、上記「チームへの貢献度」のほか、自己学修や協働学修についての自己評価および同僚評価を行う場合もある（みんなの評価）。

授業としての一般的遵守事項

1. TBLは授業であるので飲食は行わない。
2. 教科書・資料の持ち込みは許可するが、個人のテスト中の使用は不可とする。
3. 個人テスト、チームテストともに個人成績に反映されるものであり、一般の試験と同様に真摯な態度で受けること。

用語解説

専門家：課題を作成し、TBL 施行時にその課題について専門的な解説を行う役割を担う教員

司会者：TBL の進行役を担う教員（専門家が兼ねることがある）

予習資料：初回は症例の簡単な現病歴と症候などの症例背景について記載されたシート。それ以降は次回の授業にあたって必要な症例の臨床経過などについて記載されたシートや症例に関する検査所見、画像など

予習シート：TBL のための予習すべき学修項目が記載されたシート（予習資料に記載されることもある。）

資料：授業の流れに応じて、必要な症例の臨床経過などのシート、検査データ、画像などの資料

基本ユニット：TBL の授業時間の中で、事前学修項目と予習資料をもとに、基本的知識・概念を学修する部分。授業の初めに行われる。

応用ユニット：TBL の授業時間の中で、基本ユニット終了後に行われる発展的・応用的課題に取り組む部分。

個人テスト：個人で解答するテスト（予習確認テストと応用テストに分かれる）。個人テストはノート、教科書、参考書を見ることなく、自分の力で解答する。

チームテスト：チームで行うテスト。内容は個人テストと同じ。

予習確認テスト：TBL 開始前（TBL 実施中は前回授業の最後）に示される学修項目についての自己学修・予習の知識を確認する、TBL 授業開始直後に行う試験。

応用テスト：毎回の授業で基本的知識・概念を確認した後に、応用的・発展的内容について問う試験。

チーム解答用紙：チーム内で検討し導き出された解答に対して、その思考過程、根拠などを記載する用紙。下記のアピールにも使用する。

チーム内討論：原則としてチームテストとして与えられた問題について、チーム内で検討するための討論。ただし、講義の進行によっては、専門家からその場で質問が発せられ、個人あるいはチームで解答する場合もある。

チーム間討論：チームテスト終了後、各チームの回答をもとに、解答の違い、解答の根拠をチーム間で討論する機会。司会者または専門家が進行する。

フィードバック：チーム内討論、チーム間討論での学生の問題解決に対して、専門家がコメントを述べ、合理的、妥当な問題解決を示す。

アピール：チームテストの結果で、自分のチームの解答が正解とされなかったとき、根拠を示して解答が正しい、あるいは正解を絞ることが不可能であることを論理的に説明すること。その内容をチーム解答用紙に記載して提出し、アピールの内容について専門家が認めればその設問を正解したとみなされる。

[TBL]

回	日程	曜日	時間	講義内容	教室	講義担当者
1	2026/9/1	火	12:30-13:40	オリエンテーション	201講義室	脳神経内科 飯嶋 陸
2	2026/9/7	月	10:00-11:40	課題1	PC室1	脳神経内科 藤堂 謙一
3	2026/9/10	木	10:00-11:40	課題2	PC室1	脳神経内科 星野 岳郎
4	2026/9/17	木	10:00-11:40	課題3	PC室1	脳神経外科 岡 美栄子
5	2026/9/24	木	10:00-11:40	課題4	PC室1	脳神経外科 岡 美栄子
6	2026/9/28	月	10:00-11:40	課題5	PC室1	神経精神科 鈴木 龍
7	2026/10/1	木	10:00-11:40	課題6	PC室1	神経精神科 鈴木 龍
8	2026/10/5	月	10:00-11:40	課題7	PC室1	整形外科 井上 知久
9	2026/10/8	木	10:00-11:40	課題8	PC室1	整形外科 井上 知久
10	2026/10/15	木	10:00-11:40	課題9	PC室1	眼科 長谷川 泰司
11	2026/10/19	月	10:00-11:40	課題10	PC室1	眼科 長谷川 泰司
12	2026/10/26	月	10:00-11:40	課題11	PC室1	耳鼻咽喉科 山村 幸江
13	2026/10/29	木	10:00-11:40	課題12	PC室1	耳鼻咽喉科 山村 幸江
14	2026/11/5	木	10:00-11:40	課題13	PC室1	皮膚科 竹中 祐子
15	2026/11/12	木	10:00-11:40	課題14	PC室1	皮膚科 山上 淳

V S5, S6 学年教育委員会・学生アドバイザー・学生委員

S5 教育委員会

委員長	大月道夫	教授	(内科学 (内分泌内科学分野)) 主担当 S5
副委員長	岡崎賢	教授	(整形外科学 (整形外科学分野)) 主担当 S6
委員	山口茂樹	教授	(外科学 (消化管外科学分野))
	中井陽介	教授	(内科学 (消化器内科学分野))
		教授	(内科学 (液性病態制御内科学分野))
	長尾元嗣	教授	(内科学 (糖尿病・代謝内科学分野))
		教授	(小児科学 (小児科学分野))
	小川哲也	教授	(足立医療センター 内科)

S6 教育委員会

委員長	岡崎賢	教授	(整形外科学 (整形外科学分野)) 主担当 S6
副委員長	大月道夫	教授	(内科学 (内分泌内科学分野)) 主担当 S5
委員		教授	(外科学 (脳神経外科学分野))
		教授	(精神医学 (精神医学分野))
	水足邦雄	教授	(耳鼻咽喉科学 (耳鼻咽喉科学分野))
		教授	(眼科学 (眼科学分野))
		教授	(皮膚科学 (皮膚科学分野))
	藤堂謙一	教授	(内科学 (脳神経内科学分野))
	宮田麻理子	教授	(生理学 (神経生理学分野))

テュートリアル委員会・TBL委員会

委員長	中村真一	教授	(内科学 (消化器内科学分野))
副委員長	飯嶋睦	教授	(内科学 (脳神経内科学分野))
	山村幸江	准教授	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野)
	越野一朗	講師	(統合教育学修センター 基礎科学)
委員	大森久子	講師	(足立医療センター 内科)
"	高木聡	助教	(糖尿病・代謝内科学分野)
"	森本聡	准教授	(足立医療センター 内科)
"	小川真平	准教授	(外科学 (消化管外科学分野))
"	衛藤薫	講師	(足立医療センター 小児科)

「至誠と愛」の実践学修教育委員会

委員長	野原理子	教授	(衛生学公衆衛生学 (公衆衛生学分野 公衆衛生学部門))
副委員長	柳澤直子	教授	(微生物学免疫学 (微生物学免疫学分野))
	西井明子	教授	(統合教育学修センター)
	横田仁子	准教授	(学生健康管理室)

研究プロジェクト教育委員会

委員長	藤枝弘樹	教授	(解剖学 (神経分子形態学分野))
副委員長		教授	()

国際コミュニケーション委員会

委員長	長坂安子	教授	(麻酔科学 (麻酔科学分野))
副委員長代理	佐藤明可	講師	(統合教育学修センター 基礎教育学)

AI・データサイエンスと医療教育委員会

委員長	正宗賢	教授	(先端生命医科学研究所)
副委員長	野原理子	教授	(衛生学公衆衛生学 (公衆衛生学分野 公衆衛生学部門))

学生委員

学年担当	水足邦雄	教授	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野)
------	------	----	------------------

VI 選択科目

選択科目履修要領（第1～第4学年）

1. 科目名(23科目)

初級ドイツ語	初級中国語	心理学	物理学
初級フランス語	倫理学	医療人のための経済学	化学
English for Medical Professionals	文化人類学	医療人のための法学	食と栄養の科学
Preparation for Study Abroad	女性とジェンダー	医療と社会デザイン	医学情報学
医療英語 (Medical English)	哲学	数学	フィットネスの理論と実技
初級韓国語	歴史学	生物学	

2. 開講期間・曜日・時限

開講期間は各科目とも半年間です。その時期は前期を4/22から9/30、後期は10/7から翌年2/3までの水曜日5限（15：20～16：30）、6限（16：45～17：55）に開講する。

3. ガイダンスおよび履修登録について

・**ガイダンス** 新入生オリエンテーション時に実施します。学修の手引きを参照の上、履修登録を行うこと。

・履修登録について

1 年生前期：

新入生オリエンテーション時に配布する学修の手引きをよく読み、Google フォームにて出席番号、氏名を入力し、履修希望科目を選び、送信すること。

登録期間は4月10日(金)12:30まで

- ※1. 期間厳守のこと。その後の申請は一切認めない。
- 2. Google フォームにて履修申請し、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。
- 3. 科目によって受講者数を制限することがある。
- 4. 登録結果および各科目の講義室は、開講日までに学生ポータルサイト1年総合掲示板に掲載する。
- 3. により登録されなかった科目があった場合の指示もこの時に掲載する。

1 年生後期、および2～4年(前・後期)：

新学年ポータルサイトからのweb登録のみ受付を行う。

登録方法の詳細は登録期間前に各学年の総合掲示板に掲載する。

登録期間は次のとおり。

前期分…4月1日(水)～4月10日(金)12:30まで（期間を過ぎると登録できない。）

後期分…8月24日(月)～9月3日(木)12:30まで（ ” ” ）

- ※1. web登録を行い、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。
- 2. 受講者数の制限、登録結果等の掲載方法は上記と同様

4. 履修認定について

各科目は2単位(半年間)の科目を4年次の前期までにのべ6科目以上(12単位以上)履修しなければならない。

そのうち2科目以上は人文科学系もしくは社会科学系の科目(学生便覧:学則第9条関係別表I)とする。

各科目の講義内容は、前期・後期が同じ場合も異なる場合もある。この場合、同一科目でも内容あるいは段階が異なるものなら2科目と認められる。なお、他大学での既修得単位を認定する場合がある。(以上、**学生便覧参照**)

5. 履修登録完了後は、その取り消しおよび変更は認めない。

6. 選択科目の成績は及落判定の対象となる。ただし、ある学年で選択科目が不合格の場合、上級学年で単位を取得できると認められるときに限って、及落には特別の配慮を行うことがある。

7. なお、第2～第4学年では、上記12単位の他に指定する他大学のオープン科目(自由選択)の中からさらに受講することができる。取得した単位は、東京女子医科大学医学部では増加単位として認められる。(卒業単位へは算入されない)

医学部 選択科目時間割

前 期

【水曜 5限 15:20～16:30】

前 期 (4月22日～9月30日)	
初級フランス語Ⅰ ()	令和8年度は非開講
English for Medical Professionals Ⅰ (岡野)	
Preparation for Study Abroad Ⅰ (大野)	
医療英語 (Medical EnglishⅠ) (遠藤)	(共通)
初級中国語Ⅰ (館)	(共通)
哲学A (山野)	(共通)
医療人のための法学A (中島)	(共通)
医療と社会デザインA (山本)	
医学情報学 (田村)	
心理学A (大塚)	
フィットネスの理論と実技A (沢田)	※

【水曜 6限 16:45～17:55】

前 期 (4月22日～9月30日)	
初級ドイツ語Ⅰ (伊藤)	(共通)
初級韓国語Ⅰ (朴)	(共通)
倫理学A (磯部)	(共通)
歴史学A (菅原)	(共通)
医療人のための経済学A (大石)	(共通)
数学A (小野木)	
フィットネスの理論と実技B (沢田)	※

(共通) は看護学部との共通科目です。

※「フィットネスの理論と実技」の5限と6限は同じ内容です。どちらか1つしか履修できません。

後 期

【水曜 5限 15:20～16:30】

後 期 (10月7日～2月3日)	
初級フランス語Ⅱ ()	令和8年度は非開講
English for Medical Professionals Ⅱ (岡野)	
Preparation for Study Abroad Ⅱ (大野)	
医療英語 (Medical EnglishⅡ) (遠藤)	(共通)
初級中国語Ⅱ (館)	(共通)
哲学B (山野)	(共通)
医療人のための法学B (辻村)	(共通)
医療と社会デザインB (山本)	
生物学 (後期) (石井)	
物理学 (後期) B (辻野)	
化学 (後期) (越野)	

【水曜 6限 16:45～17:55】

後 期 (10月7日～2月3日)	
初級ドイツ語Ⅱ (伊藤)	(共通)
初級韓国語Ⅱ (朴)	(共通)
倫理学B (磯部)	(共通)
歴史学B (菅原)	(共通)
医療人のための経済学B (大石)	(共通)
数学B (小野木)	
物理学 (後期) A (辻野)	
心理学B (佐藤)	
食と栄養の科学 (松井)	

<看護学部の開講科目>

【水曜 5限 15:15～16:25】

【水曜 5限 15:15～16:25】

※授業開始時間が医学部開講科目と異なりますので、ご注意ください。

前 期 (4月22日～9月30日)	
文化人類学A (宍戸)	※ (共通)
女性とジェンダーA (平川)	※ (共通)

後 期 (10月7日～2月3日)	
文化人類学B (宍戸)	※ (共通)
女性とジェンダーB (平川)	※ (共通)

※「文化人類学」と「女性とジェンダー」の前期と後期は同じ内容です。どちらか1つしか履修できません。

VII 講義・実習時間割表

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 1 週	8 / 24 月		(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 研究プロジェクト	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1		
			2 脳血管、髄膜、脳脊髄液	3 脊髄、脊髄神経	4 脳幹、脳神経				アントレプレナーシップ	1 科目の概要			
			(解剖学(神経分子形態学分野)本多)	(解剖学(神経分子形態学分野)本多)	(解剖学(神経分子形態学分野)本多)				落合 健志様予定 ()	(脳神経内科学 藤堂)			
	8 / 25 火	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1		
		小脳	6 小脳の機能と運動制御	7 大脳基底核の機能	10 間脳、大脳基底核	8 大脳皮質運動野の機能・運動制御まとめ	17 脳の正常画像(II) CT・MRI						
		(解剖学(神経分子形態学分野)本多)	(生理学(神経生理学分野)児玉)	(生理学(神経生理学分野)宮田)	(解剖学(神経分子形態学分野)本多)	(生理学(神経生理学分野)児玉)	(画像診断学・核医学 阿部 香代子)						
	8 / 26 水		(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(選択科目)	(選択科目)		
		11 終脳	13 脳幹機能	12 間脳、大脳皮質の機能	15:20~16:30	16:45~17:55							
		(解剖学(神経分子形態学分野)本多)	(足立医療センター 脳神経外科 久保田)	(生理学(神経生理学分野)加世堂)									
8 / 27 木	(講義) 201講義室 国際コミュニケーション Review	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1			
	(基礎教育学 大野)(麻酔科 岡野)(基礎教育学 佐藤 明可) □ □	23 神経系の補助診断検査(I)	14 伝導路(I)感覚器系(上行性)伝導路	15 伝導路(II)運動系(下行性)伝導路									
		(医療安全科・脳神経内科学 清水)(脳神経内科学 飯嶋)	(解剖学(神経分子形態学分野)本多)	(解剖学(神経分子形態学分野)本多)									
8 / 28 金	(講義) 201講義室 脳神経系1		(講義) 201講義室 脳神経系2	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1	(講義) 201講義室 脳神経系1			
	16 脳の正常画像(I) 核医学		49 中枢神経系 RI診断	24 神経の分化と回路形成の分子機構	18 神経症候学								
	(画像診断学・核医学 金子)		(画像診断学・核医学 金子)	(生化学 中村)	(脳神経内科学 藤堂)								
8 / 29 土													

令和7年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I	II	III	IV	V	VI
	09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第 2 週	8 / 31 月	(実習)※解剖実習室 基礎系実習1 脳神経系1 1, 2, 3 解剖1 中枢(解剖)脳全景・髄膜・血管系 (解剖学(神経分子形態学分野) 藤枝、本多、蔭池、齋藤)		(実習)※解剖実習室 基礎系実習1 脳神経系1 4, 5, 6 解剖2 中枢(解剖)小脳・脳幹 (解剖学(神経分子形態学分野) 藤枝、本多、蔭池、齋藤)		
	9 / 1 火	(講義) 201講義室 脳神経系2 14 脳腫瘍の病理 (病理学(人体病理学・ 病態神経科学分野) 箱崎)	(講義)201講義室 脳神経系1 22 神経系の補助診 断検査(II) (脳神経内科学 飯嶋)	(TBL) 201講義室 TBLオリエンテーション (脳神経内科学 飯嶋)		
	9 / 2 水	(講義)201講義室 脳神経系2 6 鎮痛薬・抗炎症薬 (薬理学 瀧田)	(講義)201講義室 脳神経系2 8 小児のけいれん性 疾患 (小児科学 伊藤 進)	(講義)201講義室 脳神経系1 26 意識障害と脳死 (脳神経外科学 江口)	(選択科目) 15:20~16:30	(選択科目) 16:45~17:55
	9 / 3 木	(実習)※解剖実習室 脳神経系1 基礎 7, 8 解剖3 中枢(解剖)間脳・終脳 (解剖学(神経分子形態学分野) 藤枝、本 多、齋藤、蔭池)		(実習)※解剖実習室 脳神経系1 基礎 9, 10, 11 解剖4 中枢(解剖)大脳の内景・脊髄 (解剖学(神経分子形態学分野) 藤枝、本多、齋藤、蔭池)		
	9 / 4 金					
	9 / 5 土					

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I	II	III	IV	V	VI	
	09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45	
第 3 週	9 / 7 月	(TBL) 9:00-10:00 自己学修	(TBL) PC室1 10:00-11:40 TBL課題1 脳神経内科① (脳神経内科学 藤堂)	(TBL) 12:30-13:30 自己学修	(講義)201講義室 脳神経系1 27 ニューロンとグリア の細胞病理学(Ⅰ) (病理学(人体病理学・ 病態神経科学分野) 倉田)	(講義)201講義室 脳神経系1 28 ニューロンとグリア の細胞病理学(Ⅱ) (病理学(人体病理学・ 病態神経科学分野) 倉田)	(講義)201講義室 健康管理 女性のライフステージ と健康管理 (学生健康管理室 横田)
	9 / 8 火		(講義) 201講義室 脳神経系1 9 自律神経中枢、内 臓機能の調節 (生理学(神経生理学 分野)宮田)	(講義)201講義室 研究プロジェクト アントレプレナーシップ 2 落合 健志様予定 ()	(実習) ※PC室1・大実習室2 基礎系実習1 脳神経系1 15, 16, 17 神経生理実習1 (生理学(神経生理学分野)宮田、植田、河村、丸山、児玉、加世堂、夏堀) (生理学(分子細胞生理学分野)吉田、(総合医科学研究所 末廣)、(総合教 育学修センター 基礎教育学 伊豆原、中村)、 中央検査部 松山ひと み、肥田瑩 悠美子)		
	9 / 9 水	(講義)201講義室 脳神経系2 10神経血管障害の病理(1) (病理学(人体病理学・ 病態神経科学分野) 箱崎)	(講義)201講義室 脳神経系2 7 小児の神経疾患 (小児科学 小平)		(講義) 201講義室 脳神経系2 11 神経血管障害の 病理(2) 病理学(人体病理学、 病態神経科学分野) 箱崎)	(選択科目) 15:20～16:30 前期V-14	(選択科目) 16:45～17:55 前期VI-14
	9 / 10 木	(TBL) 9:00-10:00 自己学修	(TBL) PC室1 10:00-11:40 TBL課題2 脳神経内科② (脳神経内科 星野)	(TBL) 12:30-13:30 自己学修		(講義)201講義室 脳神経系2 3 脳・脊髄の感染症 (1) (脳神経内科学 池口)	
	9 / 11 金		(講義) 201講義室 脳神経系1 25 神経系の発達症 候学 (小児科学 中務)	(実習) ※PC室1・大実習室2 脳神経系1 基礎系実習1 18, 19, 20 神経生理実習2 (生理学(神経生理学分野)宮田、植田、河村、丸山、児玉、加世堂、夏堀) (生理学(分子細胞生理学分野)中村、末廣、吉田、伊豆原) 中央検査部 松山ひとみ、肥田瑩 悠美子)			
	9 / 12 土						

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 4 週	9 / 14 月	(講義)201講義室 脳神経系2 29 定位放射線手術 (ガンマナイフ) (脳神経外科学 堀場)	(講義)201講義室 脳神経系2 26 神経系外傷 (聖路加国際病院 脳 神経外科 川島)	(実習) ※PC室1・大実習室2 基礎系実習1 脳神経系1 21, 22, 23 神経生理実習3 (生理学(神経生理学分野)宮田、植田、河村、丸山、児玉、加世堂、夏堀) (生理学(分子細胞生理学分野)中村、末廣、吉田、伊豆原) 中央検査部 松山ひとみ、肥田埜 悠美子								
	9 / 15 火	(講義)201講義室 脳神経系2 5 癌・集学的治療に おける放射線治療の 役割 (放射線腫瘍学 大松)			(実習) ※PC室1・大実習室2 基礎系実習1 脳神経系1 24, 25, 26 神経生理実習4 (生理学(神経生理学分野)宮田、植田、河村、丸山、児玉、加世堂、夏堀) (生理学(分子細胞生理学分野)中村、末廣、吉田、伊豆原) 中央検査部 松山ひとみ、肥田埜 悠美子							
	9 / 16 水		(講義)201講義室 脳神経系2 9 脳腫瘍の放射線治 療 (放射線腫瘍学 橋本)		(講義) 201講義室 脳神経系2 16 脳血管障害(1) (脳神経内科学 藤堂)				(選択科目) 15:20～16:30 前期V-15		(選択科目) 16:45～17:55 前期VI-15	
	9 / 17 木	(TBL) 9:00-10:00 自己学修	(TBL) PC室1 10:00-11:40 TBL課題3 脳神経外科① (脳神経外科 岡)	(TBL) 12:30-13:30 自己学修								
	9 / 18 金	(講義) 201講義室 脳神経系2 2 脊椎・脊髄(1) (脳神経外科学 清水)	(講義) 201講義室 脳神経系2 12 神経血管障害の 病理(3) (病理学(人体病理学・ 病態神経科学分野) 箱崎)	(講義) 201講義室 脳神経系2 20 周生期脳障害 (小児科学 中務)	(講義) 201講義室 脳神経系2 22 神経系感染症の 病理(1) (病理学(人体病理学・ 病態神経科学分野) 箱崎)							
	9 / 19 土											

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I	II	III	IV	V	VI						
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第5週	9 / 21 月	敬老の日										
	9 / 22 火	国民の休日										
	9 / 23 水	秋分の日										
	9 / 24 木	(TBL) 9:00-10:00 自己学修	(TBL) PC室1 10:00-11:40 TBL課題4 脳神経外科② (脳神経外科 岡)	(TBL) 12:30-13:30 自己学修	(講義・ワークショップ)※講義室 201,202,205,206 「至誠と愛」の実践学修 薬害を考える「看護学部生と考える」 (血液浄化療法科 花房)(医療安全科 松村) (看護学部 吉武、南)(薬剤部 塩川) (イレッサ薬害被害者の会 代表 近澤)							
	9 / 25 金	(講義) 201講義室 脳神経系2 15 頭痛 (脳神経外科学 野中)	(講義) 201講義室 脳神経系2 23 神経系感染症の病理(2) (病理学(人体病理学・病態神経科学分野) 箱崎)	(講義)201講義室 脳神経系2 41 先天奇形 (足立医療センター小児科 衛藤)	(講義) 201講義室 国際コミュニケーション Case Presentation 1 統合教育学修センター (基礎教育学 大野) (基礎教育学 佐藤) (麻酔科 岡野)	(講義・ワークショップ) 講義室201,202 「至誠と愛」の実践学修 キャリアを考える(3) 「女性医師のロールモデル実習 振り返りWS」 (学生健康管理室 横田)(小児科学 石垣)						
	9 / 26 土											

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 6 週	9 / 28 月	(TBL) 9:00-10:00 自己学修	(TBL) PC室1 10:00-11:40 TBL課題5 神経精神科② (神経精神科 鈴木)	(TBL) 12:30-13:30 自己学修	(講義) 201講義室 脳神経系2 18 フロッピーインファント (小児科学 石垣)	(講義) 201講義室 脳神経系2 24 神経系感染症の 病理(3) (病理学(人体病理学・ 病態神経科学分野) 箱崎)						
	9 / 29 火	(講義) 201講義室 脳神経系2 31 神経変性疾患の 病理(1) 病理学(人体病理学・ 病態神経科学分野) 箱崎	(講義) 201講義室 脳神経系2 25 小児脳神経外科 疾患 (脳神経外科学 千葉)	(実習)※実習室3 脳神経系1 基礎系実習1 12, 13, 14 中枢神経系の微細構造(組織学) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 石津、横溝、菊田、望月、矢作、 駒井) (統合教育学修センター(基礎科学)石井、浦瀬)								
	9 / 30 水		(講義) 201講義室 脳神経系2 21 てんかん (足立医療センター 脳神経外科 久保田)						(選択科目) 15:20~16:30 後期V-2		(選択科目) 16:45~17:55 後期VI-2	
	10 / 1 木	(TBL) 9:00-10:00 自己学修	(TBL) PC室1 10:00-11:40 TBL課題6 整形外科① (神経精神科 鈴木)	(TBL) 12:30-13:30 自己学修	(講義) 201講義室 脳神経系2 47 脱随性疾患 (医療安全科・ 脳神経内科学 清水)							
	10 / 2 金		(講義) 201講義室 脳神経系2 32 神経変性疾患の 病理(2) (病理学(人体病理学・ 病態神経科学分野) 箱崎)	(講義) 201講義室 脳神経系2 50 出血性脳血管障害 (脳神経外科学 石 川)	(実習)※実習室3 脳神経系2 基礎系実習1 1, 2 神経系の病理(1) (病理学(人体病理学・病態神経科学分野) 倉田、箱崎) (病理診断学 山本)							
	10 / 3 土											

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 7 週	10 / 5 月	(TBL) 9:00-10:00 自己学修	(TBL) PC室1 10:00-11:40 TBL課題7 整形外科② (整形外科 井上 知久)	(TBL) 12:30-13:30 自己学修	(講義) 201講義室 脳神経系2 53 末梢神経疾患 (脳神経内科学 鈴木)	(講義) 201講義室 脳神経系2 38 小児期発症の変性疾患(脳白質変性を中心に) (小児科学 伊藤 康)	(TBL) 12:30-13:30 自己学修	(講義) 201講義室 脳神経系2 52 間脳下垂体 (脳神経外科学 天野)	(講義) 201講義室 国際コミュニケーション Case Presentation 2 統合教育学修センター (基礎教育学 大野) (基礎教育学 佐藤) (麻酔科 岡野)□				
	10 / 6 火				(講義) 201講義室 脳神経系2 19 脳腫瘍 悪性腫瘍 (脳神経外科学 丸山)	(講義) 201講義室 脳神経系2 35 脳腫瘍 良性腫瘍 (脳神経外科学 江口)	(講義) 201講義室 脳神経系2 30 脳・脊髄感染症の外科 (脳神経外科学 江口)	(実習) ※大実習室3 脳神経系2 基礎系実習1 3, 4 神経系の病理(2) (病理学(人体病理学・病態神経科学分野) 倉田、箱崎) (病理診断学 山本)	(選択科目) 15:20~16:30 後期V-3	(選択科目) 16:45~17:55 後期VI-3			
	10 / 7 水												
	10 / 8 木	(TBL) 9:00-10:00 自己学修	(TBL) PC室1 10:00-11:40 TBL課題8 耳鼻咽喉科① (整形外科 井上 知久)	(TBL) 12:30-13:30 自己学修	(講義) 201講義室 脳神経系2 45 中枢神経系の画像診断(3) (画像診断学・核医学 野口)	(講義) 201講義室 脳神経系2 42 運動ニューロン疾患 (脳神経内科学 武田)							
	10 / 9 金				(講義) 201講義室 脳神経系2 40 先天神経奇形の病理 (病理診断科 箱崎)								
	10 / 10 土												

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I	II	III	IV	V	VI	
	09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45	
第8週	10 / 12 月	スポーツの日					
	10 / 13 火	(講義) 201講義室 脳神経系2 27 変性疾患・遺伝性疾患(1) (脳神経内科学 飯嶋)	(講義) 201講義室 脳神経系2 39 脳血管障害の外科(1) (脳神経外科学 山口)	(実習)201講義室 研究プロジェクト 個人情報の取扱い (未定)	(講義) 201講義室 脳神経系2 46 筋疾患 (脳神経内科学 鈴木)		
	10 / 14 水		(講義) 201講義室 脳神経系2 48 内科疾患と神経障害 (脳神経内科学 原)	(講義) 201講義室 脳神経系2 51 機能的脳神経外科 (脳神経外科学 金)	(選択科目) 15:20～16:30 後期V-4	(選択科目) 16:45～17:55 後期VI-4	
	10 / 15 木	(TBL) 9:00-10:00 自己学修	(TBL) PC室1 10:00-11:40 TBL課題9 (眼科 長谷川)	(TBL) 12:30-13:30 自己学修	(講義)201講義室 脳神経系2 43 筋細胞の分子遺伝学(1) (ゲノム診療科 荒川)		
	10 / 16 金	(講義・演習)201講義室 AI・データサイエンスと医療 5 コホート研究・症例対照研究 (衛生学公衆衛生学 野原)	(講義・演習)201講義室 AI・データサイエンスと医療 6 ランダム化比較試験・システムティックレビュー・メタ分析 (衛生学公衆衛生学 野原)	(講義)201講義室 「至誠と愛」の実践学修 医療行為における法と倫理 (国立がん研究センター 一家)	(講義) 201講義室 精神系 1 科目の概要／精神科診断学総論 (精神医学 押淵)	(講義)201講義室 精神系 5 心の脳科学 (生理学(神経生理学分野) 夏堀)	(講義) 201講義室 精神系 7 脳内活性物質・神経伝達物質 (生化学 中村)
	10 / 17 土						

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 9 週	10 / 19 月	(TBL) 9:00-10:00 自己学修	(TBL) PC室1 10:00-11:40 TBL課題10 (眼科 長谷川)	(TBL) 12:30-13:30 自己学修	(講義)201講義室 精神系 4 精神機能と画像 (画像診断学・核医学 坂井)	(講義)201講義室 精神系 6 精神症状学 (精神医学 押淵)							
	10 / 20 火	(講義)201講義室 精神系 3 精神科の診察法 (八千代医療センター 心身医療科 高橋)	(講義)201講義室 精神系 2 学習と記憶のメカニ ズム (生理学 (神経生理学分野) 宮田)	(実習)※大実習室3 基礎系実習1 脳神経系2 5, 6 神経系の病理(3) (病理学(人体病理学・病態神経科学分野) 倉田、箱崎) (病理診断学 山本)									
	10 / 21 水	(講義)201講義室 精神系 9 器質性精神障害・ 物質誘発性精神障害 (精神医学 押淵)		(講義・演習) ※PC室1 AI・データサイエンスと 医療 7 医学研究における 文献検索1 (衛生学公衆衛生学 野原、 三木、永峰)(統合教育学修 センター 西井)(図書館 加 藤、野田、重川、田部)	(講義・演習) ※PC室1 AI・データサイエンスと 医療 8 医学研究における 文献検索2 (衛生学公衆衛生学 野原、 三木、永峰)(統合教育学修 センター 西井)(図書館 加 藤、野田、重川、田部)	(選択科目) 15:20～16:30 後期V-5	(選択科目) 16:45～17:55 後期VI-5						
	10 / 22 木	女子医大祭の準備											
	10 / 23 金	女子医大祭											
10 / 24 土	女子医大祭												

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第10週	10/26 月	(TBL) 9:00-10:00 自己学修	(TBL) PC室1 10:00-11:40 TBL課題11 (耳鼻咽喉科 山村)	(TBL) 12:30-13:30 自己学修	(講義) 201講義室 「至誠と愛」の実践学修 医師としての判断力とは (学長 三谷)	(講義) 201講義室 精神系	(講義) 201講義室 精神系	(講義) 201講義室 精神系	(実習) 脳神経系1, 脳神経系2, 聴覚・耳鼻咽喉系, 眼・視覚系 * 臨床実習(1)				
	10/27 火	(講義) 201講義室 精神系 10 気分障害/自殺 (八千代医療センター 心身医療科 高橋)	(講義) 201講義室 精神系 22 認知症 (脳神経内科学 吉澤)	(実習) 201講義室 精神系 23 不安症・解離症 (精神医学 森田)	(講義) 201講義室 精神系	(講義) 201講義室 精神系	(実習) 201講義室 研究プロジェクト 研究倫理 グループワーク (研究推進センター 佐々木) (ゲノム診療科 松尾) (解剖学(神経分子形態学) 本多)	(選択科目) 15:20~16:30 後期V-6	(選択科目) 16:45~17:55 後期VI-6				
	10/28 水	(講義) 201講義室 精神系 25 老年期の精神障害 (精神医学 押淵)	(講義) 201講義室 精神系 16 睡眠覚醒障害 (精神医学 松井)	(TBL) PC室1 10:00-11:40 TBL課題12 (耳鼻咽喉科 山村)	(TBL) 12:30-13:30 自己学修	(講義) 201講義室 精神系 12 児童・青年期の精神障害 (精神医学 押淵)	(講義) 201講義室 精神系 19 摂食障害およびアルコール・物質関連障害 (精神医学 加茂)	(講義) 201講義室 精神系	(講義) 201講義室 精神系 11 パーソナリティと行動の障害 (精神医学 辻)				
	10/29 木	(TBL) 9:00-10:00 自己学修	(TBL) PC室1 10:00-11:40 TBL課題12 (耳鼻咽喉科 山村)	(TBL) 12:30-13:30 自己学修	(講義) 201講義室 精神系 17 抗精神病薬・抗うつ薬 (薬理学 梶 健二郎)	(講義) 201講義室 精神系 12 児童・青年期の精神障害 (精神医学 押淵)	(講義) 201講義室 精神系 19 摂食障害およびアルコール・物質関連障害 (精神医学 加茂)	(講義) 201講義室 精神系	(講義) 201講義室 精神系 11 パーソナリティと行動の障害 (精神医学 辻)				
	10/30 金	(講義) 201講義室 精神系 13 ストレス・トラウマ関連障害 (精神医学 加茂)											
	10/31 土												

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 11 週	11 / 2 月	(講義) 201講義室 脳神経系2 36 中枢神経系の画像 診断(1) (鹿児島大学 吉浦)	(講義) 201講義室 脳神経系2 37 中枢神経系の画像 診断(2) (鹿児島大学 吉浦)			(講義) 201講義室 精神系 18 統合失調症 (精神医学 村岡)	(講義) 201講義室 精神系 15 精神科治療:身体 療法・薬物療法 (精神医学 押淵)	(講義) 201講義室 精神系 24 リエゾン精神医学 (精神医学 押淵)				
	11 / 3 火	文化の日										
	11 / 4 水					(講義) 201講義室 眼・視覚系 1 視覚器概要 (眼科学 丸子)	(選択科目) 15:20~16:30 後期V-7	(選択科目) 16:45~17:55 後期VI-7				
	11 / 5 木	(TBL) 9:00-10:00 自己学修	(TBL) PC室1 10:00-11:40 TBL課題13 (皮膚科 竹中)	(TBL) 12:30-13:30 自己学修	(講義) 201講義室 精神系 21 精神科治療:社会 療法および社会援助 システム (精神医学 辻)							
	11 / 6 金		(講義) 201講義室 精神系 8 心身症 (精神医学 小笠原)	(講義) 201講義室 精神系 20 睡眠薬・抗不安薬 (薬理学 梶 健二郎)		(実習) 脳神経系1, 脳神経系2, 聴覚・耳鼻咽喉系, 眼・ 視覚系 * 臨床実習(3)						
	11 / 7 土											

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 12 週	11 / 9 月	(講義) 201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系	(講義) 201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系	(講義) 201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系	(講義) 201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系	(講義) 201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系	(講義) 201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系	(講義) 201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系	(実習) 脳神経系1, 脳神経系2, 聴覚・耳鼻咽喉系, 眼・視覚系	* 臨床実習(4)		
		1 科目の概要・耳科手術	2 感覚器組織学(聴覚)	3 味覚・嗅覚の信号伝達と情報処理	4 聴覚・平衡感覚の信号伝達と情報処理							
		(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 水足)	(解剖学(顕微解剖学・形態形成学)石津)	(生理学(神経生理学分野)植田)	(生理学(神経生理学分野)植田)							
	11 / 10 火		(講義)201講義室 眼・視覚系	(講義)201講義室 精神系	(講義)201講義室 眼・視覚系	(講義)201講義室 眼・視覚系	(実習)※実習室3 聴覚・耳鼻咽喉系 基礎系実習1					
			4 視覚器の病理	14 強迫症・身体症状症	1, 2, 3 解剖 感覚器(組織学)聴覚							
			(病理診断学 山本)	(精神医学 森田)	(解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 石津、横溝、菊田、望月、矢作、駒井) (統合教育学修センター(基礎科学)石井、浦瀬)							
11 / 11 水			(講義)201講義室 眼・視覚系	(講義)201講義室 眼・視覚系	(講義)201講義室 眼・視覚系	(講義)201講義室 眼・視覚系	(選択科目) 15:20~16:30	(選択科目) 16:45~17:55				
			2 視覚の信号伝達と情報処理(1)	3 視覚の信号伝達と情報処理(2)								
			(生理学(神経生理学分野)児玉)	(生理学(神経生理学分野)児玉)								
11 / 12 木	(TBL) 9:00-10:00 自己学修	(TBL) PC室1 10:00-11:40 TBL課題14 皮膚科学①	(TBL) 12:30-13:30 自己学修	(実習)201講義室 臨床系実習 精神系								
		(皮膚科 山上)		②心理教育								
				(精神医学 辻)								
11 / 13 金	(講義) 201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系		(実習)※大実習室3 基礎系実習1 脳神経系2	(実習) 脳神経系1, 脳神経系2, 聴覚・耳鼻咽喉系, 眼・視覚系	* 臨床実習(5)							
	5 耳科検査(1) 聴覚検査		7, 8 神経系の病理(4)									
	(足立医療センター耳鼻咽喉科 須納瀬)		(病理学(人体病理学・病態神経科学分野) 倉田、箱崎) (病理診断学 山本)									
11 / 14 土												

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 13 週	11 / 16 月		(講義) 201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 6 耳科検査(2) 平衡機能検査 (八千代医療センター 耳鼻咽喉科・小児耳鼻 咽喉科 門園)		(講義)201講義室 眼・視覚系 5 調節・屈折 (眼科学 丸子留佳)		(講義)201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 7 耳鼻咽喉科領域の 病理 (病理診断学 山本)		(実習)※実習室3 基礎系実習1 聴覚・耳鼻咽喉系 4, 5 眼科・耳鼻咽喉科疾患の病理 (病理学(人体病理学・病態神経科学分野) 倉田、有益) (病理診断学 山本)			
	11 / 17 火		(講義) 201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 8 画像診断 (画像診断学・核医学 齋藤 尚子)		(講義)201講義室 研究プロジェクト 研究プロジェクト直前 オリエンテーション (解剖学(神経分子形 態学)藤枝)		(講義)201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 9. 鼻アレルギー (耳鼻咽喉科学・頭頸 部外科学 瀬尾)		(実習) 脳神経系1, 脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・ 視覚系 * 臨床実習(6)			
	11 / 18 水	(講義)201講義室 眼・視覚系 11 網膜疾患(2)・全身 疾患と目 (眼科学 長谷川)	(講義)201講義室 眼・視覚系 12 ぶどう膜疾患 (眼科学 内村)	(講義)201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 10 外耳・中耳疾患 (耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学 中居)					(選択科目) 15:20～16:30 後期V-9	(選択科目) 16:45～17:55 後期VI-9		
	11 / 19 木	(講義)201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 11 鼻腔の解剖・生理・ 睡眠時無呼吸症候群 (耳鼻咽喉科学・頭頸 部外科学 渡邊)	(講義)201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 12 感音難聴 (耳鼻咽喉科学・頭頸 部外科学 水足)	(講義)201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 13 めまい疾患 (耳鼻咽喉科学・頭頸 部外科学 福嶋)			(実習) 201講義室 臨床系実習 精神系 ①精神科構造化面接とその実際 (精神医学 押淵)					
	11 / 20 金	(講義)201講義室 眼・視覚系 9 角膜疾患(2) (眼科学 梯)		(講義・演習)201講義室 AI・データサイエンスと 医療 9 臨床疫学指標 (衛生学公衆衛生学 野原)			(講義)201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 14 顔面神経麻痺 (耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学 富田)		(実習) 脳神経系1, 脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・ 視覚系 * 臨床実習(7)			
	11 / 21 土											

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I	II	III	IV	V	VI							
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 14 週	11 / 23 月												
	11 / 24 火	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00											
	11 / 25 水	(実習) 研究プロジェクト 09:00～15:05							(選択科目) 15:20～16:30 後期V-10	(選択科目) 16:45～17:55 後期VI-10			
	11 / 26 木	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00											
	11 / 27 金	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00											
	11 / 28 土												

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

		I	II	III	IV	V	VI						
		09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 15 週	11 / 30 月	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00											
	12 / 1 火	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00											
	12 / 2 水	(実習) 研究プロジェクト 09:00～15:05							(選択科目) 15:20～16:30 後期V-11		(選択科目) 16:45～17:55 後期VI-11		
	12 / 3 木	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00											
	12 / 4 金	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00											
	12 / 5 土	創立記念日											

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

		I	II	III	IV	V	VI						
		09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 16 週	12 / 7 月	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00											
	12 / 8 火	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00											
	12 / 9 水	(実習) 研究プロジェクト 09:00～15:05							(選択科目) 15:20～16:30 後期V-12		(選択科目) 16:45～17:55 後期VI-12		
	12 / 10 木	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00											
	12 / 11 金	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00											
	12 / 12 土												

令和7年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 17 週	12 / 14 月	(講義)201講義室 眼・視覚系 6 結膜疾患 (八千代医療センター 眼科 篠崎)	(講義)201講義室 眼・視覚系 7 眼瞼・涙器疾患 (八千代医療センター 眼科 篠崎)	(講義・ワークショップ)201講義室 「至誠と愛」の実践学修 キャリアを考える(7)「医師の多彩な働き方」 (学生健康管理室 横田) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野)石津) (特定医療法人研精会・社会福祉法人新樹会 山田) (大田区保健所 高橋)								(講義)201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 15 味覚・口腔疾患・ 唾液腺非腫瘍性疾患 (耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学 山村)
	12 / 15 火	(講義)201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 16喉頭疾患 (八千代医療センター 耳鼻咽喉科・小児耳鼻 咽喉科 三枝)		(講義)201講義室 眼・視覚系 8 角膜疾患(1)、強膜 疾患 (眼科学 長久保)	(実習) 脳神経系1, 脳神経系2, 聴覚・耳鼻咽喉系, 眼・ 視覚系 * 臨床実習(8)							
	12 / 16 水	(講義)201講義室 運動器系 1 科目の概要 運動 器の序論 (整形外科 岡崎)		(講義)201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 17 小児の耳鼻咽喉科 疾患) 耳鼻咽喉科・頭頸部外 科 水足 邦雄	(講義)201講義室 眼・視覚系 16 眼科検査・眼科最 先端の診断 (眼科学 丸子)	(選択科目) 15:20～16:30 後期V-12	(選択科目) 16:45～17:55 後期VI-12					
	12 / 17 木	(講義)201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 18 頭頸部良性疾患 (耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学 稲井)	(講義)201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 19 鼻・副鼻腔疾患・ 手術 (耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学 向井)	(講義)201講義室 運動器系 2 運動器の解剖(1) 骨の構造・生理・成長 (整形外科 岡崎)	(講義)201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 20 咽喉頭の感染症疾 患と異物・気管切開 (足立医療センター 耳鼻咽喉科 余田)	(講義)201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 21 耳鼻咽喉科領域の 外傷 (足立医療センター 耳鼻咽喉科 余田)	(講義)201講義室 皮膚粘膜炎 1 科目の概要、 皮疹の見方・皮膚免 疫・皮膚検査法 (皮膚科学 次期教授) もしくは 皮膚科学 山 上					
	12 / 18 金	(講義)201講義室 眼・視覚系 10 網膜疾患(1)・その 他の網膜硝子体疾患 (足立医療センター 眼科 関谷)	(講義)201講義室 国際コミュニケーション Case Presentaion 3 統合教育学修センター (基礎教育学 大野) (麻酔科 岡野)(タッドス タウト)		(講義)201講義室 運動器系 5 運動器の病理 骨 組織 (病理診断学 山本)							
	12 / 19 土											

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I	II	III	IV	V	VI						
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 18 週	1 / 4 月	冬季休業(終了)										
	1 / 5 火	(講義)201講義室 眼・視覚系 13 感覚器組織学(視覚) (解剖学(神経分子形態学) 齋藤)	(講義)201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 22 頭頸部腫瘍(1) (耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 中溝)		(実習) 脳神経系1, 脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・視覚系 * 臨床実習(9)							
	1 / 6 水	(講義)201講義室 聴覚・耳鼻咽喉系 23 頭頸部腫瘍(2) (耳鼻咽喉科・頭頸部外科 稲井)		(講義)201講義室 皮膚粘膜系 8 体表面の先天異常と治療 (形成外科学 本間)	(講義)201講義室 皮膚粘膜系 9 皮膚悪性腫瘍 (足立医療センター 皮膚科 栗原)	(選択科目) 15:20~16:30 後期V-12	(選択科目) 16:45~17:55 後期VI-12					
	1 / 7 木	(講義)201講義室 皮膚粘膜系 2 湿疹・接触皮膚炎 (皮膚科学 竹中)	(講義)201講義室 皮膚粘膜系 5 アトピー性皮膚炎 (皮膚科学 竹中)	(講義)201講義室 皮膚粘膜系 3 皮膚の構造(1) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 菊田)	(講義)201講義室 皮膚粘膜系 4 皮膚の構造(2) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 菊田)	(講義)201講義室 運動器系 8 整形外科診断学(身体計測を含む) (整形外科 猪狩)						
	1 / 8 金		(講義)201講義室 運動器系 3 結合組織の分子・代謝 (生化学 中村)	(講義)201講義室 運動器系 9 外傷学総論 (整形外科 伊藤)	(実習) 脳神経系1, 脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・視覚系 * 臨床実習(10)							
	1 / 9 土											

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I	II	III	IV	V	VI	
	09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45	
第 19 週	成人の日 1 / 11 月						
	(講義)201講義室 眼・視覚系 14 緑内障 (眼科学 五十嵐)	(講義)201講義室 眼・視覚系 15 水晶体疾患 (足立医療センター 眼科 須藤)	(講義)201講義室 運動器系 17 骨代謝と骨系統疾患 (整形外科学 富永)	(講義)201講義室 運動器系 24 関節リウマチ(類似 疾患を含む) (整形外科学 猪狩)	(実習) 脳神経系1, 脳神経系2, 聴覚・耳鼻咽喉系, 眼・ 視覚系 * 臨床実習(11)		
	1 / 13 水	(講義)201講義室 運動器系 20 脊柱疾患(3) (胸 椎疾患と脊柱側弯症) (八千代医療センター 整形外科 水谷)	(講義)201講義室 皮膚粘膜系 14 紅斑症・紫斑 (足立医療センター 皮膚科 梅垣)	(講義)201講義室 皮膚粘膜系 12 皮膚のウイルス感 染症(AIDSを含む)・梅 毒 (皮膚科学 小林)	(選択科目) 15:20~16:30 後期V-13	(選択科目) 16:45~17:55 後期VI-13	
	1 / 14 木	(講義)201講義室 運動器系 14 スポーツと運動器 (整形外科学 桑島)	(講義)201講義室 運動器系 13 上肢関節疾患(肩・ 肘) (整形外科学 桑島)	(講義)201講義室 運動器系 21 膝関節外傷 (整形外科学 岡崎)	(講義)201講義室 皮膚粘膜系 10 母斑・母斑症 (皮膚科学 福屋)	(講義)201講義室 皮膚粘膜系 13 皮膚良性腫瘍 (皮膚科学 福屋)	(講義)201講義室 皮膚粘膜系 6 皮膚血流障害と血管 炎 (皮膚科学 竹中)
	1 / 15 金	(実習)201・202・203講義室 研究プロジェクト ポスター発表会					
	1 / 16 土						

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 20 週	1 / 18 月		(講義) 201講義室 運動器系 28 筋骨格系の画像診断(1) (画像診断学・核医学 坂井)		(講義) 201講義室 運動器系 18 脊柱疾患(1) (頸椎) (整形外科学 土肥)		(講義) 201講義室 運動器系 19 脊柱疾患(2) (胸椎・腰椎・仙椎) (整形外科学 土肥)		(講義) 201講義室 運動器系 10 小児の外傷・運動器疾患 (整形外科学 伊藤淳哉)		(講義) 201講義室 運動器系 27 股関節疾患 (整形外科学 倉光裕二郎)		
	1 / 19 火	(講義)201講義室 眼・視覚系 17 光覚・色覚とその異常 (眼科学 中村)	(講義) 201講義室 眼・視覚系 18 眼科治療 (眼科学 橋谷)			(実習)※大実習室3 基礎系実習2 皮膚粘膜系 1, 2, 3 皮膚の構造 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 石津、横溝、菊田、望月、矢作、駒井) (統合教育学修センター(基礎科学) 石井、浦瀬)							
	1 / 20 水	(講義)201講義室 運動器系 30 リハビリテーション(1) (リハビリテーション科 若林)	(講義) 201講義室 運動器系 31 リハビリテーション(2) (リハビリテーション科 若林)		(講義) 201講義室 運動器系 32 リハビリテーション(3) (リハビリテーション科 永井)		(講義)201講義室 皮膚粘膜系 11 自己免疫水疱症 (皮膚科学 山上)		(選択科目) 15:20～16:30 後期V-14		(選択科目) 16:45～17:55 後期VI-14		
	1 / 21 木	(講義)201講義室 皮膚粘膜系 16 薬疹・蕁麻疹・皮膚瘙癢症 (足立医療センター皮膚科 宮本)	(講義)201講義室 皮膚粘膜系 17 皮膚の真菌・細菌感染症・皮膚結核 (足立医療センター皮膚科 宮本)		(講義)201講義室 運動器系 22 膝関節変性疾患 (整形外科学 岡崎)		(講義)201講義室 運動器系 26 体幹の外傷(脊椎・脊髄外傷を含む)・治療 (整形外科学 井上知久)		(講義)201講義室 皮膚粘膜系 18 熱傷と植皮術 (形成外科学 松峯)				
	1 / 22 金	(講義)201講義室 皮膚粘膜系 7 付属器疾患・色素異常症 (皮膚科学 山上)	(講義)201講義室 運動器系 15 救急(処置も含む)四肢の外傷・治療 (整形外科学 伊藤)				(実習)※大実習室3 基礎系実習2 運動器系 4, 5 運動器の病理 (病理学(人体病理学・病態神経科学分野) 倉田、有益) (病理診断学 山本)						
	1 / 23 土												

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I	II	III	IV	V	VI	
	09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45	
第 21 週	1 / 25 月	(講義) 201講義室 運動器系 16 骨軟部の腫瘍性疾患 (整形外科学 菅谷)	(講義) 201講義室 皮膚粘膜系 15 角化異常症・膿疱症 (皮膚科学 小林)	(講義) 201講義室 運動器系 11 骨関節の炎症性疾患・感染症 (整形外科学 矢野)			
	1 / 26 火	(講義) 201講義室 運動器系 12 手の外傷と疾患 (八千代医療センター 整形外科 岩倉)	(講義) 201講義室 運動器系 25 末梢神経疾患(電気生理を含む) (八千代医療センター 整形外科 岩倉)	(講義) 201講義室 運動器系 23 足の疾患 (整形外科学 矢野)	(実習)※実習室3 基礎系実習1 眼・視覚系 1, 2, 3 解剖 感覚器(組織学)視覚 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 石津、横溝、菊田、望月、矢作、駒井) (統合教育学修センター(基礎科学)石井、浦瀬)		
	1 / 27 水				(選択科目) 15:20~16:30 後期V-15	(選択科目) 16:45~17:55 後期VI-15	
	1 / 28 木				(実習) ※実習室3 臨床系実習 皮膚粘膜系 1.2.3 皮疹の種類と組織像 (皮膚科学 山上、福屋、竹中、鈴木、浦山、吉田)		
	1 / 29 金	(講義)201講義室 眼・視覚系 19 眼球運動ならびに複視・視神経疾患 (眼科学 高橋)	(講義) 201講義室 眼・視覚系 20 斜視・弱視 (眼科学 高橋)		(実習) 脳神経系1,脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・視覚系 * 臨床実習(12)		
	1 / 30 土						

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I	II	III	IV	V	VI						
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第22週	2 / 1 月	医学部入学試験 (一般第1次)										
	2 / 2 火											
	2 / 3 水								(選択科目) 15:20~16:30 後期V-15	(選択科目) 16:45~17:55 後期VI-15		
	2 / 4 木			(試験)302・303講義室 13:00-14:30 聴覚・耳鼻咽喉系								
	2 / 5 金			(試験)302・303講義室 13:00-14:30 脳神経系2								
	2 / 6 土											

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 23 週	2 / 8 月				(試験)302・303講義室 13:00-14:30 精神系								
	2 / 9 火				(試験)302・303講義室 13:00-14:30 脳神経系1								
	2 / 10 水				(試験)302・303講義室 13:00-14:30 眼・視覚系								
	2 / 11 木	建国記念日											
	2 / 12 金				(試験)302・303講義室 13:00-14:30 運動器系								
	2 / 13 土												

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

		I	II	III	IV	V	VI						
		09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 24 週	2 / 15 月	医学部入学試験 (一般第2次)											
	2 / 16 火			(試験) 302・303講義室 13:00-14:30 皮膚粘膜系									
	2 / 17 水	学修指導日											
	2 / 18 木	学修指導日											
	2 / 19 金	学修指導日											
	2 / 20 土	学修指導日											

令和8年度 Segment6 講義・実習時間割表

	I	II	III	IV	V	VI							
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 25 週	2 / 22 月	学修指導日											
	2 / 23 火	天皇誕生日											
	2 / 24 水	(追再試験)201講義室 10:00-11:30 脳神経系1			(追再試験)201講義室 13:00-14:30 脳神経系2								
	2 / 25 木	(追再試験)201講義室 10:00-11:30 精神系			(追再試験)201講義室 13:00-14:30 聴覚・耳鼻咽喉系								
	2 / 26 金	(追再試験)201講義室 10:00-11:30 眼・視覚系			(追再試験)201講義室 13:00-14:30 運動器系			(追再試験)201講義室 16:00-17:30 皮膚粘膜系					
	2 / 27 土												